

第七十七回帝國議會
院
酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案外二件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和十六年十一月十八日(火曜日)午前十時
十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事佐藤洋之助君 理事中村 梅吉君

理事松村 光三君 理事森下 國雄君

理事服部 岩吉君 理事水谷長三郎君

伊藤 五郎君 池本甚四郎君

出井 兵吉君 宇賀 四郎君

馬岡 次郎君 小山倉之助君

岡本實太郎君 加藤 知正君

勝 正憲君 金澤 正雄君

菊地養之輔君 小谷 節夫君

小林 絹治君 田万 清臣君

高島龜太郎君 武田德三郎君

津原 武君 豐田 收君

西川 貞一君 馬場 元治君

藤本 捨助君 紫安新九郎君

森 肇君 渡邊玉三郎君

板谷 順助君 田川大吉郎君

富吉 榮二君 森田 福市君

佐竹 晴記君 小川郷太郎君

同日委員伊藤五郎君辭任ニ付其ノ補闕トシ

テ小川郷太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 賀屋 興宣君

出席政府委員左ノ如シ

內務省地方局長 成田 一郎君

大藏省主稅局長 谷口 恒二君

大藏省理財局長 松隈 秀雄君

大藏省銀行局長 竹内 新平君

大藏省爲替局長 相田 岩夫君

大藏省爲替局長 原口 武夫君

大藏省記官 濱田 德海君

大藏省記官 中村 建城君

大藏省記官 深澤 家治君

大藏省記官 山際 正道君

大藏省會社部長 池田 勇人君

大藏省會社部長 山住 克巳君

國民貯蓄獎勵局長 山田鐵之助君

物價局長官 栗原 修君

逓信次官 石黑 武重君

鐵道省運輸局長 手島 榮君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案(政府提

出)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案

(支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲

公債發行ニ關スル件(政府提出)

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案

(關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太

廳ノ各特別會計ニ於ケル租稅收入ノ一部

ニ相當スル金額等ヲ臨時軍事費特別會計

ニ繰入ルルコトニ關スル件(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、大

藏大臣ハ午前中貴族院ノ方ヘ出ラレテ居リ

マス、午前中ダケハ大臣ハ出席致シ兼

ネマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイノデ

アリマス、是ヨリ質疑ニ入りマスガ、大臣

ハ以上ノ如クデアリマスカラ、大臣ニ對ス

ル質疑ヲ留保セラレマシテ、爾餘ノ質問ヲ

願ヒタイノデアリマス、質疑ハ通告順ニ依

ツテ之ヲ許シマス——松村光三君

○松村(光)委員 大臣ニ關スル分ヲ一切保

留シ質疑ハ途中カラ、寧ろ各論ニ入ツテ致シ

マス、第一ニ政府ハ間接稅中心ノ増稅案ヲ

出シテ居ラレマスガ、政府ノ所謂間接稅ト

ハ何カ、茲ニ參考資料ヲ以テ稅ノ細目ヲ舉

ゲテ居ラレノデ、其ノ大要ヲ窺フコトガ

出來マスガ、理論上根本的ニ直接稅ト間接

稅ト一體ドウ云フ基準デ分ケテ居ラレル

カ伺ヒマス

付託議案

酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案

(政府提出)(第一號)

昭和十二年法律第八十四號中改正

法律案(支那事變ニ關スル臨時軍

事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル

件)(政府提出)(第二號)

昭和十三年法律第二十三號中改正

法律案(關東局、朝鮮總督府、臺灣

總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於

ケル租稅收入ノ一部ニ相當スル金

額等ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰入

ルルコトニ關スル件(政府提出)

(第三號)

付テハ中々議論ノアル所デアリマシテ、學

者ノ論ズル所モ人ニ依ツテ區々デアリマス

ガ、財政學的ニ申上ゲマスレバ、私カラ申

上ゲルマデモナク、直接稅ト云フノハ納稅者

ト擔稅者トガ一致シマスルコトヲ法律ガ豫

定シテ居リマス稅デアリ、間接稅ト云フノ

ハ納稅者ト擔稅者ガ一致シテ居ナイコトヲ

法律ノ建前トシテ居ル稅デアリマス、但シ

我が國ノ稅制ニ於キマシテハ、大體今申上

ゲマシタ財政學上ノ理論ニ依ツテ分ケテ居

ルノデアリマスケレドモ、寧ろ間接國稅犯

則者處分法ニ依リマシテ、間接稅トハ是レ

是レノモノヲ謂フト云フ風ニ稅目ヲ明カニ

シテ指定致シテ居ルモノガアリマスルノデ、

大體ハ其ノ分類ニ依ツテ取扱ツテ居ルヤウ

ナ次第デアリマス

○松村(光)委員 學問上直接稅ト間接稅ノ

區別ハ只今御説明ノヤウニ簡單デナイ、此處

ニ其ノ議論ハ避ケマスガ、今御話ノ從來兩

者ヲ區別スル理論上ノ根據ハ三ツアル、其

ノ三ツノ中唯一ツヲ舉ゲテ居ル、納稅者ト

擔稅者ト一致シ場合、簡單ニ言ヘバ轉嫁

ノ可能ナリヤ否ヤト云フコトヲ中心ニ此ノ

區別ヲシテ居ラレルヤウデアリマスガ、此

ノ區別ハ理論上、學問上カラ言ヘバ一番古

第六類第一號 酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案外二件委員會會議錄 第二回 昭和十六年十一月十八日

五

ク、今日デハ學問上缺點ノアル分類デアルト云フコトハ明カデアル、唯已ムヲ得ズ何百年モ前ノ斯ウ云フ古イ學說ヲ今日踏襲シテ居ルノデアリマスカラ、理論上ハ色々意見ガアリマスガ、是ハ避ケマス、ソコデ今日ハ直接稅、間接稅ト云フヤウナ何百年モ前ノ斯ウ云フ舊式ナ舊體制ノ區別ハ理論上ノ根據薄弱ナリト云フノデ、學者ノ間ニ色々説ガ出テ居リマス、ソレハ別トシテ、我が國從來ノ稅目ノ説明ハ色々必シモ明カニナツテ居ラナイ、例ヘバ市町村制上ノ區別、府縣制ニ於ケル區別、貴族院令、稅務管理上ニ於テノ區別、是等我が國ノ法制上ニ於ケル間接稅、直接稅ト云フモノノ區別ハ、皆バラ／＼デ一致シテ居ラナイ、大體ハ此ノ表デ分ルガ、是カラ稅制ノ根本的體制ヲ整ヘル場合ニ、今ノヤウナ程度ノ基準デアツテハ不明瞭デアルノミナラズ、現ニドウモ各種ノ立法ハバラ／＼デアルノデア

アリマス、ソコデ租稅負擔ノ上カラ言ツテ、直接稅、間接稅ヲ見マスル場合ニ於キマシテハ、大體ニ於テ間接稅犯則者處分法ニ依ツテ間接稅ト指定サレテ居リマスルモノヲ間接稅トシテ取扱ヒ、其ノ他ノモノハ直接稅及ビ流通稅ノ體系ニ分ツテ吾々ハ考察シテ居ル次第デアリマス

○松村(光)委員 今御説明ノコトガ現ニ分ラナイ、ナゼナラバ大藏省カラ出テ居ル「財政」ト云フ雜誌ニハ、直接大藏省ガ責任ヲ執ラヌト云フ雑誌ニハ、直接大藏省ガ責任ヲ執

ハ此ノ表デ分ルガ、是カラ稅制ノ根本的體制ヲ整ヘル場合ニ、今ノヤウナ程度ノ基準デアツテハ不明瞭デアルノミナラズ、現ニドウモ各種ノ立法ハバラ／＼デアルノデア

示シテ居ラレルヤウナ分類ニ依ラズ編成サレテ居ル、是ハ大藏省自ラ出シテ居ルノデハナイト言ハレテモ、大藏省監督ノ下ニ出シテ居ル「財政」ト云フ雑誌ニハ、例ヘバ建築稅、通行稅、入場稅ノ如キハ直接稅體系ニ儼然ト加ヘラレテ居ル、ガカラ大藏省自ラガ直接稅、間接稅ハ、此處ニ出シタ表ガアレバ名前ガハツキスルガ、直接稅、間接稅體系ヲ整ヘラレル時ニハ左様ナ混亂ヲ來スノデアリマスカラ、此ノ點ハモウ少シ明確ニサレンコトヲ此ノ際希望シテ置キマス、ソコデ直接稅、間接稅ノコトニ付キ

○松隈政府委員 間接稅、直接稅ノ區別ガ財政學上意見ノ分レルコトハ御説ノ通りデアリマス、ソレカラ各種ノ立法ニ於キマシテ、各、其ノ立法ノ趣旨カラ直接稅、間接稅ノ趣旨ハ必ズシモ一貫シテ居リマセヌケレドモ、稅法ニ於キマシテハ其ノ點ヲ特ニ明瞭ナラシムル必要アリマスル場合ニ於テハ之ヲ明示致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ間接稅犯則者處分法ニ於キマシテハ酒稅以下十五ノ種目ヲ列舉シテ、何ガ間接稅デアルカト云フコトヲ、少クトモ犯則者ノ處分ニ當ツテハ明確ナラシメテ居ルノデ

參考資料ガ出テ居リマスガ、全然ハ無意味ナル參考資料デアアル、斯ノ如キ參考資料ヲ勞頭ニ配付セラレタト云フコトハ聊カ遺憾ヲ感ズルノデアリマス、ナゼ無意味カ、從來間接稅ノ割合ガ非常ニ少ク二割七分幾ラデアアル、今度ノ増稅ヲ實行シタ曉ニハソレガ斯ウ／＼ナルト云フ表ヲ御配付ニナツテ居ラレマス、此ノ表ハ非常ニ貴重ナル資料デアアルニモ拘ラズ、斯様ナル表ヲ以テハ吾々が此處ニ質疑ヲ重ネル資料トスルニ足ラザルノミナラズ、聊カ是ハ無意味ノ資料デアリマス、何故カト云フト、本年度ニ於テ増

○松隈政府委員 間接稅、直接稅ノ區別ガ財政學上意見ノ分レルコトハ御説ノ通りデアリマス、ソレカラ各種ノ立法ニ於キマシテ、各、其ノ立法ノ趣旨カラ直接稅、間接稅ノ趣旨ハ必ズシモ一貫シテ居リマセヌケレドモ、稅法ニ於キマシテハ其ノ點ヲ特ニ明瞭ナラシムル必要アリマスル場合ニ於テハ之ヲ明示致シテ居ルノデアリマシテ、例ヘバ間接稅犯則者處分法ニ於キマシテハ酒稅以下十五ノ種目ヲ列舉シテ、何ガ間接稅デアルカト云フコトヲ、少クトモ犯則者ノ處分ニ當ツテハ明確ナラシメテ居ルノデ

税ニナリマス七億幾ラト、現在ノ稅ヲ加ヘテ、直接稅ノ方ハ現在ノ儘デ、間接稅ダケ來年度以降ノ平年度ノモノヲ加ヘテ、直接稅、間接稅ノ割合ヲ茲ニ出シテ、是デ間接稅ガ、今度ハ大イニ割合ガ多クナルカラ租稅體系ノ上カラ言フテモ整フト云フヤウナ表ヲ茲ニ示サレタコトハ其ダ遺憾デアアルガ、斯ウ云フ無意味ノ表ヲ、何故ニ勞頭ニ出サレタノデアアルカト云フ

是ガ間接稅デアルト云フコトニ付テハ恐ラク十人ガ十人一致シテ居ルト云フテモ差支ヘナイト思ヒマス、茲ニ第三トシテ、其ノ他ノモノトシテ舉ゲマシタモノニ付キマシテハ、是ハ人ニ依ツテ或ハ直接稅ト論ジ、或ハ間接稅ト云フノデアリマス、例ヘバ通行稅ノ如キモノハ人ニ依ツテハ直接稅ト云ヒマスガ、其ノ際モ或ハ人ニ依ツテ酒ノ如キモノハ間接消費稅ト云ヒ、通行稅ノ如キモノハ直接消費稅ト云フヤウナ名稱ヲ以テ呼ンデ居リマス、同ジク消費稅デアツテモ、其ノ徵稅方法ガ間接的デアルモノト、通行稅ノ如ク直接的デアルモノトニ依ツテ名稱ヲ異ニシテ居リマス、サウ云フヤウナ點モ考慮シマシテ、兎角異論ノアリマスルモノハ、此ノ際ソレヲ「其ノ他」ニ分類シテ、殊更議論ヲ卷起サナイヤウニ注意ヲ致シタマデノコトデゴザイマス

ソレカラ表ニ付テ申上ゲマスレバ、十六年度成立致シマシタ當初豫算ニ依リマスレバ、間接稅ノ割合ハ二割七分六厘デアリマス、ソレカラ今回ノ増稅ヲ行ヒマシタ後ニ於ケル平年度化シマシタ場合ニ六億三千餘萬圓ノ間接稅ヲ加ヘレバ——ソレニ專賣益金ヲ加ヘテ居リマスガ、其ノ割合ハ三割七分三厘トナルト云フ單純ナル事實ヲ茲ニ御示シタダケデアリマス

○松村(光)委員 議論ハ避ケマスガ、人ニ依ツテ異ナルカラ、セメテ大藏省ダケハ終始一貫シタ分類ヲ取ツテ欲シイト云フノデアリマス、ソレガ大藏省内部デ時々色々ナモノニ書カレタトキニ一貫シテ居ラナイ、サウ云フ意味デアリマス、此ノ表ニ付テハ重ネテ申上ゲマセヌガ、來年度カラデナケレバ取レナイヤウナ平年度ノ數字ヲ間接稅ニ

舉ゲテ、サウシテ直接税ダケハ現在ノ儘デ
比率ヲ取ツテ見タ所デ何等ノ意味ヲナシマ
セヌ、セメテ斯ウ云フ表ヲ作ラレラナラバ、
本年度ニ於ケル一億七千万圓ト云フモノヲ
茲ニ取ツテ比率ヲ取ルノデナケレバ、來年
取レルモノト今年取レルモノト比較ヲ取ツ
テモ、全然表ノ作り方ガ無意味デアルト云
フ意味デアリマス、即チ直接税、間接税ノ
問題ハ議論ノ根幹デアルカラ申上ゲタ譯デ
アリマス

次ニ増税ノ目標ノコトハ何レ大臣ニ伺フ
コトト致シマシテ、政府ハ茲ニ目標トシテ
購買力ノ吸收、消費ノ節約、國民精神ノ緊張
ノ三ツヲ舉ゲテ居ラレル、コトハ大切ナ事
デ、増税ノ目標ヲ示ス場合ニハモウ少シ的
確、簡明直截ナル目標ヲ掲ゲナケレバナラ
ヌノデハナイカト思フ、即チ此ノ増税ハ併
セテ軍事費ノ一部ニ充テルト云フコトヲ言
ウテ居ラルルガ、併セテ軍事費ノ一部ニ充
テルト云フノデハナク、主タル目標ハ軍事
費ヲ捻出スルガ爲ニ増税ヲヤルノデアルカ
ラ、購買力ノ吸收、消費ノ節約ト云フコト
ハ目標ニハ違ヒナイガ、其ノ方ハ寧ロ見様
ニ依ツテハ附帶的ノ目標デ、先ヅ軍事費ノ
捻出ト云フ大キナ目標ヲ掲ゲテ、サウシテ
現在ノ儘デハ公債ニ依存シテ居ル故ニ、動
モスルト惡性「インフレーション」ニ傾ク虞
モアルカラ、其ノ問題ヲ防ギ、新規通貨ガ
多額ニ出ルコトヲ抑制センガ爲ニ此ノ増税
ヲヤルノデアル、消費ノ節約トカ購買力ノ
吸收トカ云フコトハ目標ニハ違ヒナイガ、尙
ホ主要目標ヲハツキリ掲ゲテ居ラレナイヤ
ウニ思フノデアリマスガ、所見ヲ伺ヒタイ
○松隈政府委員 先ヅ先ニ間接税ト直接税
ニ付テノ分類デアリマスガ、毎議會ニ政府

カラ議會ニ參考資料トシテ提出致シテ居リ
マスル區分ハ、今回出シマシタ表ト同シヤウ
ナ區分ヲ致シテ出シテ居リマスノデ、其ノ
點ニ於テハ政府ノ方針ハ變ツテ居ラナイト
云フコトヲ御諒承願ツテ置キマス

ソレカラ目標ニ付テノ問題デアリマスル
ガ、購買力ノ吸收、消費ノ節約、國民精神
ノ緊張ヲ圖ルト云フコトハ、今次臨時議會
ニ提案サレマシタ間接税ヲ中心トスル増税
案ノ目標デアリマス、此ノ間接税ヲ中心ト
致シマスル増税案ヲ早急ニ臨時議會ニ出シ
マスルニ付キマシテハ、多分ニ購買力ノ吸收、
消費ノ抑制、國民精神ノ緊張ト云フ點ヲ目
途ト致シテ居ルノデアリマス、固ヨリ増税
ヲ致シマスルノデアリマスカラ、併セテ國
庫收入ノ増加ヲ圖ルコトヲ目標ト致シテ居
リマスルコトハ言フマデモナイ所デゴザイ
マス

○松村(光)委員 増税ヲヤル時ニハ、ヤハ
リ其ノ目標ヲハツキリ全般的ニ租税全體ト
シテ掲ゲナケレバイカヌ、直接税ハ追ツテ
出スト云フコトヲハツキリ書イテ居ルノデ
アルシ、ココデ増税ヲスルノデアルカラ、
少クトモ直接税ト間接税ト一貫シタル一ツ
ノ體系ヲ整ヘナケレバナラス、唯間接税ノ
當面ノ目標ト云フコトヲデナクテ、増税ノ目
標ト云フモノヲハツキリ掲ゲテ、増税ノ目
標トハ何ゾヤ、足ラザル軍事費ヲ捻出スル、
サウシテ公債ニ依存スルコトヲ出來ルダケ
抑制スル、是ガ大キナル税制上ノ根幹的ノ
目標デアアル、但シ直接税ハ間ニ合ハナイカ
ラ次ノ議會ニ出スガ、此ノ際臨時議會ニハ
此ノ間接税ヲ出スノデアルカラ、隨テ斯ク
斯クダト言ハナケレバナラス、モット堂々ト
一貫シタル増税、税制ノ目標ヲハツキリ掲

ガルノデナケレバ財政上ノ根幹ガ立タナイ
〔同感〕ト呼ブ者アリ〕是ハ簡單ナヤウデア
ルケレドモサウデナイ、一體増税ヲヤラウ
ト云フ時ニ全體ノ見透シデアルノデナケレ
バ——部分的ノ間接税ハ斯ウダト云フヤ
ウナコトヲ先ニ掲ゲテ、全體ノ増税、全體
ノ税制ガドウナルカト云フ輪廓、全貌ヲ示
サズニ、突如トシテ出スノデアルカラ、少
クトモ目標ダケハモットハツキリ國民ニ示
シ、殊ニ此ノ議會ニハ目標ヲ儼然ト掲ゲナ
ケレバ、折角ノ此ノ大キナ増税ヲヤラレル
場合ニ、國民ニ認識自覺ヲ與ヘルコトガ甚
ダ不十分デアルカラ、是ハ大藏大臣ニ伺フ
コトデアルケレドモ關聯上伺ツタノデアリ
マス、此ノコトハ強ヒテ伺ヒマセヌガ、政
府ノ出シテ居ル目標、指標ト云フモノハ甚
ダ「レベル」ガ低イ、モット全般的ニヤラナケ
レバ國民ハ納得シマセヌ、是ハハツキリ申
上ゲテ置キマス

ソコデ此ノ税ヲ施行スルニ當リ間接税
デアルカラ、此ノ徵稅技術ニ付テ色々伺
ハナケレバナラナイ、間接税ハドウシテ
モ轉嫁サレ、脱稅サレ、便乘主義的ニソ
コニ不正行爲ガ行ハレルコトハ免レナイ、
ソレダカラ千六百年代カラ行ハレテ居ル
間接税ト云フモノハ、多クノ人ガ言ウテ
居ルヤウニ、是ハ洵ニ惡稅デアツテ、且ツ
國家ハ自分ノ責任ヲ轉嫁スル一ツノ租税ノ
ヤリ方デアルト云フ位ニ言ハレテ居ル、ダ
カラ此ノ間接税、消費税ト云フモノハ新シ
ク發見セラレタル租税ノ一ツノ大キナ穴藏
デアリ、且氣付カレザル中ニ盜賊行爲ヲヤ
ルヤウナ稅デアツテ、知らズ識ラズノ間ニ
稅收ヲ上ゲルモノダト多クノ學者ガ言ウテ
居ル、茲ニ引證シマセヌガ、間接税ハ可ナ

リノ弊害ガアルノミナラス、課稅技術上、
例ヘバ庫出稅ニ致シマシテモ、最後ノ段階
デ小賣課稅ヲスル場合ノ外ハ製造課稅ノ場
合ハ、其ノ賣買ノ階段毎ニ稅ダケ餘計ニ資
本金ニ何回モ課稅サレルコトニナルカラ、國
家ノ資本ヲ非常ニ死藏スル形ニナル、例ヘ
バ物ガ三回賣買サレル、サウスルト庫出ノ
時ニ課稅スルカラ、三回賣買サレレバ三回
ニ互ツテ、ソレダケ餘計ノ資本ガ重複サレ
テ行ク、ソレダケ國家ノ通貨ヲ増加スル、
大キナル弊害ハ此ノ間接税カラ起ツテ來ル、
間接税ノ根幹的ノ缺陷ハ、事實ニ於テ稅ハ
一回デアルケレドモ、其ノ間其ノ稅ガ資本
ノ形ニ於テ何回モ重複スル、其ノ資本ノ重
複ト云フコトガ通貨ノ上ニ非常ニ惡影響ヲ
スルカラ、出來ルナラバ間接税ト云フモノ
ヲモウ少シ避ケナケレバナラスト云フコト
ハ今日ノ定論デアリマスガ、少クトモ此ノ
徵稅上ノ脱稅其ノ他各種ノ缺陷ニ對シテ、
此ノ際何カ徹底的ノ考案ヲ決メテ居ラレマ
スルカドウカ伺ヒマス

○松隈政府委員 前ニ目標ノコトニ付テ
御尋ネガゴザイマシタガ、是ハ大藏大臣カラ
御答ヘ申スノガ適當デアルト思ヒマスケレ
ドモ、一應事務當局トシテノ所見ヲ申上ゲ
マスレバ、現在並ニ將來ニ於キマスル國際
情勢ニ照シテ考ヘマスルノニ、臨時軍事費
其ノ他諸經費ノ増加ハ避ケ難イ趨勢ニアル
ト存ジマス、一面不要不急ノ經費ニ付テ徹
底的ノ節減ヲ行フト致シマシテモ、我が國ノ
歲出總額ガ増加スルト云フコトハ避ケ難イノ
デアリマス、隨ヒマシテ是ガ財源ヲ獨リ公
債ノミニ求メルコトナク、増税ニ依リマシ
テ、即チ恒久財源ニ依ツテ財政ノ堅實化ヲ
圖ルト云フコトノ必要ノアリマスルコトハ

御説ノ通りト考ヘテ居リマス

申スマデモナイコトデアリマス、其ノ見地カラ増税計畫ヲ立ツベキデアルト云フ御所論ニ對シテハ全ク同感デアリマシテ、政府ニ於キマシテモ、此ノ際成べく多額ノ増税ヲ斷行致シマシテ、國庫收入ノ増加ヲ圖ルト云フ見地ノ下ニ稅制ノ全般ニ互ツテ増税計畫ヲ立テマシテ、目下詳細ナル檢討ヲ加ヘテ居ルノデゴザイマスルガ、茲ニ臨時議會ガ開カレマシタノデ、差當リ此ノ際急速ニ實施ヲ必要トスル間接稅ヲ中心ト致シマスル増税案ヲ提出致シタ次第デアリマス、出來マスレバ直接稅、間接稅ヲ合セタ増税總額、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、増税ノ目標トスル所ヲ御示シ致シタイノデアリマスルケレドモ、何シロ歳出ノ總額ニ付テ今日見透シガ立テ難イ狀態ニアリマスノデ、今直グニ直接稅、間接稅ノ全體ノ目標ヲ申上ゲマスマデニハ至ツテ居リマセヌケレドモ、政府トシテハ稅制全般ニ互ツテ相當多額ノ增收ヲ得ル目的ヲ以テマシテ立案中デアリマス

次ニ徵稅技術ノ問題ト致シマシテ、製造課稅ノ分ニ付テハ稅金ガ資本ノ形ニ於テ重複スルカラシテ不當デアアル、斯ウ云フ御話デアリマスガ、成程其ノ點ハ御指摘ノ通りデアリマスルケレドモ、現在ノ徵稅技術カラ云ツテ總テ小賣ノ最後ノ段階ニ於テ課稅スルト云フコトハ、製造課稅ニ比シマシテ著シク手數ガ煩雜ナモノガアリマスル關係上、理論的ニハソレガ一番宜イト致シマシテモ、技術的ニ云ツテ官民共ニ其ノ煩ニ堪ヘナイト云フヤウナ所カラシテ實行出來難ク、已ムヲ得ズ一部ノモノニ付テハ製造課稅ヲ取ツテ居ルノデアリマス、併シ出來得ル限り最後ノ消費ノ段階ニ於テ課稅スルト云フ方向ニ向ツテ行クベキデアルトコトハ

目ハ必要アリマセヌ、政府ノ大局ノ方針目標ハドウカ、サウシテ直接稅ハドンナコトヲヤル積リダ、又流通稅ニ觸レルナラバ流通稅ハドウスル積リダ、此ノ點ヲ御伺ヒスルノデアリマス

ソレカラ間接稅ニ付テハ脫稅ガ相當多イカラ、脫稅防止ノ方法ニ付テ工夫スル所ガナケレバナラスト云フ御注意ハ、是モ御尤モノコトニ存ズルノデアリマシテ、吾々ト致シマシテモ、此ノ點ニ付テハ細心ノ用意ヲ致シテ臨ンデ居リマス、又今後モ臨ム方針デゴザイマス、遊興飲食稅ノ如キモノハ從來モ脫稅アリト言ハレテ居リマシタシ、ソレカラ今回ノ増稅ニ依リマシテ尙ホ其ノ傾向ガ増スノデハナイカト云フ心配ガアリマスルノデ、此ノ點ニ付テハ色々工夫致ス所モアルノデゴザイマスルガ、要ハ徵稅ニ當ツテ政府ト協力致シマスル業者ニ對シテ、此ノ際租稅ノ増徴ノ必要ヲ所以ヲ明カニシテ、其ノ自覺ニ依ル協力ニ俟ツノガ一番ノ方法ダト思ヒマス、如何ニ徵稅技術ヲ工夫シ、納稅方法ヲ細密ニ致シタ所デ、業者ノ方ガ逃レヨウト云フ氣持ヲ以テヤレバ、追掛ケル者ト逃レル者トノ競争ハ果シガナイノデアリマシテ、業者ガ自覺シテ納メヨウト云フ氣持ニナツテ戴ケバ、手續上ノ不備モ時ニ其ノ自覺ニ依ツテ補ハレル所ガアルト思ヒマス、吾々モ手續ニ付テハ一段ト工夫ヲ凝ラス積リデアリマスガ、中心、其處ニアルト思ヒマスノデ、業者ト能ク連絡ヲ執ツテ取締ノ完璧ヲ期シ脫稅ノ少クナルヤウ、出來レバ絶滅ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村(光)委員 午後大藏大臣カラ細目ニ互ラズトモ、少クトモ次ノ議會ニ互ツテノ増稅ノ全貌ヲ示サレンコトヲ此ノ機會ニ要望致シテ置キマス、ソレデナイト唯部分的ノ議論ニナリマスカラ、重ネテ茲ニソレヲ御願ヒシテ置キマス、繰返シテ言フガ、細

ス、藝妓ノ花代ニ致シマシテハ一應檢番ノ方ニモ其ノ資料ガアリマスシ、之ヲ入レマシタ料理店待合ノ方ノ申告ト對查スルコト云フ手段ガゴザイマス、其ノ脫稅ヲ圖リマスル爲ニハ料理店待合ガ檢番ト共謀シナケレバナラス、是ハチヨット難カシイノデアリマス、隨ヒマシテ花代ニ付テ觀察致シマスルト、比較的脫稅ガ少イヤウニ思ヒマス、料理ノ方ニナリマスサウ云フ突合せノ方法ガ乏シイモノデアリマスカラ脫稅ノ取締ガ困難ナノデアリマスガ、今回ハ出來マスレバ仕出シラシテ居ル方面ニ於キマシテモ、出前ヲシタ料理店待合等ニ對スル資料ヲ申告セシメルヤウニシマシテ、料理店待合等ノ帳簿ト對查スルコト云フヤウナ方法ニ依テ脫稅ヲ防ギタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ料理店等ニ於キマシテ從來モ受取ハ出シテ居リマシタケレドモ、其ノ受取ノ様式ハ區々デアリ、稅金マデ明示シタモノモアリマスケレドモ、中ニハ總額ノ金額ヲ書イテ御客ニ渡スト云フヤウナ程度ノ簡單ナモノモゴザイマス、ソコデ今回ハ受取書ノ様式ヲ一定致シタイト考ヘテ居リマス、遊興飲食稅ヲ徵收致シマスル業者ノ團體ニ對シテハ政府ハ交付金ヲ交付シテ居リマス、是ハ徵稅上政府ニ協力スル費用ニ充ツル爲メ交付シテアルノデアリマスカラシテ、業者ノ團體ニ相談シ、業者ノ營業ニ最モ適スル形ノ受取書ノ様式ヲ一定セシメマシテ、其ノ様式ニ對シテハ通シ番號ヲ付シテ、後受取書ト原符ト對查スル便宜ノ方法ヲ講ジ、尙ホ其ノ受取書ニ付テハ出來マスレバ稅務署ノ檢印ヲシテ渡スト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、御客ニ渡ス受取書ニハ必ズ稅率ノ違フ毎ニ課稅標準金額ヲ書イテ、サウシテ稅額

ヲ明示サセルヤウナ風ニ致シマス、サウシテ同ジ原符ガ業者ノ手許ニ殘ルヤウニ致シマスレバ餘程取締モ徹底シテ參ルカト思ヒマス

尙ホ物品稅、遊興飲食稅ニ付キマシテハ、課稅ヲ開始致シマシテ尙ホ日ガ淺イ爲ニ、業者ノ不慣レデアル點モアラウカト存ジマシテ、從來其ノ取締ニ付テハ指導的態度ヲ以テ臨ミ、檢舉的態度ニ出ルト云フコトヲ幾分避ケテ傾キモアリマスガ、今日ハ施行以來相當年月モ閱シマシタシ、業者ノ不慣レト云フ點モ大體ニ於テ除カレテ參ツタト思ヒマスノデ、今後ハ非違ノアルモノハ摘發スルヤウニシ、尙ホ一方業者ノ團體ヲ通ジテ指導啓發ヲシテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○松村(光)委員 大分具體的ニ考ヘテ居ラレルヤウデアリマスガ、併シハ可ナリ面倒デアアルヤウニ思フ、色々ノ稅額ヲ明示スル爲ニ通シ番號ヲ打ツテ一々檢印スルト云フコトモ、是モ一ツノ方法デアリマセウガ、是ハ遊興飲食稅ガケノ問題デナク、物品稅モ共ニ共通ノ問題デアリマス、度々問題トナツテ居ルコトダガ、何故政府ハ世界各國何處デモヤツテ居ル極メテ簡單ナ印紙貼用ト云フコトヲ避ケラレテ居ルノカ、從來此ノコトハ議會デモ時々問題トナリ、大藏省ノ説明ヲ聽イタノデアリマスガ、今日マデ納得スル答辯ヲ得テ居ラナイ、何故ニ印紙貼用ヲ忌避サレテ居ルノデアルカ甚ダ不明瞭デアツテ、今日マデソレハ殆ド其ノ儘ニ推移シテ居リマスガ、此ノ際簡明直截ニ何故ニ印紙貼用ヲ避ケラレルカ伺ヒタイ

○松隈政府委員 物品稅、遊興飲食稅ニ付テ印紙貼用ノ方法モ確カニ一ツノ納稅方法

デアリマスケレドモ、物品稅中ノ品目ニ付テハ印紙ヲ貼ルコトノ不適當デアアルモノモアリマスシ、印紙ヲ貼ツテモ離レ易クテ、貼ツタカ貼ラナイカト云フヤウナコトノ論争ノ種ニナルモノモアリマス、或ハ貼ツタトシテモ美術的デナイカラ困ルト云フヤウナ附隨的ノ理由モアリマシテ、物品稅ニ付テハ實行シテ居ラナイノデゴザイマス、ソレカラ遊興飲食稅ニ付キマシテハ受取書ニ

印紙ヲ貼ル方法ニ依ツテ納稅セシメルト云フ方法モ確カニ一ツノ方法デアリマスケレドモ、印紙貼用ノ方法ニ依リマスル納稅ハ所謂自主的納稅ト言ツテ居リマスガ、此ノ自主的納稅ノ方法ニ任セテシマフト云フコトハ、徵稅當局トシテ十分ノ自信ガ持テナイノデアリマシテ、其ノ適例ハ印紙貼ニ付テ見ルコトガ出來ルノデアリマス、受取書ノ如キモノハ自主的納稅ニナツテ居リマスガ、ドウモ印紙貼用ノ成績ハ餘リ宜シクナイノデアリマシテ、隨ヒマシテ印紙貼用ノ形ニシタカラモウソレデ安心ダト云フコトデ檢査ヲセズニ置クト云フコトニナレバ、收入ハ激減スル虞ガアルノデアリマス、ソコデ之ヲ取締ルト致シマスレバ印紙貼用ノ方法ヲ執ツテモ尙且ツ業者ニ毎月ノ課稅標準ノ金額ヲ申告セシメテ、其ノ課稅標準ノ金額ノ是非ヲ稅務署ガ檢査シナケレバ徵稅ノ成績ハ上ラナイ、脫稅ノ防止ガ出來ナイ、印紙貼用ヲサセタ上ニ、又課稅標準ヲ申告サセテ、善イ惡イヲ稅務署デ調べテ居ルノデハ、全ク手續ガ二重ニナツテシマフト云フノデアリマス、ソレカラ印紙ヲ買置キサセルト云フノデアリマスガ、業者ノ買置キガナカツタ場合ニ、お客ノ方ハ直ダ代金ヲ拂ツテ出タイト云フヤウナコトガアリマシ

テ、サウ云フコトカラ已ムヲ得ズスルト云フヤウナ脫稅モ懸念サレルノデアリマス、更ニ附隨的理由ト致シマシテハ、是ハ制度ヲ變ヘレバソレマデデアリマスケレドモ、遊興飲食稅ニ付テハ其ノ半額ヲ地方分與稅ノ配付稅トシテ交付シテ居ルノデアリマスガ、印紙收入ニナツテシマフト、一體遊興飲食稅ノ爲ニ幾ラ金ガ入ツタカト云フコトガ分ラナクナルカラ、地方分與稅ニ配付スル標準ヲ根本的ニ變ヘナケレバナラスト云フコトガ、附隨的ノ理由トシテ申上ゲラレルカト思ヒマス

○松村(光)委員 遺憾ナガラ今ノ御説明ニハ承服シ兼ネル、從來同ジヤウナ御説明デアアル、大體印紙ガ割ガレルカモ知レスト云フ如キハ答辯ニナラナイ、ソレカラ美術的ノモノハ印紙ヲ貼ツテハイカヌト言ハレルノハ、ドンナモノヲ言ハレルノカ知ラスガ、固ヨリ美術トカ意匠ナドト云フコトモ一應尤モダガ、尙ホ十分考ヘナケレバナラスコトデ、美術意匠的ナモノニ印紙ヲ貼ツテハイカヌト云フ如キ思想ヲ大藏省ガ認メテ居ルノガ既ニ誤リデアアル、藝術家カ何カガ言フノナラバ兎ニ角、今ノ印紙貼用ニ關スル説明ハ殆ド意味ヲナサナイ、唯遊興飲食稅ノコトニ付テハ、一應考ヘサセラレル所ガアルガ、併シ今ノヤウニ非常ナ面倒ナ手續ヲヤツテ稅務官吏ヲ殖ヤシタリ色々ナコトヲスル位ナラバ、印紙ヲ貼ツテ又居出ヲサセルト云フ手續ヲ履ンデモ、要スルニ問題ハ脫稅ヲ防グコト、殊ニ此ノ際ハ十割モ花代ヲ上ゲルト云フヤウナコトカラ、起リ勝チデアアル脫稅ヲ嚴重ニ取締ルコトニアル、起ツタ事件ヲ檢舉スルノハ大藏省ノヤルコトデナク、ソレハ司法省ニ任セルコトデアアルカ

ラ、サウ云フコトヨリモ、モツト徹底的ニ脫稅防止ノ方策トシテ、印紙ヲ貼用スルコトヲ先ヅ考ヘ、若シソレデ不十分ノ場合ニ限リ二重ノ方法ヲ遊興飲食稅デ考ヘラレデモ宜イデハナイカ、元來印紙貼用ノ利益ハ第一物品ノ價格ガ明カニナルカラ、商工省ハ何万ト云フ各種ノ丸公、丸停ノ價格ヲ此ノ際直スト云フヤウナ手續ハ要ラナイ、印紙ヲ貼リサヘスレバ、簡單ナコトデス、十二月一日ノ實施期マデニ恐ラク間ニ合ハナイモノガ出來ルト思フ、間ニ合ハナケレバ直チニ或ル期間ハ商取引ガ混亂スルノデアアルカラ、斯カル面倒ヲ避クル爲メニハ印紙貼用ヲサセルコトガ早道デアアル、第二ニ増稅ニ依ツテ價格ガ幾ラ上ツタカト云フコトヲハツキリサセレバ、ソレガ消費規正ニナル、印紙ヲ貼用スレバ、ネクタイヲ買ヒ靴下ヲ買フ場合ニ、稅金額ガハツキリ分ツテ、知ラズ識ラズノ中ニ消費ヲ規正スルコトニナリ、ソコデ初メテ納稅者ガ時局ヲ認識シ納稅意識ヲハツキリスルコトガ出來ル、第三ニ印紙ヲ貼用スルナラバ、國家ハ事前ニ稅金ヲ徵收スルコトガ出來ルカラ、此ノ際通貨ノ膨脹モ多少抑制スルコトナル、一印紙ノ買置キハ不便ダト云フガ、是ハ何處ノ國デモヤツテ居ルコトデアアルカラ、モウ少シ徹底的ニ考ヘラレルコトヲ切望スル、今ノ御答辯デハ満足シナイノデアリマス、繰返シテモ詮ナキコトデアルト思フガ、只今ノ御答辯デハ満足致シマセスカラ、此ノ際至急ニ印紙貼用ニ關シテ政府ハ徹底的ノ方策ニ出デラレンコトヲ要望致シテ置キマス、一體印紙貼用ドコロデナイ、モツト進ンダ形デ云フナラバ、此ノ頃ノ租稅理論カラ云フナラバ、モウ少シ進ンダ方法ガア

ル、「スペイン」等デヤツテ居ル印紙貼用ニアラズシテ、物品ヲ買ツタリ物ヲ食ベタリスル場合ニ印紙ノ「クローボン、ブック」ヲ持ツテ居ツテ、客ハソレヲ使フコト云フコトガ一番進シテ近代ノ印紙利用方法デ、是ハ「スペイン」其ノ他デヤツテ居ル、是ハ此ノ議會ノ方デモ反對ガアルカラ強ヒテハ申シマセヌガ、其ノ位ニ行ツテ居ルノダカラ、單ニ印紙ヲ貼用スルコト云フコトノ不便等ハ問題デナイ、特ニ大藏省ハ此ノ點ヲ研究サレテ斷行サレンコトヲ要望シテ置キマス、サウデナイト、ソコニ稅務官吏ヲ殖ヤシタリ色ナコトヲヤツテ不正行爲ヲ防ガウト云フノダガ、斯ウ云フ人間ノ不足ノ時ニ、是カラ稅務官吏ヲ殖ヤストカ何トカ云ツテモ間ニ合ヒマスカ、ソレヨリモモット簡明直截ニ印紙貼用ヲ斷行サレテハドウカト思フノデアリマス、議論ハ避ケマスガ、モウ少シ研究サレンコトヲ要望シテ置キマス、御所見ハ如何デアリマスカ

○松隈政府委員 重ネテ印紙貼用ノ方法ニ依ル納稅ノ長所ヲ御述ベニナリマシタ、確カニサウ云フ長所ハゴザイマス、併シ一方只今申上ゲタヤウナ不安ト申シマス、徵稅技術ノ方カラ言ヘバ、一ツノ缺點ニナル譯デアリマスガ、ソレガアリマスル爲ニ斷行ヲ躊躇シテ居ルノデアリマス、併シ今後ノ方法ト致シマシテ、出來得ルモノニ付テハ努メテ斯ウ云フ方法ヲ併用スルコト云フヤウナコトニ付テハ、御説モアリマスルノデ、能ク研究致シテ見タイト思ヒマス

○松村(光)委員 各論ニ入リマス、第一酒デアリマス、酒ニ付テハ議論ガアリマセヌガ、酒ヲ五等ニ分ケテ居ラレル、今日勞務者ガ酒ノ如何ニ依ツテ非常ニ能率ニ關係ノアル

時ニ二圓五十錢以上ノ高イモノニ從價稅スラ此ノ際新稅トシテ設ケラレルト云フ位ナラバ、比較的安イ酒ニ對シテ此ノ際稅率ヲ考慮セラレル餘地ハナカウツタノデアリマスカ、セメテ勞務者等ガ專ラ使フ大切ナル比較的安イ酒ニ付テ考慮セラレル餘地ハナイノデアリマスカドウカ、伺ヒマス

○松隈政府委員 今回酒稅ノ増徴ニ當リマシテハ、各酒類間ノ權衡ヲ得テ或ル程度稅率ノ引上割合ヲ變ヘタノデアリマスガ、同ジ清酒ノ中デ、勞務者ノ使用スルモノト料理店等ニ於テ消費サレルヤウナモノトヲ區別スルコト云フ所マデハ行キ兼ねタノデアリマス、併シ今回ハ稅率ノ引上割合ヲ違ヘマシタ外ニ、一部分ニ付テハ從價課稅制度ヲ新設致シマシタノデ、消費力ニ應ズル課稅ニ付テハ、從來ヨリモ一段ノ進歩ヲ見タモノト思ツテ居リマス

○松村(光)委員 已ムヲ得ナイト云ヘバソレマデデアリマスケレドモ、取ル方ダケヲ考ヘズニ、勞務者ニ必要ナル酒ニ付キマシテハ、一升一圓ノ稅ガ課カルノデアリマスカ、モウ少シ考慮ノ餘地ガアツタラウト思フノデアリマスケレドモ、是レ以上申上ゲマセヌ程度ハ差支ヘナイト思ヒマスガ、此ノ際業務用ノ砂糖ト家庭用ノ砂糖トノ稅率ヲ區別シ、之ニ即應スル配給機構ヲ考ヘ得ラレナカウツカ、ソレハ技術上不可能ト見ラレテ居リマスカドウカ伺ヒマス

○松隈政府委員 御話ノ如ク家庭用トシテ今日配給セラレマスル砂糖ハ一人當リノ必要量ヲ限定シテ配給シテ居リマス、ソレニ對スル稅率ヲ低目ニ致シマシテ、一方菓子其ノ他ノ加工用ニ消費サレテ居リマスル砂

糖ノ稅率ヲ餘分ニ引上ゲルト云フコトニ付テハ當局トシマシテモ十分考ヘタノデアリマスガ、課稅技術上實行ガ困難ナノデアリマス、御承知ノ通りニ砂糖ニ對シマスル課稅ハ製造場引取課稅デアリマシテ、製造場カラ引取りマシタ際ニハソレガ家庭用ニ廻ハルカ、業務用ニ廻ハルカト云フコトノ區別ヲ付ケルコトガ困難デアリマス、假ニソレガ出來ルトシマスルト、其ノ後砂糖ノ配給經路ニ付テ兩者ノ混淆ノナイヤウニ取締ツテ參ラナケレバナラスト云フノデ、其ノ手數ハ官民共ニ非常ニ煩雜デアリマス、更ニ今日デハ從來ト違ヒマシテ製品トシテ引取ラレル砂糖ニ課稅致シマスル一ツ前、即チ原料糖ニ對スル課稅ニ依リマシテ製品課稅ノ煩雜ヲ省イテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ原料糖ノ時代ニ於テハ尙更ニガ業務用ニ廻ハルカ、家庭用ニ廻ハルカト云フコトノ區別ヲ付ケルコトハ困難デアリマ

スノデ、已ムヲ得ズ區別セザル稅率ニ依ツタ次第デアリマス

○松村(光)委員 原料糖ハ其ノ通デアルト考ヘマスガ、是ハ非常ニ必要ナコトデアツテ、今日以後業務用ノ砂糖ハ可ナリ強ク引上ゲラレマシテモソレハ轉嫁サレ、又轉嫁ヲ認メルナラバ消費ノ規正ニナリ、抑制ニナル、問題ハ家庭用ノ砂糖デアリマス、今ノヤウナコトデ課稅技術上難カシイト云フノデアリマスガ、ソレハ配給ノ問題デアリマス、製造場引取ヲスル場合ニ市町村ニ直接流スト云フ配給機構ヲ採ラレマスルナラバ、此ノ配給機構ノ變更ハ難シイコトデナク、ソレガ本當ニ足ラザル砂糖ヲ現實ニ各家庭ニ配給スル、配給機構ノ改善ノ上カラ最モ必要ナコトデアツテ、之ニ即應スル業務用

ト家庭用ノ稅率ヲ區別スルコト云フコトガ一番必要ナコトデアルガ、是ハ大藏省ダケデハイカスノデ——配給ノ方ハ大藏省ニ任セテモ難シイコトデアアルカラ、商工省、農林省ニ任セテ直接製造者カラ市町村ニ責任ヲ負ハセテ流スト云フ配給機構ヲ採ラレルナラバ難シイコトデハナイ、折角大藏省ガ家庭用ト業務用トノ區別ヲ考ヘラレタナラバ、之ヲ斷行サレナカウツタト云フコトハドウモ研究ガマダ足りナイ、モウ少シ此ノ際適當ナ機會ニ關係省ト相談サレ——此ノ配給機構ヲ動カスコトハ難シクナイノミナラズ、寧ロ左様ニ配給機構ヲ動カスコトノ方ガ砂糖ノ闇取引ヲ今日防グ一番必要ナコトデアリマスルカラ、稅ト配給機構ト併セテ善處サレ、業務用ハ徹底的ニ引上ゲ、家庭用ハ引上ゲベカラズト云フ大原則ヲ立テラレンコトヲ希望シテ置キマス

○松隈政府委員 課稅ニ當リマシテ、家庭用ト業務用トヲ區別シテ課稅スルコトハ實行ガ困難デアリマシテ、之ヲ實行致シマスレバ、非常ニ煩雜ナ手數ヲ要シマスルカラ、其ノ實行致シ難イコトハ前ニ申述ベタ通りデアリマスガ、配給機構ノ完備ニ依リマシテ、家庭用ト業務用トデ價格ヲ按配スル、稅トシテハ區別サレテ居ナイケレドモ、其ノ稅ヲ業務用ニ多分ニ轉嫁シ、家庭用ノ轉嫁ヲ少クスル、サウシマスルト、業者トシテハ業務用砂糖ヲ扱ツテ居ル者ハ損ヲシ、家庭用砂糖ヲ扱ツテ居ル者ハ得ヲスルト云フコトニナリマスケレドモ、ソコハ配給機構ノ整備ニ依リマシテ、「ブル」計算ノヤウナモノガ出來ルコトニナレバ、業務用砂糖ト家庭用砂糖ニ稅金ハ同ジニ課ケテモ、轉嫁ノ妙味ヲ發揮スルコトニ依ツテ、御説ノ

ト家庭用ノ稅率ヲ區別スルコト云フコトガ一番必要ナコトデアルガ、是ハ大藏省ダケデハイカスノデ——配給ノ方ハ大藏省ニ任セテモ難シイコトデアアルカラ、商工省、農林省ニ任セテ直接製造者カラ市町村ニ責任ヲ負ハセテ流スト云フ配給機構ヲ採ラレルナラバ難シイコトデハナイ、折角大藏省ガ家庭用ト業務用トノ區別ヲ考ヘラレタナラバ、之ヲ斷行サレナカウツタト云フコトハドウモ研究ガマダ足りナイ、モウ少シ此ノ際適當ナ機會ニ關係省ト相談サレ——此ノ配給機構ヲ動カスコトハ難シクナイノミナラズ、寧ロ左様ニ配給機構ヲ動カスコトノ方ガ砂糖ノ闇取引ヲ今日防グ一番必要ナコトデアリマスルカラ、稅ト配給機構ト併セテ善處サレ、業務用ハ徹底的ニ引上ゲ、家庭用ハ引上ゲベカラズト云フ大原則ヲ立テラレンコトヲ希望シテ置キマス

ヤウナコトガ實行出來ルヤウニ考ヘラレル
ノデアリマスガ、此ノ事ニ付キマシテハ、
配給ヲ掌ツテ居リマスル農林當局トモ能ク
協議シマシテ、御趣旨ノ實現スルヤウニ努
力シテ参リタイト思ヒマス

○松村(光)委員 是ハ非常ニ必要ナコトデ
アリマス、思フニ消費稅ハ今後屢、上ゲナケ
レバナラス當然ノ運命ニアル、其ノ場合ニ
家庭用ニハ觸レズニ、業務用ダケニハ徹底
ニ觸レルト云フコトデアリマスカラ、各方
面ト善處サレマシテ——「ブール」計算ハ簡
單デハナイカモ知レナイガ、不可能ナコト
デハナイ、出來ル限リ早イ機會ニ善處サレ
テ、若シ出來ルナラバ、本法ヲ施行スル時
カラ、サウ云フ方向ニ向ケラレンコトヲ重
テネ要望シテ置キマス

第三ハ物品稅デアリマス、物品稅ハ先程
大體概括的ニ觸レタノデアリマスガ、今回
ノ物品稅ニ依リマシテ稅ノ範圍ハ可ナリ擴
メラレ、品目モ増加シ免稅點モ引下ゲラレ
ハテ居リマス、物品稅ハ申上ゲルマデモナク
昭和十二年ノ時ニハ僅カニ五千三百萬圓バ
カリノ稅收デアツテ、特別物品稅ト言ウテ
居ツタ、特別物品稅ガ幾度カ變ツテ今日ノ
單獨法ノ物品稅トナツタ、元來物品稅ノ範圍
ヲ擴大シテ斯ウ云フ風ニヤツテ來ルト云フ
コトニナルト煩瑣ニ堪ヘナイ、物品稅ノ本
質ヲ段々失ツテ、寧ロ所謂取引稅、賣上稅ニ
近イ形ニナツテ來テ居リマス、思フニ今日
以後モ物品稅ハ益々擴大スル、サウ云フコトヲ
繰返シ——ヤツテ居ルナラバ——是ハ小川
サンカラモ本會議デ一寸簡單ニ觸レテ居ラ
レマスガ、政府ハ此ノ物品稅ノ問題ヲ此ノ
際徹底的ニ研究サレ、之ヲ流通稅系統ノ賣
上稅ニ變更スルト云フ研究ガナケレバナラ

ス、大藏大臣ハソレハ唯研究要目デアルト
云フ程度ノ答辯ヲサレテ居リマシタガ、大
藏當局トシテハドウ考ヘテ居ラレマスカ、
唯此ノ儘バアツト擴ゲテ行ツテヤレルト見
テ居ラレルカ、斯ウ云フコトヲ繰返シテ居
ルナラバ結局形ヲ變ヘテ賣上稅ニ進マナケ
レバナラス、其ノ方ガ寧ロ明瞭デアルト考
ヘヌカ、此處ニ言質ヲ取ル意味デモ何デモ
アリマセヌノデ、率直ニ所見ヲ伺ヒマス

○松隈政府委員 今回物品稅ノ課稅範圍ヲ
擴大シ、免稅點ヲ引下ゲルコトノ提案ヲ致
シテ居ルノデアリマスガ、斯ノ如キコトヲ
續ケルヨリモ寧ロ此ノ際一舉賣上稅ニ突入
スベキデハナイカト云フ御質問デゴザイマ
ス、賣上稅ハ極メテ低イ稅率デ多額ノ收入
ヲ上ゲマスル爲ニ、非常時財源トシテハ見
逃シ難イ所ナノデアリマス、各國何レモ弊
害ハ認メツツモ其ノ多收目的ヲ達スル爲ニ
之ヲ採用致シテ居ルノデアリマスガ、賣上稅ニ
ハ多收目的ヲ特徵トスル反面相當缺點ヲ持
ツテ居リマスルノデ、是ノ實施ニ當リマシ
テハ尙ホ十分研究致シテ見タイト思ヒマス、
唯物品稅ト致シマシテ、今回モ其ノ消費ガ
相當擔稅力アル物ニ付テ苦心ヲシテ拾上ゲ
タ次第デアリマスルガ、斯ウ云フコトヲ何
處マデモ續ケ得ルカドウカト云フコトニ付
テハ將來ハ相當困難ダト思ツテ居リマス、
隨ヒマシテ或ル時期ニハ寧ロ改組シタ方ガ
宜イノデハナイカ、斯ウ思ツテ居リマスル
ガ、今其ノ時期、改組ノ方法等ニ付テ明言
ハ致シ兼ねル次第デアリマス

稅ト思ハレテ居ツタモノヲ、各國皆之ヲ取
上ゲタト云フコトハ、時局ニ即應スル已ム
ヲ得ザル稅增收ノ主タル眼目カラ之ヲ斷行
シタノデアリ、是ナラバ思ヒ切ツテ稅ハ上
ガ得ル、稅率ヲ輕クシテ、サウシテヤルナ
ラバ上ゲ得ルノデ、今局長ノ言ハレタ通り、
何處ノ國デモ殆ンドヤラナイ所ハナイヤウ
ニナツテ居ル、惡稅ト言ハレテ居リナガラ
取上ゲタノガ此ノ稅ノ根幹デアリマスカラ、
至急ニ研究サレテ、次ニ即應スルヤウナ態
勢ヲ今カラ整ヘテ置イテ戴カスト來年モ亦
物品稅ニ手ヲ觸レマス、成ベク奢侈的以外ノ
モノニハ觸レナイト今御答ヘガアリマシタ
ガ、既ニ奢侈的ノモノデナイ、可ナリ生活
必需品ニ觸レテ居ル、是ハ已ムヲ得ナイ、
ノミナラズ物品稅ニ徹底的ニ觸レルコトガ
絕對ニ必要デス、必要デアルカラ政府モヤ
ツテ居ルノデアリマスガ、併シソレナラバ
竿頭一步ヲ進メテ取引稅、賣上稅ヲ取上ゲ
テ貰ヒタイ

現ニ馬場財政ノ時ニハ是ハ取上ゲラレテ居
ツタ唯アノ時代ト今日トハ時代ガ違フ、ノ
ミナラズ各國ノ實例ヲ見マシテモ、既ニ各
國ハ實行シテ、幣害モ特質モ明瞭ニナツテ
居ツテ、其ノ施行規則モ各國ニ澤山先例ガ
アルカラ、之ヲ一ツ參考トスルナラバ、馬
場財政當時突如トシテ此ノ賣上稅ノ實行ヲ
シヨウトシタ時ノ社會情勢モ、各般ノ情勢
モ非常ニ違ツテ居ルカラ、速カナル機會ニ
於テ此ノ賣上稅、取引稅ノ研究ヲサレンコ
トヲ要望シテ置キマス、ト云フノハ、モウ
租稅體系ガ段々紊レテ來テ居リマス、此ノ
儘ニシテ置キマス、結局前ノ昭和十四年ノ
稅制調査會デヤラレタ十五年度ノ増稅計畫
ト云フモノハ、今カラ見ルナラバ、所得稅中
心ノ多少舊體制ノ稅制整理デアツタト思ハ
レル、併シ平時ニ於テハ所得稅中心ノ根本
的ノ稅制ヲ布クコトハ當然デアリ、アレハ
非常ニ出來榮エモ良ク我ガ國ノ稅制改革ノ
上ニ於テモ劃期的改革デアツタ、併シ今日
トナリマシテハ結局今マデ避ケナケレバナ
ラスト言ツタ間接稅モ寧ロ徹底的ニヤラナ
ケレバナラナイ、直接稅、間接稅ダケデ結
局ヤリ通セナイコトモ明瞭デアルカラ、流
通稅ニ徹底的ニ觸レナケレバナラナイ、流
通稅ノ體系ヲ徹底的ニスルト云フコトナラ
バ、今日日本デヤツテ居ルヤウナ有價證券
移轉稅ト云フヤウナ細カイ流通稅ハアルケ
レドモ、結局一番ノ根幹ハ賣上稅、取引稅
ニナラザルヲ得ナイノデ、今ノ内ニ根本的
ナ租稅體系ヲ整ヘテ、出來ルダケ此ノ多ク
ノ流通稅ノ體系ヲ整ヘナケレバナラス

〔委員長退席、服部委員長代理着席〕
其ノ根幹トシテ賣上稅、取引稅ト云フモノ
ヲ研究整備サレンコトヲ要望致シマス、尙
ホ物品稅ニ付テハ色々申上ゲタイコトガア
リマスガ、其ノ程度ニシテ置キマス、ト申
シマスノハ印紙稅、入場稅ト云フヤウナモ
ノガ色々アルガ、今日ノ印紙稅ハ其ノ意味
ガ曖昧模糊デアルカラ、流通稅ノ體系ヲ本
當ニ整備シナケレバナラス、少シバカリ取
ル印紙稅ナドヨリモ、モツト根幹のノ大所
高所カラ增稅案ヲ立テラレル意味カラ言ツ
テモ、政府ニ要望スルノハ流通稅ノ整備デ
アリマス

第四ハ通行稅デアリマス、通行稅ニ於テ三
百「キロ」以上ヲ非常ニ低減サレタ理由ハド
ウデアリマスカ、三百「キロ」マデハ非常ニ果
進シテ居ル、三百「キロ」カラズツト低減シ
テ居ル理由ハドウカ、ハツキリ分リマセヌ

○松隈政府委員 通行稅ニ付キマシテハ、大體現在ノ階級定額稅ノ稅率ニ對シマシテ或ル比率ヲ以テマシテ増徴ヲ致シタノデアリマス、唯階級定額稅デアリマスル關係上、段階ノ中ノ一部分ニ付テハ割合ノ幾分高マツタ所モゴザイマスガ、是ハ階級定額稅トシマシテ成ベク端數ノ附カナイ稅金ヲ盛ルト云フコトニ致シタ結果デアリマス、鐵道從業員ノ便宜ノ爲メ、御客トシテ支拂ヒマサル際ニモ支拂ノ都合ノ好イヤウニ、途中ノ段階ヲ切ツテ行キマシタ爲ニ、割合カラ云フト百六十一「キロ」ノ所デ少シ高メニナツテ居リマスガ、是ハ階級定額稅ト致シマシテハ已ムヲ得ナイコトデアルト思ツテ居リマス

○松村(光)委員 今ノ御答辯デハハツキリシマセヌ、三百「キロ」マデズツ上デラレテ居ル、果進的デモナイガ、大體サウナツテ居ル、百六十「キロ」マデ三倍ニナツテ居ル、所ガソレカラ上ノ方ヘ行クト又ズツ減ツテ居ツテ二倍半ニナリ、五百「キロ」以上ニナルト、又二倍チヨツトニシカナラナイ、近距離ヲウツ上デテ、ソレカラ先キガダラダラニナツテ居ル、其ノダラ／＼ニナツテ居ル理由ガ今ノ説明デハ能ク分ラナイ、區切りガ惡イトカ宜イトカ、端數ガ出ルトカ出ナイトカ云フコトデハナク、百六十「キロ」マデ上デテ、ソレカラ先段々下ゲタ理由ガ分ラナイノデス

○松隈政府委員 只今モ申上ゲタヤウニ通行稅ハ階級定額稅ニナツテ居リマス、此ノ現在ノ階級數ト云フモノヲ動かスト混亂ヲ來シマスカラ、現在ノ階級ハ其ノ儘維持シタノデアリマス、即チ階級ノ刻ミヲ維持シツツ、新シイ稅率ノ盛リ方ニ當リマシテハ

成ルベク釣錢ノ便宜等ヲ考ヘマシテ、例ヘバ三等ニ付テ申上ゲマスレバ、改正稅額ハ五錢、十五錢、三十錢、五十錢、七十錢、一圓ト云フ風ニ分リ易ク切ツタノデアリマス、其ノ際ニ比率ヲヤカマシク言ヒマス、或ハ四十八錢ト云フヤウナ盛リ方ニナルカモ知レマセヌケレドモ、ソコハ僅カノ差デアリマスカラ、運賃ノ方ニ於テモ近頃ハ端數整理ヲシテ居リマスノデ、通行稅ト端數ヲ付ケルト云フコトヲ避ケル爲ニ、只今モ申上ゲタヤウナ結果ニナツタノデアリマス

○松村(光)委員 今ノ説明デハ分ラヌケレドモ、是ハ大シタ問題デナイカラ後ニ廻シテ置キマス
第五ハ煙草デス、煙草ハ此ノ際徹底的ニ上ゲルコトハ當然デアルガ、是ハ社會ニ色意見ノアル所デアリ、恐ラク此ノ議會デモ意見ハ區々デセウ、私ハ代表的ノ意見ヲ申上ゲルノデハアリマセヌガ、先ヅ一番民衆的ト言ハレル金鵒デスガ、之ヲ一錢シカ上ゲテ居ラナイ、是ガ一番議論ノ中心ニナルト思フ、斯ウ云フヤウナ上ゲ方ヲシテ居ルト、必ズ又近イ中ニ煙草ヲ値上シナケレバナラヌト云フコトガ起ツテ來ル、煙草ノヤウナモノハ色々ナ點カラ見マシテモ、思切ツテヤラレルガ宜イ(ノ／＼)反對ガアルノハコデス、僅カ一錢ヲ上ゲルト云フコトデアルガ、此ノ金鵒ヲ一錢上ゲルカ二錢上ゲルカ、三錢上ゲルカト云フコトニ依ツテ——大體煙草ノ中ノ大半ハ金鵒デス、二億三千万圓位金鵒ナンダカラ、此ノ金鵒ヲ上ゲルカ上ゲナイカト云フコトハ煙草ノ問題ノ根幹デアル、ドウシテモ是ハ一番大キナ問題デアルガ、ドウシテ一錢ニ値上ヲ止メタカ、其ノ理由ハドウ云フ譯デス

○山田(鐵)政府委員 只今ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、此ノ度ノ値上ニ付キマシテハ既ニ御承知ダラウト思ヒマスガ、高級品ニ付テ高ク致シマシテ、下級品ニ付キマシテハ出來ルダケ低ク致シタ次第デアリマス、是ハ申上ゲルマデモナク煙草ハ嗜好品デゴザイマスガ、酒ナンカトハ違ヒマシテ稍、生活必需品タルノ性質モ持ツテ居ルノデアリマス、隨テ徹底的ニ消費ヲ抑制サセルト云フコトハ中々困難ナ事情モアリマスノデ、旁、最下級品ニ付キマシテハ出來ルダケ少イ値上ヲ斷行シタ次第デアリマス、隨テ金鵒ニ付キマシテハ最小限度ノ一錢ヲ引上ゲタノデアリマシテ、是ハ即チ生活必需品タル性質ヲ有スルモノデアルカラト云フ意味デ最低限度ノ一錢ヲ引上ゲタ次第デアリマス

○松村(光)委員 一應ノ平時ノ場合ニ於ケル通俗的ノ御説明トシテ何ツテ置キマス、普段ノ場合ハ其ノ通りデアリマス、上ゲナケレバ尙ホ宜イ、煙草ガ生活必需品デアルカドウカハ議論ノ餘地ノアル所トシテ申上ゲマセヌガ、煙草ノヤウナモノニ觸レルナラバ、上ノ方ハ幾ラ思ヒ切ツテ上ゲテ見デモ、ソレハ餘リ痛痒ヲ感ゼヌ、ソレハ擔稅力ノアル人デアツテ、大シタコトニナラナイ、ヤハリ上ゲルナラバ全般的ニ上ゲル、是ガ即チ平時ト戰時ト徵稅ノ根本ノ違フ所デアル、斯ウ云フ場合ニハ已ムヲ得ナイコトデアルカラ、思ヒ切ツテ普遍的ニ稅ヲ上ゲルベキデアル、現ニ大藏大臣モ昨日、此ノ際ハ擔稅力ト云フヤウナコトニ餘リ重キヲ置カズニヤルト云フコトヲ頻リニ言ハレテ居ルガ、大藏大臣ハヤハリ大所高所カラ盛ラレテ居ル、專賣局ノ方デハ大衆迎

合——此ノ言葉ハ當ルカドウカ知ラスガ、大衆迎合デ、之ヲ一錢以上上ゲルコトヲ避ケテ居ラレルヤウデアルガ、煙草ノ稅ヲ上ゲルト云フコトハ、此ノ際大キナ増稅ヲシナケレバヤレナイト云フコトヲ國民ニ知ラセルコトガ第一ノ眼目デアリマス、現ニ十一月十一日カラ値上ヲシタガ、消費ハ減ツテ居ラナイ、サウ云フ國民ノ負擔力ノ増シタ點カラ見マシテモ、斯ウ云フ所カラ思ヒ切ツテ稅ヲ取ルノデナケレバ本當ノ大キナ目的ハ達セラレナイノデアル、是ハモウ少シ思ヒ切ツテ觸レナケレバイカヌ、聞ク所ニ依ルト、非公式ノ話ダカラ此處デ出シテ宜イカ分ラヌガ、實ハ更ニ二錢上ゲテ、此ノ次ハ十二錢ニスルト云フコトヲ言ツテ居ツタト云フコトデアリマス、ソナコトヲ考ヘル位ナラバ、ヤハリ十錢ハ取り宜イトカ、十一錢ハ取りニクイト云フヤウナコトヲ言ハズニ、ヤハリ總テノモノニ觸レラレテ、上ノ方モ徹底的ニ取ルベシ、併シ同時ニ斯ウ云フ所モ上ゲテ行カナケレバナラヌ、又近ク必ズ上ゲナケレバナラヌコトガ起ツテ來ル、ソコデ茲ニ思ヒ切ツテ二錢上ゲルト云フコトハ意見ノ相違デナク、必要ナコトダト思フ、現ニ各國ノ様子ヲ見マシテモ、「ドイツ」ナドハ煙草ハ五割上ゲテ居ル、其ノ位大キナ氣持デナケレバ國家ノ戰時財政ハ賄ヘナイ、消費稅ニ觸レナケレバナラヌ理由ハソコニアアルノデアルカラ、專賣局ハモツト大キク考ヘラレテ、出セル所カラハ我慢シテ出シテ貰フ、斯ウ云フ考ヘデナイトイカスト存ジマス、之ヲ一錢上ゲルト二千五百万圓バカリ違フ、斯ウ云フコトモ一ツノ大キナ眼目デアリマシテ、全體ニ思ヒ切ツテヤツテ欲シイ、是ハ異議ノアル人モアルデ

セウガ、モウ少シ煙草ノ問題ニ觸レテ欲シカ
ツタ、兎ニ角全體のニ今ノヤウナ考ヘ方デ
ハ甚ダ不徹底デアリマスノデ、申上ゲタノ
デアリマス

○服部委員長代理 今鐵道省ノ方が見エラ
レマシタ

○松村(光)委員 鐵道省ノ方ニ此ノ機會ニ
伺ツテ置キマス、鐵道運賃モ大體同ジヤウ
ニ上ゲラレル、此ノ旅客運賃ヲ上ゲルト云
フ趣旨ガ新聞ナドデハハツキリシナイ、何
カ一方消費ノ規正モスルガ、之ニ依ツテ鐵
道ノ建設ヲ根本的ニ改善スルト云フコトガ
主タル理由ニ舉ゲラレテ居リマスガ、今度
鐵道ノ旅客運賃ニ觸レラレタ大キナ目標ハ
何デアリマスカ、伺ヒマス

○長崎政府委員 鐵道運賃ノ値上ニ付キマ
シテ、其ノ眼目ト致シマス所ヲ申上ゲマス
ガ、御承知ノヤウニ鐵道ノ運賃ト云フモノ
ハ大正九年ニ改正ヲ致シマシテ以來今日マ
デ二十二年間多少ノ變更ハ致シマシタケレ
ドモ、ソレハ哩制ヲ「キロ」制ニシタ爲ニ多少
改正ガアツタト云フニ止マルノデアリマシ
テ、貨物運賃ニ付キマシテハ既ニ御承知ノ
ヤウニ、昭和十四年事變勃發直後低物價政
策ト云フ線ニ沿ヒマシテ

(服部委員長代理退席、委員長着席)
年額約三千万圓ニ達スル低減ヲ致シタノデ
アリマス、旅客運賃ニ付キマシテハ少シモ
手ヲ着ケズニ、二十二年間殆ど同ジ運賃ヲ
ズツト踏襲シテ參リマシタノデアリマスル
ガ、其ノ後ノ一般社會經濟事情ノ遷リ變リ
ヲ顧ミルニ、殊ニ昨今低物價政策堅持ノ爲
ノ浮動購買力ノ吸收ガ、國トシテ非常ニ必
要ナコトデアルト云フコトガ段々ト認メラ
レテ參リマシタノデ、鐵道ノ旅客運賃ガ二

十年モ變化ガナカツタト云フコトト、現在
ニ於ケル浮動購買力ノ吸收ノ必要ト云フコ
トト雙方睨ミ合ハセマシテ、旅客運賃ニ多
少改正ヲ加ヘテ、現下最モ要望サレテ居ル
浮動購買力ノ吸收ト云フコトニ力ヲ添ヘル
コトガ出來ルデハナイカト云フコトヲ研究
シマシタ結果、ソレガ出來ルト云フコトニ
認メラレルノデ、今回ノ運賃ノ値上トナツ
タノデアリマスルガ、同時ニ鐵道經營ノ部
面カラ見マシテモ、御承知ノヤウニ事變勃
發以來既ニ二倍ニ垂ントスル多數ノ旅客ヲ
吾々ハ迎ヘテ居ルノデアリマスルガ、ソレニ
對シマス設備資材、或ハ勞力ト云フヤウナ
方面ノ關係カラ、思フヤウニ中々擴張、擴充
ガ出來ナイ、人手ノ方モ段々ト弱體化シテ
參リマス、サウ云フ譯デハハ申上ゲルマデモ
ナク甚ダ申譯ノナイコトデアリマスルガ、
オ客サンニ對スル「サービス」ト云フヤウナ
モノモ、低下ドコロデハナイ、殆ど昔日ノ面
影ナシト云フ風ニナツテ參ツテ居リマシテ、
今後ハ現在持ツテ居リマス輸送力ヲ出來得
ルダケ合理的ニ能率向上ヲ圖ル、一方ニ於
テ輸送ノ量ト云フモノニ對シテモ調整ヲシ
テ行カナケレバナラヌ、サウ云フヤウナ見
地ニ立チマシテ顧ミテ見マスルト、運賃ノ
引上ハ輸送ノ調整ニモ役立ツノデアリ、更
ニ又經營自體ノ色々ナ計數カラ申シテモ、
丁度此ノ前ノ大正九年ニ鐵道運賃改正ヲ致
シマシタ當時ノ經營狀態ニ餘程似テ參ツテ
居ルノデアリマス、皆様ハ鐵道ノ黒字々々
ト云フコトヲ仰シヤラレルノデアリマスガ、
黒字ノ正體ヲ能ク見テ戴キマス、ソレハ
單ニ前年ニ對シテ收入ガ増加シテ居ルニ過
ギナイノデアリマシテ、營業ノ收入ト支出
ノ割合等ヲ見マス、段々惡イ方ニ進ンデ

來テ居ルノデアリマス、左様ナ譯デアリマ
シテ、經營ノ面カラ見マシテモ餘程此ノ際
運賃改正ト云フコトニ付テ考慮ヲシナケレ
バナラヌ、斯様ニ之ヲ搔撫シデ申シマスレ
バ、國トシテ浮動購買力吸收ト云フコトガ
非常ニ必要デアル、鐵道ノ旅客運賃ハ長イ
間据置ニナツテ居ツタ、其ノ間ニ値上ノ餘
地ガアルナラバ此ノ際購買力ノ吸收ニ役立
テタラドウカト云フ見地、ソレカラ鐵道輸
送ノ調整ト云フ見地、モウ一ツハ鐵道經營
上ノ見地カラ考ヘテモ早晚何等カノ改正ヲ
必要トスルノデハナイカト云フ點カラ考究
シマシテ、今回ノ値上ヲ致スコトニナツタ
次第デアリマス

○松村(光)委員 今ノ御説明デ能ク分リマ
シタガ、第一ノ浮動購買力ノ吸收ト第二ノ
輸送量ノ調整トハ已ムコトヲ得ナイト云ヘ
バソレマデダガ、兎ニ角輸送ハ隨分幅濫シ
テ居ルカラ之ヲ調整シヨウト云フ、モット
率直ニ言フナラバ、成ベク不用ナ人ハ乗
ツテ呉レルナト云フコトデナケレバ調整ニ
ナラナイ、サウ云フ趣旨カラ言フナラバ、是
ハ具體的ニ新聞ニ發表サレテ居ラナイカラ
分ラヌガ、少クトモ今ノ鐵道ノ收入ハ旅客
收入ニ於テ本年度ノ見込七億二、三千万
圓、其ノ内大部分ノ五億二、三千万圓ハ三
等デス、急行ヲ入レルト五億五千万圓位ハ
三等デアルト思ヒマス、殆ど鐵道ノ收入ノ
大部分、七億ノ内五億四、五千万圓ガ三等
デアルカラ、購買力ヲ吸收シテ輸送ノ調整
ヲスルト云フ三大眼目ノ中ノ二ツヲ徹底サ
セヨウト云フナラバ、三等運賃ニ徹底的ニ
觸レナケレバ、其ノ目的ハ達成シナイト思
フ、新聞ニ傳ヘラレルコトガ事實ナラバ、
一等二等ヲ徹底的ニ、引上ゲルコトハ宜シ
イ、是ハ煙草ノ場合ト同ジデス、一等二等
ハ幾ラ引上ゲテモ餘リ痛痒ヲ感ジナイ、ダ
カラハ多々益、引上ゲナケレバナラナイ、
併シ今ノ二大眼目ハ三等ニ觸レザル限りハ
達成サレナイノデアアルガ、三等ノ運賃ハド
ウサレルノデアアルカ、是ハ繰返シテ言フ、
平時ノ場合ハ斯様ナ議論ハ絕對的ニ避ケナ
ケレバナラヌガ、此ノ際戰時下ニ於テ三等
運賃ヲドウサレルト云フ御考ヘデアアルカ、
先ヅ其ノ二大眼目ニ付テ三等運賃トノ關係
ヲ伺ヒマス

○長崎政府委員 煙草トノ御比較ハ私ハ能
ク分リマセヌガ、鐵道ニ關スル限りニ於キ
マシテハ御説ノ通りデゴザイマシテ、鐵
道旅客運賃ノ大宗ハ三等旅客運賃ニ觸レズ
シテハ其ノ目的ヲ達成スルコトハ難イト云
フコトモ確カデアリマス、隨ヒマシテ吾々
ト致シマシテハ、運賃ト云フ部面ニ於テハ
特殊ノモノハゴザイマスガ、ソレヲ除キマ
スト、大體ニ於テ同一ノ率デ引上ゲテ行ク
積リデアリマス、唯併シ御承知ノヤウニ一
等ハ三等ノ三倍ニナツテ居リマスシ、二等
ハ二倍ニナツテ居リマス、ソレカラ色々御
説ガゴザイマシタガ、急行、寢臺ト云フヤウ
ナ部面ニ付キマシテハ、是ハ三等ト二等或
ハ一等トノ間ニ多少ノ引上率ニ差異ヲ設ケ
テモ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リ
マス、尙ホ更ニ附加ヘテ申上ゲマスガ、普
通ノ旅客運賃ト定期ノ旅客運賃トハ私ハ非
常ニ差別ガアルノデハナイカト思ヒマス、
普通ノ旅客デゴザイマスレバ、早イ話ガ
仕事ガアツテ旅行ヲナサナケレバナラナイ
ト云フ場合ニ於テモ、或ル程度ノ繰合ハセ
ト云フモノガ付キマシテ、今度ノ用事ハ此
ノ次ニ延バサウト云フヤウナコトモ出來マ

スシ、何カソコニ調節ガオ客サンノ側デモ出來ルノデゴザイマス、併シナガラ定期ノオ客サンハ毎日デナケレバ生活ノ問題ニ直チニ影響シテ參リマスノデ、サウ云フ繰合ハセト云フコトハ絕對ニ許サレマセヌ、是ハ乘車ガ強制サレタ形ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ定期旅客運賃ニ付キマシテハ、普通旅客運賃ト聊カ異ナリマシタ低率ノ値上ニ止メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第アリマス

○松村(光)委員 定期、電車等ハ勿論觸レル必要ハアリマセヌ、其ノ通りデアリマス、只今同一率引上ト言ツタガ、大體比率ハドノ程度引上グル方針デアリマスカ御尋ネ致シマス

○長崎政府委員 是ハマダ確定シタ案デハゴザイマセヌノデ、私共ガ運輸當局トシテ考ヘテ居リマスル案ヲ大體御話申上ゲマスト、只今御承知ノヤウニ、日本ノ旅客運賃ト云フモノハ遠距離遞減制ニ相成ツテ居リマス、最初が一錢六厘五毛デアリマシテ、順次ソレガ距離ニ從ツテ低下サレテ行クト云フ極メテ複雑ナモノ、而モ其ノ階段ガ七ツニモ分レテ居ルト云フヤウナモノデアリマシテ、賃率モ其ノ階段ニ從ツテ又段々變ツテ行クト云フ風ナ極メテ複雑ナモノデゴザイマス、所ガ遠距離遞減制ト云フヤウナモノハ、過去ニ於キマシテハ、私ハ日本ノ政治經濟上ニ非常ニ大キナ功績ガアツタヤニモ考ヘテ居ル次第デアリマスルガ、今日世界各國ノ運賃制度ヲ見マシテモ、盟邦「ドイツ」ニ於テハ無論ノコト、「イタリー」、或ハ滿洲國、北支、中支ノ華北、華中ノ料率ト云フヤウナモノヲ見マシテモ、是ハ悉ク旅客運賃ニ關スル限り距離比例制デアリマシ

テ、最初ノ「キロ」カラ最後ノ「キロ」ニ至ルマデ同ジ賃率デ進ンデ行クノデアリマス、斯ウ云フヤリ方ハ非常ニ取扱ヒガ簡易デゴザイマスルノデ、斯ウ云フ即今ノヤウナ非常ニ旅客ガ幅濫スル場合ニ於キマシテ、吾等從事員ノ仕事ノ上ニ於テハ勿論、會社、銀行、官廳等ニ於キマシテモ出張旅費ノ計算ト云フコトガ困難デアリマシテ、チヨツト素人ニハ出來ナイヤウナ制度ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ忙ガシイ時期ニサウ云フ面倒ナ制度ヲヤツテ行クト云フコトハ是非改メナケレバナラス、斯様ニ考ヘマシテ、出來ルコトナラバ比例制ニシテ行キタイ、斯ウ思ヒマシタガ、併ジ一躍ニシテ比例制ニ飛ンデ參リマスルト、只今マデ遠距離ヲ非常ニ安イ運賃デ乗ツテ居ラレルオ客サンニハ相當ノ引上ゲニナルノデアリマスノデ、大體私共ハ只今之ヲ二段制ニ致シマシテ、サウシテ極メテ簡單ナ、モウ殆ンドドナタニデモ御計算ガ出來ルト云フ制度ニ致シタイト思ツテ居リマス、隨テ只今松村サンノ御尋ネデゴザイマスルガ、此ノ上ガル率ト云フモノヲ個々ノ場合ニ當嵌メテ見マス、非常ニ違ツテ居リマスガ、大體カラ申シマスルト、平均二割七、八分見當、ウント上ツタ所デモ四割、マア一等、二等、三等ニモ依リマスガ、大體四割内外ノ見込デゴザイマス

○松村(光)委員 大體分リマシタ、勿論大體ノ話デ結構デス、ソレデ貨物ハ別トシマシテ、旅客運賃ノ全體ノ總收入ハドレ位ヲ目標ニ取ツテ計算シテ居ラレマスカ、十六年度ノ見込ニ對シテドノ位ノ增收割合デゴザイマスカ

○長崎政府委員 十六年度ノ旅客收入ハ先

程松村サンガ申述ベマシタヤウニ、大體旅客運賃ガ七億前後ノ收入デゴザイマス、ソレニ對シテ二割七、八分見當デゴザイマスカラ、ソレデ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村(光)委員 ソコデ三大目標ノ二ツハ分ツタ、其ノ趣旨デヤツテ居ラレルコトモ明瞭ニナリマシタガ、目標ノ第三ノ經營狀態ト營業收支ノ狀態カラ見デト云フ所ガ問題ニナル、斯ウ云フ狀態デアルカラ建設ノ方ニモ廻ハサナケレバナラヌト云フ伏線ニ是ハナルト思フ、ソコハ非常ニ大キナ問題ニナツテ來ルノダガ、此ノ際ハ現業員ノ問題ナドニハ觸レナイコト思フガ、ドウデアリマス

○長崎政府委員 松村サン御承知ノ通り、國有鐵道ハ只今非常ニ繁忙ナ輸送ヲ致シ、サウシテ御覽ノ通りノ有様デゴザイマシテ、若シモ資材ガ許シ努力ガ許スナラバ是レ以上強力ナモノニシテ行カナケレバナラヌト云フコトハ、殆ンド私ハ議論ノ餘地ノナイ所デハナイカト思フノデアリマス、之ヲ高度國防國家體制完成ノ見地カラ見マシテモ、日滿華三國ノ鞏固ナ結合ヲ根幹トスル大東亞ノ共榮圈確立ト云フヤウナ見地カラ見マシテモ、内地ノ鐵道ノ大宗デアル所ノ國有鐵道ト云フモノヲ強化シテ行カナケレバナラヌコトハ、是ハ私ハ疑ノナイ所デアルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ事情ガ許スナラバ出來ルダケサウ云フ方向ニ進ンデ行キタイ、私ハ敢テ此ノ運賃改正ニ依ツテ得タル收入ヲ直チニソレニ充ルト云フ意味デハアリマセヌ、是ハ出來得ル限り、若シモ鐵道ニ於テサウ云フ輸送力ノ強化擴充、現有設備ノ能率ノ増進ト云フコトニ對シテ必要デアル財源ガ既ニ收入シテ居ル部分デ賄

ヒ得ルナラバ、是ハ固ヨリ引上ニ依ル收入部分ハ國家ノ其ノ他ノ施設ニ充當シテ差支ナイト思フノデアリマス、是ハ何レモ國家ノ仕事デアリマス、國家ノ仕事デアル以上何レノ所ニ之ヲ使用スルカト云フコトニ付テハ、是ハ能ク國家全般ノ仕事ト云フモノヲ配合ハセテ考フベキデアラウト考ヘテ居ルノデアリマシテ、私ガ先程國有鐵道ノ經營狀態カラ申シマシテモ、丁度大正九年頃ノ運賃引上ノ當時ニ似テ來テ居ル、運賃改正ニ付テ考慮ヲシナケレバナラヌ時期ガ段々參ツテ居ルヤウダト云フコトヲ申シマシタコトハ、ソレヲ必ズシモ國有鐵道デ使ハナケレバナラヌト云フ意味ノ伏線トシテ申上ゲタノデハ決シテナイノデアリマス

○松村(光)委員 大體論ハ結構デスガ、現在ノ時局下ニ於テハ申上グルマデモナク、今ノ輸送ノ強化モ勿論或ル程度マデヤラナケレバナラヌガ、併シ可及的多額ヲ特別會計カラ一般會計ニ廻ハスト云フコトデナケレバヤレナイ、ソコヲ詳シク言ハヌガ、鐵道省ハシツカリ考ヘテ、普段ノヤウナ考ヘデ鐵道ハ鐵道デト云フヤウナコトハヨモヤ考ヘテ居ラヌト思フケレドモ、ドウモ審議會ノ模様ナド聽イデ居ルト、此ノ眼目ノ第三ニ重點ヲ置カレテ、自分デ上ゲタモノハ大部分自分デ取リタイト云フヤウナ要素ノ舊體制ノヤウナ考ヘ方ヲ此處デ持タル困ルト思ツテ申上ゲタノデスガ、是ハ大藏省ト協力サレテ、出來得ル限り眼ヲツブツテ一般會計ニ廻ハスト云フコトデナケレバヤカス、隨テ此ノ中幾ラカ現業員ノ優遇ナドト云フコトニ使ヒタイト云フコトハ平素ナラバ是ハ當然デアアルガ、此ノ際左様ナコトヲスルト、アト鐵道バカリデナイ、遞信省等各

方面ニ問題が波及スルノデ、餘程鐵道省ハ此ノ點ヲ善處サレテ、サウシテヨリ多ク一般會計ニ廻ハスト云フコトヲ根本的ニ御考ヘテ願ハナケレバナラス、此ノ運賃引上ハ今申上ゲマシタヤウニ、ドウシテモ目下ノ急ニ即應スル爲ノ引上ゲデアルト云フコトニ重點ヲ置カレテ、善處サレンコトヲ特ニ要望シテ置キマス、マダアリマスケレドモ武田君ガ何カ鐵道ノコトニ付テ御質問ガアルサウデスカラ……

○武田委員 チョット鐵道省ノコトニ付テ關聯デ……

○櫻井委員長 武田徳三郎君

○武田委員 只今鐵道當局ノ御話ヲ承ツテ居ルト、私ハ附ニ落チヌコトガアルノデ一ツ

簡單ニ伺ツテ見タイト思ヒマス、併シ鐵道運賃ノ引上ハ殆ど決定ニナツテ、將ニ着手ニ

ナラントシテ居ル際デスカラ、徒ラニ此處ニ議論ヲシテモ仕様がアリマセヌカラ、兎

角ノコトハ申シマセヌガ、唯一寸意向ヲ明カニシテ置キタイノデアリマス、新聞ニ現

ハレク所ニ依ツテ伺ツテ見テモ、今松村君ノ質問ニ對スル鐵道當局ノ御説明ヲ承ツテ

見テモ、ドウモ私ハ附ニ落チヌ説明ノヤウニ思フ、鐵道ハ大變ニ旅客ガ多クテ、色々

ノ設備ガ不満足ニナツテ來タ、鐵道從業員モ非常ニ忙シクテ氣ノ毒ナ状態デアル、ソ

レデ其ノ設備ニモ幾多ノ改善ヲ加ヘル必要ガアルシ、或ハ從業員ノ手當モ引上ゲテヤ

ラナケレバナラス、ソレト餘リ客ガ多クテ困ルカラ、ソレヲ制限スル意味ニ於テ引

上ノ必要ガアル、ソレトモウ一ツハ購買力吸收ノ意味ニ於テモ引上ゲル必要ガアルト

云フ風ニ、三段ニ御説明ニナツタヤウデアリマス、併シハ私ハ大藏當局ニモ共ニ

同ヒタイ、一體鐵道省ハ企業官廳デアリマスカラ、企業官廳ガ國民經濟政策ニ其ノ鐵道ノ經營ヲ直ニ參加セシムルト云フコトハ、私ハ根本ニ於テ考ヘ方違ツテ居ハシナイカト思フ、國民經濟ニ或ル種ノ調整ヲ加ヘルト云フコトハ、ソレハ財政政策デヤルベキコトデアツテ、現ニ大藏省ニ於テモ通行稅ヲ引上ゲル御計畫ガ發表サレテ居ルノデアリマス、是ハ今申サレタ購買力ノ吸收ト云フヤウナコトハ鐵道運賃ノ引上ニ含マレテ居ルト致シマスレバ、ソレハ大藏省ノ方面デ通行稅デアルベキコトデアル、ソレヲ大藏省ト鐵道省ノ間ニヨク御打合せガナイノカ、ゴツチャニシテ居ルノハ私ハラカシイト思フ、普通ノ常識カラ見テモ、ドウモ私ハ鐵道省ノ説明ハ何ダカ腑ニ落チナイ、是ハ民間ニ於テハ、お客様ガ澤山アツテ商賣ガ繁昌シテ困ルカラ値上ラスル、ソナ馬鹿ナコトハ民間ニハアリマセヌ、お客様ガ多クテ、商賣ガ大變繁昌シテ、收入ガ多クナレバ寧ロ値下ダルト云フノガ民間ノ事業ノヤリ方デアル、然ルニお客様ガ多クテ困ル、其ノ爲ニ從業員モ困ルシ、機械モ傷ム、ソレダカラ値上ラシナケレバナラス、斯ウ云フコトハ或ハ御役所デハ考ヘラレカ知ラスガ、民間デハサウ云フコトハ考ヘ得ナイコトドラウト私ハ思フ、ダカラシテ鐵道ノ經理上困ルト云フノナラバ吾等ニモ分ル、世ノ中ガ不景氣デ鐵道ノ乘客モ減ツタ、貨物モ減ツタ、併シナガラ從業員ハ其ノ割合ニ減ラス譯ニ行カヌ、修繕モシナケレバナラスケレドモ、收入ガ減ツテドウニモ仕様がナイト云フ時ニ初メテ値上ラスルト云フナラバ吾等ニ直グ分ル、サウデナクテ、商賣繁昌シテ儲カル時ニ、ドウ

モ是デハ困ルカラ値上ラシナケレバナラスト云フコトハ、私共ハドウシテモ會得ガ出來ナイ、併シナガラ今日既ニ實行ニ掛ツテ居ルノニ、斯ウ云フ時局柄私ハ敢テ鐵道當局ト議論ヲスルヤウナ意味カラ伺ツテ居ルノデハナイ、餘リニ私共ノ常識ニハ諒解シ兼ねルカラ其ノ事ヲ申上ゲタノデス、併シソレヲ今引戻スト云フコトガ出來ナイ以上ハ更ニモウ一ツ伺ヒタイコトハ、鐵道賃金ノ引上ニ付テ、單ニ鐵道經理上ドウシテモ引合ハナイト云フ意味以外ニ、今御説明ニナツタヤウナ理由ガアルナラバ、今一寸松村君ノ觸レラレタヤウニ、是ハ其ノ大部分ハ一般會計ナリ特別會計ナリへ繰入レラルベキ性質ノモノデアルト私ハ思フ、ソレデ大藏當局ト鐵道當局トノ間ニ、其ノ賃率ノ引上ノ爲ニ得ラレタル收入ノドノ位ノ部分ヲ一般會計ナリ臨時軍事費ニ繰入レラレルコトニ御打合せニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○松隈政府委員 只今武田委員ノ御質問ニナリマシタ鐵道ノ旅客カラ購買力ヲ吸收スル場合ニ於テ、通行稅デ吸收スルノガ最も此ノ際ノ目的ヲ達スル良手段デハナイカ、運賃値上ト二本建デ行クコトハ如何デアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、通行稅ト致シマシテハ、他ノ消費稅ト權衡ヲ取リマシテ、今日増徴案ヲ提案致シテ居ル次第デアリマス、若シ通行稅ヲ更ニ多額ニ増徴致シマシテ、大體此ノ際企圖致シテ居リマスル購買力抑制手段ニ出ルト致シマス、今度ハ通行稅ノ増徴割合ト云フモノガ、現在提案致シテ居リマス所デモ約二十割ニ近い増徴デアリマスノガ、突飛ナ増徴ニナツテ、他ノ消費稅トノ權衡ヲ著シク害スルコトニ

ナリマスノデ、通行稅ハ通行稅ト致シマシテ、大體ニ於テ他ノ消費稅トノ釣合ヲ取ツタ案ヲ提案致シマス一方、鐵道旅客ノ方面ニ現ハレマシタ購買力ハ、相當横溢シテ居リマスノデ、之ニ付キマシテハ只今鐵道省ノ政府委員カラ述べマシタ通り、從來鐵道運賃ガ非常ニ古ク定メラレテ低過ギタト云フ所カラ、其ノ引上ヲ致スコトヲ考慮中ナノデアリマス、ソコデ購買力ノ吸收ト云フ點ニ主眼ガアリマスカラ、今回鐵道運賃ノ引上ニ依リマスル増收ハ、原則トシテ之ヲ一般會計ニ入レルト云フコトニ打合せニナツテ居ル次第デアリマス

○長崎政府委員 武田サン只今ノ御話ノ、鐵道ノ運賃値上ト云フモノハ斯ウ云フ場合ニヤルノガ本當デヤナイカト云フヤウナ御意見デゴザイマシタガ、其ノ御意見ニ付キマシテハ私共モ原則トシテハ左様デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ先程來申上ゲマシタヤウニ、現在ノ國家ノ要請ト云フモノニ顧ミ、又現行ノ鐵道旅客運賃ノ程度ト云フモノニ鑑ミマシテ、ソレニ更ニ鐵道經營上ノ見地ト云フヤウナモノヲ加味シテ、運賃改正ト云フ點ヲ考慮シテ居ル次第デアルトハ先程來申上ゲテ居ル通りデアリマシテ、之ニ付キマシテハ武田サンモ自分ハ敢テ議論ヲスル譯デナイト云フコトデゴザイマスカラ、其ノ程度デ御諒承願ヒタイト思ヒマス、更ニ、然ラバ其ノ運賃引上ニ依ル收入ト云フモノノ處理ヲドウスル積リカト云フコトデゴザイマスルガ、其ノ點ニ關スル原則論ト致シマシテハ、只今大藏省ノ政府委員カラ述べラレマシタ通りニ吾等モ考ヘマシテ、國家ノ要請ニ應ジテ出來得ル限り多額ノ金額ヲ國家ガ緊急トシテ居ル方面ニ使ツテ藏

クト云フコトニ考ヘテ居リマス

○武田委員 序デナガラ一寸伺ツテ置キタ
イノデスガ、今度ノ増收ヲ一般會計ナリ、
臨時軍事費ナリニ繰入レル場合ニ於
テ、何カ鐵道省ノ繰入レノ標準ト云フモノ
ヲ御決メニナル御考ヘガアリマスカ、今マ
デハ何ダカ鐵道省ノ一般會計ニ繰入レノ際
ハ縁日ノ商人ノヤウナコトガ屢、アツタ、氣
前好クポイント投ゲテ、此ノ爲ニ豫算ガ出來タ
トカ何トカ新聞ニ書立テラレテ居ルト云フ
コトサヘモアツタ、之ヲ一定ノ標準ヲ決メ
テ——鐵道省ニ限ラズ官業ハ總テ稅ガナイ
ノデアリマス、稅ノナイ商賣ハ民間ニアリ
ヤウガナイノデアリマスガ、サウ云フコト
ニナツテ居ル、ソレヲ普通ニ民間デアツタ
ナラバ、所得稅、營業稅、超過利得稅ナド
ヲ納メル、サウナレバ鐵道省ノ一般會計ニ
繰入レルノガ今年ハ不足ハシナイカ、
假ニ此ノ問題ハ何レニ致シマシテモ、何カ
茲ニ一定ノ標準ヲ決メテ置ク方ガ大藏省ノ
豫算編成ノ上ニ於テモ宜カラウシ、民間ノ
企業者ノ上カラ見テモ、成程斯ウ云フ標準
ガアツタカラ斯ウ云フ繰入レガアツタト云
フコトデ、國民ニハツキリシテ宜イ、鐵道
省ガシヨウトシテモ、大藏省ガ困ルト言ツ
タカラ、モウ五百万圓奮發シテ氣前好ク投
出シタト云フヤウナ、甚ダサウ云フ曖昧ノ
コトデハ私ハ駄目ダト思ヒマス、此ノ際何等
カノ標準ヲ決メラレデ——原則トシテ成ベ
ク増收シタモノハ繰入レルト云フ御話デ、
ソレハ結構ト思ヒマスガ、總體ニ鐵道省ノ
一般會計ニソレヲ繰入レル標準ヲ合理化シ
テ、標準ヲ定メテオヤリニナルト云フ御考
ヘガアリマセヌカ、又サウ云フコトヲナサ
ル方ガ宜イデハナイカト云フコトヲ、私ハ

進言的ニ申上ゲテ、御考ヘガアリマシタラ
此ノ際伺ツテ置キタイト思ヒマス

○長崎政府委員 只今武田委員カラ御述ベ
ニナリマシタヤウナコトガ、アツタカナカ
ツタカト云フコトハ私能ク存ジマセヌガ、
恐ラクソレハ政府部内ニ於キマシテ鐵道、
大藏兩省ノ交渉ノ間ニハ、ソレハ豫算ノ査定
デゴザイマスルカラ、色々ナコトガアリ得
ルデヤナイカト思ヒマス、ソレカラ一定ノ
率デ收入ヲ一般會計ナリ何ナリニ繰入レル
コトニシタラ宜イデヤナイカト云フ御話デ
ゴザイマスルガ、是ハ成程一ツノ方法デア
ラウトハ私ハ存ズルノデアリマス、隨ヒマ
シテニ付キマシテモ研究ハ致サナケレバ
ナラストハ思ヒマスガ、ソレニ付キマシテ
ハ他方ニ於テ私ハ斯ウ云フ感ガ致スノデゴ
ザイマス、如何ニモ此ノ鐵道ト云フモノガ
所謂國ノ仕事デヤナイ、何カ民間ノ仕事ト
同ジヤウナコトニ取ラレル虞ハナイカ、國
有鐵道ト云フモノモ、之ヲ強ク申シマスル
ナラバ事變下ニ於キマシテハ銑後ニ於ケ
ル、否私ハ戰線ニマデ殆ド延長サレテ居ル
兵器ト同ジヤウナモノデハナイカトサヘ考
ヘラルノデアリマス、此ノ輸送ノ完否ト
云フコトガ總テ凡ユル國家ノ計畫等ニ影響
シテ參ルノデゴザイマシテ、ソレガドウシ
テモ或ル率デ收入ヲドウカシナケレバナラ
スト云フヤウナコトモ、是ハ私ハ考慮サル
ベキデアリ、ソレ等ノ點ハ無論考ヘナケレ
バナラスコトデアリマスルガ、ヤハリ國ノ
一ツノ事業、國ノ一ツノ仕事トシテ大藏省
或ハ國家ノ最高ノ政策、方策ヲ定メテ行ク
所デ之ヲ決定シテ、其ノ時ニ鐵道ノ改善ノ
必要ナシト認メラレルナラバ、多額ノ繰入
レヲナスモ可ナリデアリマセウシ、又鐵道

ノ改善ガ緊急ナリト認メラルナラバ、之
ニ對シテ相當ナ金ヲ使ツテ行クト云フコト
ニセラルルコトガ、寧ロ妥當デハナイカト
云フヤウナ考ヘ方モ致サレマスルノデ、御
說ノ點ニ付テハ篤ト考慮致シ、又考究致シ
タイト存ジマス

○櫻井委員長 一寸御諮リヲ致シマスガ、
モウ正午ヲ過ギマシタガ、午後ハ本會議ニ
於テ重要ナル決議案ガアリマスカラ、其ノ
間ハ暫ク委員會ヲ休憩シタラドウカト思フ
ノデアリマスガ、其ノ本會議ノ豫定時間ヲ
聽合セテ見マス、一時半開會豫定ト云
フコトデアリマス、ソレ故モウ十五分乃至
二十分御辛抱願ヒマシテ休憩ヲ致シ、午後
本會議デノ決議案終了後、直チニ開會スル
コトニ致シタイト思ヒマスガ、御異議アリ
マセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○櫻井委員長 御異議ナシト認メマシテ左
様ニ取計ラヒマス——西川君、關聯デゴザ
イマスカ

○西川委員 關聯シマシテ簡單ニ……

○櫻井委員長 成タケ問題ヲ外レヌヤウ
ニ……

○西川委員 問題ハ外レテ居リマセヌ——
只今伺ヒマス、今度ノ鐵道運賃ノ値上ハ、
租稅的ノ性質ヲ多分ニ持ツテ居ルト云フコ
トデアリマスガ、本來通行稅ノ増徴モ宜イ
ガ、段階ガ非常ニ高クナルノデ鐵道ノ運賃
引上ニ任シタト云フコトヲ大藏省ノ政府委
員ハ御答ヘニナツテ居リマス、サウスルト
是ハ鐵道省ノ國營鐵道ニ乘ルモノデアルカ
ラ、其ノ負擔ヲ特ニ増加スルト云フ意味ノ
モノデナクシテ、國民ノ交通其ノモノニ對
スル一ツノ負擔ノ増加ト云フモノデアル、

隨テ當然私設鐵道其ノ他私設ノ交通機關、
之ヲ利用スル者モ同ジク負擔スベキモノデ
アル、サウシテ其ノ收入ハソレ等會社ノ收
益ニ委スベキモノデナクシテ、國庫ニ納付
セシムル、即チ浮動購買力ノ吸收ハ交通機
關ヲ通ジテ全般的ニ行ハセマシテ、ソコデ
此ノ運賃ノ引上ノ性質ニ鑑ミテ、私鐵ナリ
其ノ他同ジ交通目的ヲ持ツ交通機關ノ總テ
ノ賃率ハ均衡ヲ取ツテ引上ゲテ、其ノ收益
ニ對シテハ納付金制度ヲ設ケテ國庫ニ納付
セシムベキデアルト思ヒマスガ、之ニ對ス
ル用意ヲシテ居ラレルカドウカ此ノ點ヲ御
伺ヒ致シマス

○長崎政府委員 御意見御尤モデゴザイマ
スルガ、併シ御承知ノヤウニ私設鐵道、軌
道、其ノ他之ニ類スル交通機關ト云フモノ
ハ非常ニ數モ多ウゴザイマスシ、又只今ノ
御說ノヤウニ、假ニ引上ヲ認メマシテ、之
ニ依ル増收如何ト云フヤウナ點ニナリマス
ルト、其ノ査定、調査ト云フコトガ相當困
難デアリマスバカリデナク、之ヲ國家ニ取上
ゲルト致シマシテモ、如何ナル方法ニ依ツ
テヤルカト云フコトニ付テ種々考究ヲ要ス
ル問題ガアルヤウデゴザイマシテ、中々困
難ナヤウニ認メラレマスノデ、今回ハ大體
ニ於テハ地方鐵道ノ軌道、其ノ他之ニ類ス
ルモノニ對シテ購買力吸收ト云フ見地カラ
ハ運賃ノ引上ヲ認メナイ、併シナガラ今後
通行稅ノ増徴ノ問題ニ付テハ、御賛成ヲ得
マスレバ當然稅法ノ適用ヲ得ルコトニナル、
斯様ニ今ノ所ハ差當ツテ考ヘテ居リマス

○西川委員 委員長

○櫻井委員長 西川君、如何デセウ、アナタ
ノ御通告ノ順位モアル譯デアリマスガ、其
ノ場合ニ願ヘマセヌカ、二十一名ノ通告ノ

中マダ一名ノ御質問ノ場合デアリマスカラ、今後ハ關聯ハ餘リ御願ヒガ出來ナイ、併シドウシテモ今ト云フコトデアリマスレバ……

○西川委員 ソレハ監督局ト云フモノガアツテ、サウ云フモノノ監督ハ相當サレテ居ル、ソレ等ガ困難デアルトカドウカ云フ只今ノ御答辯ノヤウナコトハ御答辯ニナラスト思フ、筋ガ通ラス、諒得シ難イト云フコトダケ申上ゲテ置キマス

○櫻井委員長 御答辯ガアリマスカ

○長崎政府委員 ドウ云フ風ニ申上ゲタラ宜シウゴザイマスルカ、詰リ此處ト此處ノ部分ハ引上ニ依ツタ増收デアルト云フヤウナコト、ソレハ常今非常ニ客ガ殖エテ來テ居リマスルカラ、オ客サンノ殖エタ爲ニ増收シタ部分ガ是ダケデアルカ、引上ニ依ツタ部分ガ是ダケデアアルカト云フヤウナ點ハ中々判定ガ困難デアリマス、而モ御承知ノヤウニ會社ノ數ト云フモノハ相當ニ多數ニ上ツテ居リマスルノデ、是ガ取扱ニ付テハ種種ノ困難ヲ見ルノデアリマシテ、ソレヲ的確ニ政府ニ取上ゲルト云フコトニ付テハ、尙ホ……今後考究研究ヲ要スル點ガ多々アルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○松村(光)委員 今鐵道ノコトデ途中ニナリマシタガ、購買力吸收ノ點カラハ私鐵ノ値上ハ認メナイト云フヤウナ意味ノコトヲ言ウテ居ラレタ、併シ結局、審議會デモ言ハレタ並行線——原則トシテ並行線トハ何ゾヤト云フコトハ難カシイガ、私鐵ニ對シテモ並行線並ニ並行線ト認ムベキモノハ原則トシテ引上ヲ認メルノカドウカト云フ點ヲハツキリ承リタイ

○長崎政府委員 私設鐵道ニ付キマシテハ、

原則的ニハ只今西川委員ニ御答ヘ申上ゲマシタ通り、引上ハ認メナイ、認メテ行カナイト云フ方針デゴザイマスルガ、唯此ノ國有鐵道ニ接近シテ或ハ並行シテ居リマスル鐵道ガ澤山ゴザイマス、吾々ハ之ヲ國有鐵道ノ運賃ト同額ニ特定シテ居ル區間、斯ウ云フヤウナコトヲ申シテ居リマスルガ、國有鐵道ノ旅客運賃ト同ジ運賃デ輸送ラシテ居ルト云フ私鐵ナリ軌道ナリガゴザイマシテ、其ノ場合ニ國有鐵道ガ引上ヲシタ、私設鐵道ハ其ノ儘ニナツテ居ルト云フコトニナリマスルト、勢ヒノ趨ク所トシマシテ、オ客サンガ私鐵ノ方ニ流レテ行クデアラト思ヒマス、其ノ際ニ私鐵ガ十分ナル輸送力ガアレバ宜イノデアリマスルガ、當今ハサウ云フ所ハ殊更ニオ客ガ混雜シテ居ルト云フヤウナ意味合デ、今度ハ逆ニ旅客ノ調整ト云フヤウナ方面カラ考ヘマシテモ、ヤハリソコニ何等カノ調節ヲシテ參ラナケレバナルマイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯其ノ際ニ増收ニナリマスルモノハ、是ハ吾々ノ見込デハサウ多額デハナイト思ハレマスルシ、極ク部分的デゴザイマスルカラ、其ノ調査或ハ査定、認定ト云フコトニ付テモ十分マデハ行カナクトモ、或ル程度ノ見透シガ付キマスルカラ、之ヲ購買力吸收ノ政策ニ反シナイ方法デ處理シテ行ク、更ニ細カク申シマスレバ、配當等ニ充當スルヤウナコトハサセナイト云フヤウナ方針デ居ル次第デアリマス

○松村(光)委員 今ノ御説明ハ、私鐵ハ並行線ト認ムベキモノハ割合ニ多クナイ、ソレデアルカラ大シタコトハアルマイト云フ意味ニ取レタ、但シ増收ノアツタ場合ハ配當其ノ他ニハ充當サセナイ、其ノ點ハツキリ分ツタ、後ノ結論ハ是ハ當然デアツテ、是アルガ爲ニ配當ヲ認メナイ、是ハ稅收入ノ方デ之ヲ取上ゲル方法ガアルカラ心配アリマセスガ、前ノ方ハ餘リ私鐵トノ間ノ關聯ガ少イヤウニ見ラレテ居ル、少イト云フコトナラバ増收ハ餘リ大シテナイト云フコトニナルカラ、ヤハリ或ル程度マデ國鐵トノ關聯ガ相當ニアル並行線並ニ並行線類似ノ同ジ運賃ノヤウナモノハ引上ヲ認メル、認メルガ但シ引上ニ依ル其ノ増收分ハ増配ヲ許サズ、之ヲハツキリシテ居ラナイト、今ノ御答辯デ増配ノ方ヲ考ヘラレト云フナラ、相當ニ收入ハ殖エテ來ルト云フコトヲ見越シテ居ラレル、前ノ説明デハ大シタ收入見越ガナイノデヤナイカト云フコトモ言ウテ居ラレル、ヤハリ原則トシテハソレハハツキリシテ居ラレタ方ガ宜イヤウニ思ヒマスガ、重ネテ簡單ニ伺ヒマス

○長崎政府委員 私ノ申上ゲヤウガ惡カツタト思ヒマスルガ、原則トシテハ運賃ノ引上ハ認メナイ、並行其ノ他同額特定ラシテ居ルヤウナ特殊ノモノニ付テハ、引上ヲ認メル、併シ其ノ増收ニ付テハ配當其ノ他ニ充當サセナイヤウニスルト云フコトニ付テハ、只今松村委員ノ仰セニナリマシタ通りデアリマス、唯私が申上ゲマシタノハ、先程西川委員ニ對シマシテ、全般的ノ引上ニ付テハ中々調査ガ困難デアルト云フコトヲ申上ゲタノニ矛盾スルヤニ考ヘラレルノデ、然ラバオ前ハ其ノ部分的ナリトハ言ヘ引上ノ部分ニ付テハドウシテソレヲ査定スルカト云フコトヲ仰セラレルノデハナイカト云フ疑問ガ起ルノデハナイカト存ジマシタノデ、サウ云フ同額特定或ハ並行區間ト云フヤウナモノノアル私鐵ハ、全體ノ私鐵

其ノ他類似ノ交通機關ノ中デモ極ク少數デアリ、又區間ニ付テモ極ク部分的デアルカラ、相當手ヲ入レテ調査シ、監督スルコトガ出來ルト云フ意味ノコトヲ申上ゲタノデアリマス

○松村(光)委員 分リマシタ

○櫻井委員長 松村君途中デアリマスガ、何カ遞信省ニ御質問ガアルサウデスガ、遞信省ノ政府委員ガ見エテ居リマスカラ……

○松村(光)委員 簡單デアリマスガ、遞信省ノ特別會計ノ方デモヤハリ五千萬圓バカリノ引上ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、大體電信電話ナドヲ主トシテ居ラレテ、郵便切手其ノ他ニハ全然觸レテ居ラナイノデアリマスカ、觸レテ居ラナイトスルト、其ノ理由ハドウ云フ譯デアリマスカ

○手島政府委員 只今ノ御質問デハ電信電話ノ方ハ或ル程度値上スルヤウニ話ガ決マツテ居ルカノヤウニ承リマシタガ、實ハ通信ノ料金ハ今御話ノアリマシタヤウニ電信、電話、郵便ノ此ノ三ツガ一番大キナモノデアリマス、而モ郵便、電信、電話ハ利用致シテ居リマスル公衆ノ層ガ相當異ナツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ料金問題ニ付キマシテハ、値上ヲスルカシナイカト云フ大前提ノ問題ヲ先ヅ第一ニ決メナケレバナリマセス、假ニ浮動購買力ノ吸收其ノ他ノ國家的理由カラ上ゲルニ致シマシテモ、各種ノ料金ヲ一律ニ上ゲルカドウカト云フコトモ研究致サナケレバナリマセス、此ノ問題ニ付キマシテ只今ノ所マデニ於キマシテハ、料金値上ヲスルト云フコトハマダ決マツテ居リマセス、唯國策的ナ見地カラ或ル程度ノ購買力吸收ノ國策ニモ從ハナケレバナラスト云フヤウナモノ、或

ハ通信全體ノ會計ノ狀況カラノ必要モ色々アリマス、サウ云フヤウナコトデ只今ノ所調査中デアリマシテ、五千万圓ノ値上ヲスルト云フヤウナコトハマダ決マツテ居リマセヌ

○松村(光)委員 ソレデ新聞ノ傳フル所ガマダ不明瞭デアルト云フコトヲ明カニ致シマシテ、ソレナラバ茲ニ一ツノ希望ヲ申述ベテ置キマスガ、ヤハリ斯ウ云フ時ニハ今言ハレタ其ノ大前提ト云フ所ニ重點ヲ置カレマシテ、思ヒ切ツテ各方面ノ稅種ヲ漁ル——漁ルト云フ言葉ハ惡イガ、ソレデナケレバ此ノ戰時即應ノ財政ハ立チマセヌ、斷ジテ立チマセヌ、其ノ意味ニ於キマシテ逓信省モ大キク考ヘラレマシテ、此ノ特別會計ニ於テ相當ナル増收ヲ見込マレテ、サウシテ其ノ見込ムト云フ大方針ヲ立テラレテ細目ヲ一ツ協議サレルト云フノデナケレバ

イカスト思ヒマス、是ハ意見ニナリマスガ、決定シテ居ラヌナラバ幸ヒデアリマス、五千万圓ト云フコトハ餘リ少額デアラウト私ハ考ヘマシタノデ、是ハ午後大藏大臣トハツキリ此ノ問題ニ付テ質疑致シマスガ、思ヒ切ツテヤハリ各方面ニ漁ルノデナケレバ、今日ノ程度ノ稅ノ上ガ方デハ日本ノ戰時財政ハ賄ヘマセヌ、サウ云フ意味デ鐵道ニ觸レ、逓信特別會計ニ觸レルト云フコトハ、洵ニ忍ビ難キヲ忍ビテ質疑シナケレバナラヌノデアリマスカラ、逓信省ハ大所高所ニ立タレマシテ、餘程思ヒ切ツテ一ツ立案セラレコトヲ要望シテ置キマス、ソレハ色々切手ヤ何カハ各方面ニ互ルコトデアルカラ影響スル所モ少クアリマセヌガ、併シ今日ノ場合ハ繰返シテ申サナクトモ左様ナコトヲ忍ブニアラズンバ國家ノ財政ハ立

タナイト云フコトヲ申上ゲマシテ、一ツ思ヒ切ツタ立案ヲ要望シテ置キマス

○手島政府委員 只今松村サンノ御希望ノ點ハ重要ナコトデアリマスノデ、能ク考慮致シマシテ、今後ノ料金値上ノ問題ノ最後ノ決定ヲ致シタイト思ヒマス

○松村(光)委員 私ハ此ノ程度ニ致シマシテ大藏大臣ニ關スル一般ノ質疑ハ保留致シマス、尙ホ今ノ鐵道省、逓信省ニ申上ゲタコトハ、責任者デアル大臣ニ御傳ヘヲ願ヒマシテ、至急善處方ヲ重ネテ御願ヒシテ置キマス

○櫻井委員長 ソレデハ是ニテ休憩致シ、午後ハ本會議ノ決議案終了後直チニ開會ヲ致シマス

午後零時三十二分休憩

午後二時二十分開議

○櫻井委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、此ノ場合御諒解ヲ願ツテ置キタイコトガアリマス質疑ノ通告ハ現在ニ於キマシテ二十一名アリマスガ、其中ノ一名ガマダ終ツテ居リマセヌ、會期ニ付テハ御承知ノ通りデアリマス、此ノ運營ニ付キマシテハ心配ヲ致シテ居ル譯デアリマス、ソコデ原則ト致シマシテ關聯質問ハ御遠慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、唯茲ニ例外ト致シマシテ大藏大臣ハ豫算委員會並ニ貴族院等ヘ御出席ニナラナケレバナリマセヌ關係上、豫算ノ方トモ打合セヲ致シマシテ質問ヲ集中シテ、成タケ兩方ノ目的ヲ達スルヤウニト云フコトデ豫算ノ方トモ打合セヲ致シマシタ譯デアリマス、ソレ故ニ大臣ノ場合ニ於キマシテハ極ク簡單ニ關聯的ニ二、三ノ質問ハ御便宜上オヤリ下サルコトニシテ

差支ヘナイト云フコトニ致シタイト思ヒマス、併シ大臣ニ對スル質疑デアリマシテモ、長キニ互ルコトハ又改メテ通告ノ順位ノ來マシタ場合ニ於テ質疑ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是ダケノコトニ付キマシテ御諒解ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○松村(光)委員 根幹ノ質疑ヲ致シマス、第一ニ前近衛内閣以來財政經濟ノ基本要綱ガ定マリ、是ハ根幹のモノト思ハレマス、現内閣モ當然之ヲ承繼スベキ筈ト思フガ如何デアリマスカ、若シ承繼シテ居ルナラバ、茲ニ提出サレタ増稅其ノ他ノ財政ト基本問題ニ付キマシテ、其ノ他ノコトハ豫算委員會ニ讓リマスガ、茲ニ増稅ヲ出サレタト云フコトニ付テハ、此ノ基本要綱ニ照シ合セテ何カ基準ヲ以テ茲ニ増稅案ヲ立案サレタノデアルカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 御答ヘ申上ゲマス、財政經濟ニ關シマスル基本要綱ノ既ニ決定致サレテ居リマスモノハ、基本ニ於テ同感デアリマシテ、之ヲ承繼ヲ致シテ參ル積リデゴザイマス、戰時財政ガ動モスレバ不堅實ニ流レ易イト云フコトハ、是ハ何レノ場合ニ於テモアリマスルコトデアリマスノデ、常ニ是ガ健全化ニ注意ヲ致サナケレバナラヌ斯ウ云フ見地カラ今回ノ増稅ヲ實行致シタ譯デアリマス、而シテ今回ノ増稅ハ、何レ來ルベキ通常議會ニ提案ヲ致シマス直接稅其ノ他ノ増徴ト一體ト致シテ見ネバ其ノ規模ハ全體トシテハ明瞭デナイノデアリマスガ、今回ト致シテハ間接稅方面ニ於キマシテ國庫收入ト致シマシテハ出來ルダケノ増徴ヲ致シタイ、併シナガラ一面生産擴充、物價政策、又國民生活ニ與ヘマスル影響ヲ考ヘマシテ、原料品又ハ生活必需品ノ内特ニ緊

切ト認メラルモノニ付キマシテハ、是ガ課稅ヲ成ベク避ケルヤウニ致シマシタ次第デアリマス、隨ヒマシテ財政全體ト致シマシテドノ割合ニ租稅額ヲ定メルカト云フ風ナ基準ハ、今回ト致シマシテハ取り得ナカツタ譯デアリマス、金額等ニ付キマシテハ右申上ゲマシタ見地カラ稅率ヲ定メマシタ次第デアリマス

○松村(光)委員 凡ソ増稅ヲヤル場合ニ、殊ニ財政經濟要綱ガ決ツテ之ヲ承繼スルト云フ以上ハ、少クトモ大藏大臣トシテハ全體ヲ見透シテ、全貌ヲ明カニシテ増稅ヲヤルノデナケレバ——唯單ニ當面ノ問題トシテ茲ニ間接稅ヲ出シタト云フコトデアルト、之ヲ審議スルニ於テ非常ニ資料ガ乏シク遺憾ノ點ガ多イノデアリマス、併シ少クトモ基本要綱ヲ踏襲スルト云フナラバ、茲ニハツキリシタ數字ヲ擧ゲナクテモ、大體今日以後——殊ニ藏相ハ財政ノ健全化ト言ハレマスガ、財政ノ健全化ト云フコトガソレデハ抽象的デアツテ、之ヲ具體化スル場合ニ然ラバドウ云フ財政經濟ノ方策ヲ採ツタナラバ健全化ニナルノカ、具體的ノ說明ヲ御願ヒシタイト思ヒマス、基準ハ數字ニハツキリ擧ゲラレナクトモ、大體今日以後ノ稅制ニ付テハ次ノ議會ニ直接稅其ノ他ト言ハレマシタガ、其ノ他トハ何デアルカ、直接稅其ノ他ヲ併セテ大體總括的ノ稅制ノ問題ト、ソレカラ公債ト稅ト大體ノ基準ノヤウナ問題ニ付キマシテ、一應全貌的ノ說明ヲ伺ハナイト、折角今健全化ト言ハレマシタガ、其ノ健全化ト云フ意味ガ要領ヲ得ナイノデ、此ノ點ヲ具體的ニ伺ヒタイ、但シ數字ハ目下編成中ト思ヒマスノデ、具體的ノ數字ハ述べ得ナクテモ全貌ヲ率直ニ述べ下サルコト

ノ方ガ、本案ヲ審議スル上ニ於テ便宜デア
ルノミナラズ、ソレガ本當ニ財政基本ノ根
幹デア、ソレデナイト財政ノ健全化ト言
ツテモ分リマセヌノデ、色々ノ意味ヲ一括
致シマシテ全貌ノ御説明ヲ願ヒマス

○賀屋國務大臣 戰時ノ財政經濟政策ニ付
キマシテハ、第一義ニ經濟ノ最高能率ヲ發揮
シマスコト、一面ハ必要物資ノ増産デアリ
マス、他面ハ經濟運行ノ秩序ガ維持セラレ
マシテ、其ノ效率ヲ發揮スルニ適當ナル運
行狀態ヲ主眼ト致シマス、財政ノ健全化ハ、
率直ニ申上ゲマシテ第二義トナリマス、ソ
レ故ニ租稅政策ニ於キマシテモ一面生産力
ノ擴充、資金ノ蓄積、國民ガ銓後ノ任務ヲ
果シマスルニ必要ナル生活ノ限度ヲ脅威セ
ズ、此ノ點ヲ主眼ト致シマシテ、而シテ龐
大ナル歳出ノ調辦ニ成ベク後代ニ負擔ヲ遺
シマセヌ爲ニ、今申シマシタ經濟政策ノ許
ス範圍ノ最大限ノ増稅ヲ致シタイ、斯ウ云
フノガ私ノ考ヘデアリマス、隨テ戰時財政
ニ於キマシテハ、財源ノ何割ヲ公債ニ求メ、
何割ヲ租稅ニ求ムルト云フガ如キコトハ、
是ハ明白ナル方針トシテ堅持スルコトハ困
難デアルト考ヘマス、次ノ増稅ニ於キマシ
テハ、ヤハリ分類所得稅ガ根幹ニナラウト
思ヒマス、併シナガラソレ以外綜合所得稅、
法人稅、臨時利得稅等ハ最モ研究ヲセラル
ベキ主要ナル觀點デアラウト思ヒマス、各
稅種及ビ其ノ増徵稅率、金額等ハ只今考究
中デアリマスカラ、遺憾ナガラ申上ゲルコ
トハ出來マセヌガ、今回ノ間接稅ヲ中心ト
致シマス増徵額、平年度分ヨリモ、次ノ通
常議會ニ提案致シマス増稅ノ平年額ハ、恐
ラク其ノ方ガヨリ多イモノデアラウト考ヘ
テ居リマス

○松村(光)委員 前段ノ御説明ハ財政ノ健
全化ハ第二義ダト云ハレタ、ソレハ言葉ノ
問題ニアラズシテ、第二義ト云フ意味ガ徹
底シナイ、然ラバ第二義トハ經濟政策ノ許
ス程度ニ増稅ヲヤツテ、アトハ已ムコトヲ
得ズ極力公債ニ依存スルト云フ意味デア
ルカ、稅ハ許ス限リト云フコトハ——是
モ經濟政策ノ許ス限リト云フコトハ其ノ點
モ甚ダ不明瞭デア、假ニ其ノ不明瞭ハ宜
イトシテモ、經濟政策ノ許ス限リ、アトハ
皆公債ニ依存スルト云フ當然ノ結論ニナル
ノデアリマスガ、左様ナ意味ニ現内閣ノ政
策ヲ解釋シテ宜シイカト云フコトガ第一
デアリマス、第二ハ今間接稅ヨリモ、ヨリ
多ク増稅スルト云フコトヲ言ハレマシテ、
稍々全貌ニ近イモノヲ得タノデアリマスガ、
直接稅以外ノ流通稅ニ付キマシテハ、先程
局長トモ流通稅ノコトヲ細カク述べタノデ
アリマスガ、流通稅ニ付キマシテ觸レル考
ヘガアルカナイカヲ伺ヒマス、少クトモ流
通稅ニ付キマシテモ或ル種ノ増稅ヲ行フ意
思アリヤ否ヤ、細目ハ強ヒテ伺ヒマセヌ、
而モソレハ印紙稅トカ極ク細カイ細目
モノハ別トシテ、何カ流通稅ニ付テ租稅體
系ノ上カラ、又此ノ際收稅目ノ達成スル
上カラ流通稅ニ付テモ之ニ觸レル意思アリ
ヤ否ヤト云フコトヲ、前段、後段ニ分ケテ
御伺ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 戰時ニ於キマシテハ、經
濟ノ能率ノ運用ガ第一義デアリマス、財政
ト致シマシテハ、公債財源ニ依ルカ、租稅
財源ニ依ルカト云フ點ニ付キマシテハ、主
タル點ハ後代ニ負擔ヲ遺スカ否カデアリマ
ス、而シテ現在ノ公債ハ皆内國債デアリマ
スル點モアリマスカラ、財政ノ公債ヲ減シマ
スコトヲ主ニ致シマシテ、刻下ノ緊要ナル
物資ノ増産、資金ノ蓄積、國民ノ銓後奉公
ヲ脅威スルガ如キ程度ニマデ、租稅ヲ増徵
致ス考ヘハアリマセヌ、其ノ意味ニ於キマ
シテ、財政ノ所謂租稅財源トスルト云フ
健全化ハ第二義デアリマス、隨テ今申シマ
シタ點ヲ阻害セズシテ、出來ルダケ最高限
ノ稅ヲ取りマシテモ、中々是デ健全ナリト
云フ程度ニハ參ラスト思ヒマスガ、可及的
健全ヲ圖リ、ソレニ満足ヲ致シテ、其ノ餘
ヲ公債ニ依ツテ調辦スル考ヘデアリマス、
尙ホ流通稅ニ付キマシテハ、各取引ノ過程
ニ於キマシテ總テノ物資ガ課稅ヲ致サレマ
スル結果、生産擴充ニ必要ナル資材、國民
生活ニ必要ナル物資等モ課稅サレルト云
フ、物價政策、國民生活ノ確保ノ點カラ見
マシテモ、研究ノ餘地ガ多イト思フノデア
リマス、又課稅ノ段階ガ物ニ依ツテ非常ニ
多イモノト少イモノガ出來マスルノデ、殊
ニ負擔力カラ申シマシテモ、研究ノ餘地ガ
アラウカト思フノデアリマス、又是ハ物資
別ニ依リマセヌ、場所別ニ依リマシテモ課
稅段階ノ多イモノ少イモノト云フ差ヲ生ズ
ルモノデアリマシテ、各般ノ戰時政策カラ
見マシテモ研究ノ餘地ガ非常ニ多イトデア
リマス、併シナガラ段々ニ配給制度ナドガ
確立シテ參リマシテ、所謂思惑ナドニ依ル
商人間ノ取引ト云フモノガ非常ニ減ツテ參
リマシタ今日ハ、往年ノ經濟界ニ於ケル如
キ不合理ハ減却シタモノト認メテ居リマス、
併シナガラ現在ノ機會ニ於テ此ノ課稅ガ適
當ナリヤ否ヤト云フコトハ、非常ニ研究ノ
餘地ガアリマスノデ、次ノ増稅案ニ付キマ
シテ此ノ流通稅ヲ採用致シマスカドウカト
云フコトハ、今申上ゲマシタヤウナ點ガア

リマスノデ、之ヲ採用致シマストモ、又必
ズ致シマセヌトモ、只今ハ申上兼ネル次第
デアリマス

○松村(光)委員 後段ハ分リマシタガ、遺
憾ナガラ前段ガ今ノ説明デハハツキリシマ
セヌ、少クトモ前内閣以來ノ要綱ヲ承繼ス
ルト云フナラバ、明カニ財政ト産業ト國民
消費ハ、今言ハレタコトニ付キマシテ大體
國家ノ資金動員計畫ト云フモノヲ立テ、其
ノ基準ヲ大體決メテ、其ノ基準腹案ノ下ニ
財政計畫ヲヤラレ、増稅計畫ヲヤルノデナ
ケレバ、漫然經濟政策ノ許ス限リ、而モ國
民ノ經濟活動ヲ傷メナイヤウニト云フヤウ
ナ抽象的の説明デハ折角ノ此ノ要綱ニ何モ觸
レテ居ラナイ、是ハ今マデ皆サウデア、
荷モ要綱ヲ決メテサウシテ資金動員計畫ト
云フモノヲ此處ニ言ハレ、之ヲ承繼スルト
言フ以上ハ、漫然タル從來ノ舊體制ノ財政
計畫デナク、ヤハリ或ル程度ノ基準ヲ決メ
テ、其ノ通りニ實行出來ナクテモ、ソレ
ニ近イ財政計畫、殊ニ増稅計畫ヲ茲ニヤル
ノデナケレバ、今後ノ財政ハ恐ラク健全
ドコロカ、餘リ多クハ言ヒタクナイガ、甚
ダ憂慮スベキ事態ガ惹起スルコトヲ私ハ斷
言スルニ憚ラナイ、今ノ説明デハ何モ大
シタ基準ハナイ、唯成ルベク經濟政策ヲ
傷メナイヤウニ、而モ後代ニ負擔ヲ遺サナ
イト云ツタ説明デハ、前後矛盾スル所モア
ルシ、可及的健全ト云ツテ見タ所ガ健全ニ
ナラナイ、ヤハリ此處ハ大切ナコトデアツ
テ、今日以後ノ戰時下ニ立ツ時ニハ、此ノ
根幹ヲ決メテ立タナケレバナラス、私ハ敢
テ外國ノ例ヲ取ルノデアアリマセヌガ、
「ドイツ」ガ此ノ戰爭ヲ最モ最初ニ最高國防會議
ニ於テ、今日以後ノ財政ハ前ノ第一次大戰

ノ時ノ財政計畫ガ失敗ニ終リ、慘憺タル事態ヲ見タコトニ振返ツテ、租稅五割、公債五割、此ノ政策ヲ堅持シテ、今日ニ至ルマデ稍、ソレニ近イ基準方針ヲ確立シテ「ドイツ」ハヤツテ居ル、「イギリス」ノ如キモ亦然リ、「アメリカ」ノ如キハモツト極端ナル租稅依存ノ方策ヲ立テテ居ルノデアルガ、之ヲ他國ノ例トシテ漫然考ヘズニ、第一次歐洲大戰ノ失敗ニ鑑ミ、各國ガ痛感シタ結果カラ生レタ大キナ基準デアルノデアツテ、今ノ大藏大臣ノ如キ差支ナイ程度ニ取ルト云フ、差支ナイ程度ニ取ルト云フノハドウ云フコトカ、何モ基準ガナイ、一方デハドンドン軍事費ハ殖エテ來ル、國家ノ負擔ハドン／＼殖エテ來ル、租稅ノ方法ガ差支ナイ程度ト云フ漫然タル腰ダメ以下ノ其ノ場限リ其ノ日限リノ方針ヲ以テ行カレルト云フコトハ、結局落チル先ハ公債依存、而モ極端ナル依存、今日既ニ極端ナル依存デアルガ、今日以後極端ナル依存トナラザルヲ得ナイノデアリマスガ、是デモ已ムヲ得ナイト云フ御考ヘデアリマスガ、ヤハリ何カ基準ヲ立テテ、サウシテ其ノ基準ヲ根據トシテ稅制、増稅計畫ヲ立テラレルノデナケレバ、大藏省ハ極端ナル言葉ヲ言ヘバアレドモナキガ如シト云フコトニナリハシナイカ、是ガ一番大切ナコトデアリマスカラ何カ茲ニ根幹的ナ基準ヲ立テラレ、假ニ其ノ通り實行出來ナクテモ、ソレニヨリ近イ根本對策ヲ立テラレルト云フコトニ、ハツキリ意見ヲ確立サレナイカ、今マデノ説明デハ甚ダ心許ナシト云フ感ヲ抱クノデアリマスガ、是ハ重大ナル事項デアツテ是以上政府ニハ考ヘハナイノダ、出來ルダケノ稅ヲ徵ツテ後ハ已ムヲ得ナイト云フ考ヘデアアルカドウカト

云フコトヲ茲ニ重ネテ繰返シテ質問セネバナラス、是ガ一番大キナコトデアツテ、是ガ出來ナイナラバモウ基本要綱トカ何トカ言ツテモ何ニモナラナイ、假ニマダ定メテ居ナイノダ、定メテ居ナイケレドモ大藏大臣ノ私見トシテヤハリコンナ風ニ考ヘル、五割ハ難シクトモ、或ハ四割、三割位トカ其ノ割合ガ出セナイナラバ、モウ少シ一方國費ノ増加ニ比例シテ或ハ或ル程度ノ按分ヲ保ツテ稅制計畫ヲ立テラレノダト云フ位ナ御私見ガアルカナイカラ重ネテ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 國家ノ資金全體ト致シマシテハ、是ハ國民消費生活ニ於キマスモノハ所謂生活ノ最低限度デアリマス、ソレ以上ハ全部租稅ト公債ト所謂生産擴充資金、之ニ向ケルベキ性質デアリマス、財政ノ基本要綱モ其ノ趣旨ニ依ツテ定メラレテ居ルノデアリマス、大體國庫ノ歳入ニナルベキモノト、民間ノ生産擴充資金ニナルモノト二通りデアリマス、其ノ中國庫ノ歳入トナルベキモノニ付キマシテ半々ニスルカ、四割六割ニスルカト云フコトハ、政府トシテ定ツテ居リマセヌ、是ハ現狀ニ於ケル研究デハマダ定メルノハ早イノデアリマス、日本ノ計畫經濟、統制經濟ガ何等ノ準備ナクシテ昭和十二年カラ始マリマシタガ、遺憾ナガラマダ非常ニ不完全デアリマス、併シナガラ相當ナル進歩ヲ致シテ居リマスノデ、此ノ經濟體制ノ確立ニ從ヒマシテ、左様ノ點モ決マルト思ヒマス、只今デハ出來ルダケ稅ヲ取ル、併シナガラ生産擴充資金ノ著積、國民最低限度ノ生活ニ對スル脅威ハ差控ヘル、其ノ差控ヘタ限度ニ於テ出來ルダケ稅ヲ取ル、斯ウ云フ方針デ參ル次第デアリマス、隨ツテ只今ノ所ニ於キマシテハ何

割ト云フコトハ確然ト考ヘテ居リマセヌ、唯御參考マデニ今マデヤツテ參リマシタコトノ結果ハ、大體ニ於テ十五年度ノ増稅狀態ニ於キマシテハ三割七分ガ租稅デアリマス、公債ハ五割三分デアリマス、後ノ一割ガ其ノ他ノ收入ニ依ツテ居ルノデアリマス、是等ハ「イギリス」ノソレガ一九四〇年ニ於キマシテハ三割四分デアリマス、一九四一年ニ於キマシテハ四割一分デアリマス、「ドイツ」ニ於キマシテモ四割前後ノモノデアリマス、只今ノ今年度ハ急激ニ今期議會ニ提出致シマシタ臨時軍事費豫算ガ膨脹致シマシタ結果ニ割七分ト相成ツテ居リマス、只今ノ所トシテハ何割ト云フコトハ申上ガ兼ねマス、大勢ハ成ベクナラバ四割程度ハ持つテ行キタイト云フコトガ一應考ヘラレル、斯ウ云フ程度デアリマス

○松村(光)委員 大藏大臣ノ私見ヲ洩ラサレタコトハ甚ダ結構デアリマス、何處ノ國モ此ノ點ハハツキリ或ル程度マデ置クノデアルガ、日本ハ遺憾ナガラ段々下ツテ、二割七分マデ下ツテ殆ド公債六割三分ニ依存シテ居ル、此ノ新聞接稅ヲ加算サレテモ——更ニ軍事豫算ガ追加トシテ出サレタ以上ハ、此ノ割合ハ餘リ上ラナイノデアリマスカラ、餘程根本的ニ此ノ稅收入ヲ考ヘラレナイト益、公債依存ニナツテ、ココカラ財政ノ紊亂ト云フ言葉ハ使ヒタクナイガ、併シ率直ニ云フト、紊亂ニ當然傾ク處アルノミナラズ、是ハ隱シテモ分ルコト、世界何處ノ國デモココカラ財政ハ紊亂シ、ココカラ惡性「インフレーション」ガ起ルノデアリマスカラ、一番大切ナコトデアリマス、而モ事實ニ於テ蔽フベカラザルハ此ノ數字デアツテ、年々租稅ノ増徴ニモ拘ラズ、其ノ割合

ハ斯ウ云フ風ニ低下シテ、公債ニ依存シテ居ル、出來ルナラバ四割程度ニ持つテ行キタイト云フ抱負ハ大イナル經綸デアツテ、ヤハリ見透シハ少クトモ今ノヤウナ四割程度ニ、多少無理ガアツテモ、其ノトコロニ考ヘテ置カレナイト、唯漫然差支ナイ程度ニ徵ラウト云フヤウナ腰ダメノ腰ダメデアツテハ、今後ノ稅制政策ハ確立致シマセヌ、是ハ計畫經濟ヲ立テラレルトコトニ一番大キナコトデアアル、殊ニ今日以後戰時下ニ入ルナラバ之ヲシツカリシテ置カナケレバ、他ノコトハ心配アリマセヌガ、私ハココカラ一番大キナ問題ガ崩レテ來ハシナイカ、是ハ是以上申上ガル必要ハナイカト思フガ、大切ナコトデアアルカラ、大藏大臣ハ餘程ノ信念ト、前途ノ見透シヲ付ケテ此ノ點ニ善處セラレンコトヲ要望シテ置キマス、ソコデ大藏大臣ノ説明ヲ聽キマス、ヤハリ何カ國民所得ト云フヤウナモノヲ經濟ト國庫ト生産擴充ニ分ケルノデアルト云フ風ニ取レテ、大體國民所得ト云フヤウナモノヲ喰ヒ込ムヤウナコトハ出來ナイカラ、之ヲ適宜ニ安排スルト云フ風ニ重點ヲ置カレルヤウニ聽イタノデアリマスガ、如何デアリマスガ、喰ヒ込シデハイカヌト云フ意味ノコトヲ言ハレテ居ルガ、何ガ喰ヒ込シデハイカヌカト云フコトヲハツキリ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 實ハ國民所得其ノ他ト云ヒマスガ、經費ナドハハツキリ決ツテ居ナイト思ヒマス、今財政經濟基本要綱ニアルヤウニ、國民所得ハ之ヲ幾ラニ分ケルト云フコトハ直グニ實行ハ出來マセヌ、今段々ニ研究シテ居リマス、一例ヲ申上ガマス、斯ウ云フコトガアリマス、今期議會ニ上程致シテ居リマス産業設備營團、アノ營團ニ

依ツテ今後産業再編成ノ基準ヲ立テマスル
ナラバ、當分其ノ設備ハ、設備トシテ存續
ノ理由ガナイ、元來ハ必要ガアルケレドモ、
現在ノ國情カラ見レバ、是ハ設備シテ置ク
理由ガナイ、而モソレヲ素材トスルナラバ
大イニ國家ノ爲ニ役ニ立ツモノハ、工場設
備ヲ破壊致シマシテ所謂「スクラップ」トシ
テ使フト云フ場合ガアリマス、是ナドハ嚴
格ニ申上ゲマスト國民所得ヲ喰込ム譯デア
リマス、喰込シテモソレヲ使フト云フヤウ
ナ場合ガ一例トシテハ生ズルノデアリマス、
併シナガラ大體トシテハ全體ノ國民所得ニナ
リ、若クハ收入ニナリマスモノ以上ニハ何事
モ出來ナイ譯デアリマス、ソレヲ分ケマス
ルト、其ノ個人ノ消費ノ生活ニ使フモノ、
一方ハ國家ノ生活ニ使ヒマスモノノ申デ、
國家ノ歳入ニナリマスモノト、民間資金ト
シテ國家的ニ見テ必要ナル生産擴充資金ニ
ナルモノト、大體ノ觀念ヲ區分致シマス、
國家資金ニナリマスモノノ一部ガ、租稅及
租稅ノ性質ヲ持チマス歳入トナリ、一
部ガ公債財源トナル、斯様ナ考ヘ方ヲ致シ
テ居ル次第デアリマス

○松村(光)委員 今ノ御説明ハ率直ニ申上
ゲマスト平時ノコトヲ述ベテ居ラレ、ソ
レデハ戰時財政ニハ即應致シマセス、大體
國民所得、國民收入ヲ喰込ムヤウナコトハ
極力避ケナケレバナラヌト云フ原則、ソレ
以上ニハ喰込ミ得ナイト云フ原則ハ平時ノ
財政問題デアル、戰時ノ財政問題ハ國民所
得ヲ喰込ムノミナラズ、過去ノ國民所得デ
アル所ノ富、財産ニマデ喰込マセバナラヌ
ト云フノガ今日ノ戰時下ノ財政デアリマス、
「イギリス」ノ如キハ現ニ戰爭ガ始マツテカ
ラ、モウ所得デハ間ニ合ハナイノデ財産ニ

喰込シテ居ル、昨年度ノ如キハ所得之間ニ
合ハズニ一割七分モ過去ノ財産、富ニ喰込
シテ居リマス、「ドイツ」モ亦然リ、一體サ
ウ云フ考ヘ方デナケレバ是カラ大キナ、多
多益、出ス所ノ戰費ニドウシテ即應出來マス
ルカ、苦シイコトデアアルケレドモ現在ノ國
民所得ダケデヤツテ行カウト云フヤウナコ
トハ段々出來ナクナル、今ノ所デハ國民所
得ニスラ何モ喰込シテ居ラナイ、ダカラ今
ノ御説明デハ今日以後ノ財政政策ノ大キナ
考ヘ方トシテハ満足シナイ、併シ繰返シテ
モ詮ナキコトデアアルガ、日本ノヤウニ國民
所得ヲハツキリセズニ、國民ノ財産モ富モハ
ツキリセズニ、財政計畫ヤ稅制計畫ヲ立テ
テ居ル國ハ歐米諸國ニハナイ、國民所得モ
國民財産モハツキリ分ラナイカラ、腰ダマ
デ漫然ト租稅政策ヲ樹テテ居ルノダガ、併
シハツキリ國民所得ハ分ラナイト云フモ、
大體昭和十四年マデハ統計局ノ調べモアリ、
大藏省ノ調べモ出來テ居ル、是ハ稅カラ換
算シテ二百八十五億ダト云フコトハ屢、大藏
省ノ答辯シテ居ル所デアアル、ソレカラ既ニ
二年後ニナリマス今日デハ、ソレガ三百億
ヲ遙カニ突破シタコトト考ヘラレノデア
ルガ、大體國民所得ガドウ位アルカト云フ
コトハハツキリ抑ヘテ、是ナラ此ノ位ハ取
レルノダト云フ見透シヲ樹テナケレバナラ
ヌノニ、出來ルダケ所得ヲ痛メナイヤウニ
ト云フコトヲ言ウテ居ラレ、私ハ大藏省
ガ國民所得ヤ富ヲ擱マズニ、唯腰ダマデ漫
然トヤツテ居ラレト云フコトハ、今日デ
ハ左様ナコトハ許サレナイコトと思フガ、
是ハ已ムヲ得ナイトシテモ、セメテハ今ノ
ヤウニ國民所得ヲ喰込ムコトアリトモ已ム
ヲ得ナイト云フ決意ノ下ニ、國民所得ヲ或

ル程度マデ計算サレテ、此ノ位國民所得ガ
アルナラバ此ノ位ハ取ツテモ宜イ、取ラネ
バナラス、取り得ルト云フハツキリシタ基
準ヲ樹テテ貰ヒタイ、唯漫然腰ダマヲヤツ
テ居ラレナラバ、今後ノ戰時ニ即應シタ
財政ハ立チマセス、是等ニ關シテ假令不十
分ナリトモ國民所得ヲ計算シテ見テ、之ヲ
基準ニ此ノ位ハ取り得ルト云フハツキリシ
タ一ツノ目標ヲ樹テラレ考ヘガアルカド
ウカ、假ニ不十分デアツテモト私ハ言フ、
不完全デアツテモ國民所得ヲ大體計算シテ
見テ、ソレヲ基準ニハツキリシタ租稅政
策、稅收入ヲ確立サレ考ヘアリヤ否ヤト
云フコトヲ、大切ナ問題デアリマスルカラ
御伺ヒ致シマス

○賀屋國務大臣 私ガ今國民所得ニ喰込ム
云々ト言ツタノハ喰込ム例ヲ申上ゲタノデ
アリマス、而モソレハ國家全體ノ例トシテ
申上ゲタノデアリマス、國家全體トシマシ
テハ、今マデ國民ノ作業マシタ財産ノ中ノ、
今後戰爭ヲ遂行スル爲ニ必要ナル生産設備
國民ガ戰時下ニ必要ナル教育ヲ受ケル教育
設備、又ハ住居ノ設備等ハ、是ハドウシテ
モ保存シナケレバナラナイノデアリマス、
唯其ノ中デ所謂廢品ノ回收デアルトカ不
品ノ回收デアルトカ、或ハ前申シマシタ產
業再編成ノ立場カラ不用トサレル設備ヲ回
收スルトカ、斯ウ云フ風ナ全體ト致シマシテ
國民ノ増加スル生産力ニ喰込ムノデアリマ
ス、個人的ニナリマス、今松村委員ノ御
話ノヤウニ、段々ニ相續稅其ノ他ニ依ツテ
其ノ所得以上ニ減ルモノモアリマス、一方
ニ増加スルモノモアリマス、無論其ノ點ハ
御説ノ通りト思ヒマス、唯國家全體トシマ
シテ喰込ム點ハ、右申上ゲマシタヤウナ點
デアリマス、ソレ以上喰込ミマスルコトハ、
却テ戰時ノ國防ノ維持ノ點ニ害ガアル次第
デアリマス、又國民所得ノ計算ハ現狀ニ於
テ不完全ナリト申上ゲタノデ、財政經濟基
本要綱ニ於キマシテ、正確ニ今後ノ租稅ヲ
取ルトカ、國民貯蓄ヲ如何ニ致ストカ云フ
基準ニナルモノ、單ナル統計資料デナク、
生キタ政治ノ材料ニナリ得ル程ニ今正確デ
ナイノデアリマスカラ、之ヲ折角正確ニ致
シマスルヤウ、財政經濟基本要綱ガ出來マ
シテ以來、大藏省ニ於キマシテモ、研究ヲ
進メテ居ル次第デアリマス

○松村(光)委員 今ノ御説明ハ個人ニ喰込
ム、喰込マナイト云フ問題ヲ頻リニ言ハレ
テ居ルガ、私ハ個人ノコトヲ言フ必要ハナ
イト思フ、國家的ニ言ツテ、國家的ニ喰込
ンデモ差支ナイト私ハ言フ、ソコハ大藏大
臣ト根本的ニ違フ、個人的ニ喰込ム、喰込
マナイト云フコトハ別ナ問題デアアル、國家
全體ヲ、假ニ昭和十四年ノ國民所得ヲ二百
八十五億ト抑ヘテ、其ノ所得ヲ喰込ムコト
ガアリトシテモ、更ニ過去ノ財産ニマデ喰込
ンデモ、戰時財政ト云フモノハ國家的ニ已
ムヲ得ナイノダ、ソコハ私ハ大藏大臣ト根
本的ニ考ヘガ違フ、個人ニ喰込ムト云フノ
デハナイ、又個人ニ喰込シテモ、此ノ現在
ノ階段ニ於テハ已ムヲ得ナイト云フ點デ、
大藏大臣ト考ヘガ違フ、現ニ各國ハ所得デ
間ニ合ハズ、ソレニ喰込シテ居ル、イギリ
スノ如キモ所得之間ニ合ハズ、國家全體
トシテ盛シニヤツテ居ルノデアリマス、日
本デハソコマデ行カナイ、國民所得ヲ三百
億ト抑ヘテ、之ニ對シマシテハ本年五十億
ダカラマダ二割ニ上ラナイ、六十億マデ行
ツテ二割ニナル、「イギリス」其ノ他ノ交戰

諸國ハ之ヲヤツテ居ルノデアル、外國ガ重
イカラ此方ヲ重クシテモ宜イト云フノデハ
ナイガ、其ノ位ニ考ヘルコトガ國家ノ現狀
カラ見テ必要デアル、現在ノ日本ノ國民所
得ヲ或ル程度計算シテ行ク、正確ニハ出來
ナクテモ大體ハ出來ルト思フシ、過去十四
年マデ出來テ居ルナラバ、アト二箇年ヲ概
算シテ三百億、ト抑ヘテ、其ノ二割ノ六十
億位ノ稅ハ、當然差支ナイノダト云フ程度ノ
基準の腹案ガ立タズニ、オツカナビツクリ
ニヤツテ來テ、今年モ煙草ヲ一錢上ゲテ見ヨ
ウ、來年モ亦一錢上ゲテ見ヨウト云フヤウ
ナ其ノ場ノ腰ダメ増稅ヲヤツテ居ラ
レテハ、戰時財政ハ確立シナイ、ヤハリ大
キナ基準の計畫經濟ガ立ナクテモ、大體ノ
目安ヲ置イテ、稅ノ根本ヲ確立スルノデナ
ケレバ、是ハ日本全體ノ稅制、財政ト云フ
モノハ不安デ堪ラナイ、是ハ松隈局長ニ伺
フガ、十四年マデハ……

○櫻井委員長 一寸松村君、中途デスガ、今
豫算委員會ノ方カラ大藏大臣ノ御出席ヲ求
メラレテ居リマスガ、後ニ又御出席戴クコ
トニシテ、大臣ヘノ質問ヲ打切ラレマシテ
ハドウデスカ

○松村(光)委員 承知致シマシタ
○櫻井委員長 田川君ハ極ク短ウゴザイマ
スカ、何ナラ此ノ次デハイケマセスカ

○田川委員 短イデス
○櫻井委員長 ソレデハ一寸關聯質問ヲ田
川君カラ要求セラレテ居リマスカラ、田川
君ニ許シマス

○田川委員 私ハ本案ノ趣旨ニハ總體的ニ
賛成スル者デアリマス、唯實際ノ施行ノ場
合ニ於ケル困難ヲ多少豫想シ懸念スル者デ
アリマス、ソレデ御尋ネスルノデアリマス

ガ、茲ニ此ノ増稅ノ結果ハ自然ニ價格ノ引
上ヲ認メラレルコトニナツテ、此ノ方針ハ
政府ノ現ニ立テテ居ラレマスル低物價政策
ト矛盾スル嫌ヒガアルト思フノデスガ、其
ノ點ニ對スル御解釋ハドウデアリマスカ、
是ガ第一點デアリマス

第二、政府ハ現在ノ經濟金融ノ情勢ヲ
「インフレ」狀態デアルト認メテ居ラレルノ
デアリマスカ、認メテ居ラレナイノデアリ
マスカ

第三、ココデ購買力ノ吸收ヤ消費ノ抑制
ト云フゴトヲ御考ヘニナル所カラ考ヘマス
レバ、既ニ「インフレ」ノ而モ惡性「インフレ」
ノ傾向ヲ持チ來シテ居ルコトヲ御認メニナ
ツテ居ラレルヤウニ感ゼラレルノデアリマ
ス、今回ノ増稅ニ依ツテ——増稅ノミデハ
アリマセス、今回ノ御計畫ニ依ツテ更ニ「イ
ンフレ」ノ傾向ヲ助長セラルルノ虞ナシトセ
ラルルカ、其ノ虞ヲ増稅ニ依ツテ能ク抑制ス
ルコトガ出來ルト御考ヘニナルノデアアルカ

第四、今日ノ情勢カラ考ヘマスルト、年
度末ニ於ケル日本銀行ノ兌換券ハ或ハ六十
億圓ヲ超過スルデアラウト謂ハレマスガ、
サウ云フ傾向アリ、サウ云フ情勢アリト認
メテ居ラレマスカドウカ、此ノ四點デアリ
マス

○賀屋國務大臣 今回ノ増稅ト低物價政策
トハ矛盾致シマセヌト云フ考ヘデアリマス、
間接稅デアリマスカラ所謂店舗賣リマス
値段ノ中ニ入リマスルガ、ソレハ今回稅ヲ
引上ゲタダケノモノヲ増加スルコトヲ認メ
テ居ルノデアリマス、是ハ低物價政策ヲ執
ル以上ハ、此ノ理論ヲ持チマセヌト、一切
ノ間稅ノ引上ガ出來ヌト云フコトニナル、
併シサウ云フコトハナイト思ヒマス

第二ニ現在既ニ惡性「インフレ」デアアルカ
ドウカ、私ハ現在ノ狀態ハ惡性「インフレ」
トマデハ行ツテ居リマセヌト思ヒマス、但
シ戰時ニハ總テ物ヲ靜止的ニ考ヘル譯ニハ
參リマセス、常ニ惡性「インフレ」ニナラン
トシマス、常ニ經濟ハ不健全ナラントシ、
財政ハ不健全ナラントスル、惡クナリマス
ル原因ト云フモノハ種々伏在シテ居リマス
カラ、常ニ動イテ居リマス、一步ヲ誤レバ
直キニ惡性「インフレ」ニナリマス、併シ戰
後四年間今日マデノ狀況ハ惡性「インフレ」
ト云フ段階デハナイト存ジマスガ、サウナ
リマセヌヤウニ各般ノ政策ヲ執ツテ參リマ
スルコトガ大切デアリマシテ、今回ノ増稅モ
サウ云フ目的ヲ達シマスル有力ナル一翼デ
アルト思ヒマス、是ノミニ依ツテ全部ノ目
的ヲ達スル譯ニハ參リマセス、只今購買力ノ吸
收ニ致シマシテモ、租稅總額ヨリハ國民貯蓄
ノ増加額ノ方ガ二倍以上デアリマス、ドウ
致シマシテモ兩者ヲ併用シテ極力ヤツテ參
ル外ハナイト思ヒマス、併シナガラ今回ノ
増稅ハ有力ナル一翼デアルト考ヘテ居リマ
ス、尙ホ年末ニドレ位ノ兌換券ニナリマス
カ、相當膨脹ハ致シマスガ、果シテドノ位
ノ數字ニナルカ、只今私ノ方デモ見込デ
居リマセス

○櫻井委員長 松村君、大臣ニ對スル質問
ヲ一時御留保ヲ願ヒマス——次ニ紫安新九
郎君

○紫安委員 私ハ取消シマス
○櫻井委員長 デハ小山倉之助君

○小山(倉)委員 私ハ大體大臣カラ御伺ヒ
シタイ點デアリマスガ、政府委員ノ方々ニ御
伺ヒシテモ差支ヘナイコトデアリマスカラ、
專ラ政府委員ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、

御承知ノ如ク今日ノ財政ハ公債ガ殆ド主デ
アツテ、稅收ハ從デアルト云フ形勢ヲ成シ
テ居ルコトハ見逃スベカラザル事實デアリ
マス、其ノコトガ惡イ善イト云フコトハ別
ト致シマシテ、公債ガ主デアツテ稅收ハ殆
ド從デアリマス、併シ此ノ前松村君カラ縷
縷申述ベラレマシタ通り、稅ノ收入ト云フ
モノヲ將來トモ堅實ニ、其ノ經濟事情ニ適應
シテ徵收シテ行カケレバナラヌト云フコ
トハ勿論デアツテ、稅制ノ財政上重キヲ成
シ、經濟上重キヲ成スト云フ點ニ付テハ、
是ハ消エテ居ナイノデアリマス、唯私ガ此
處デ御質問申上ゲタイノハ、近來ノ稅制ノ
立テ方ハ從來ノ或ハ自由主義申シマスカ、
資本主義ト申シマスカ、大體從來ノ經濟ヲ
基礎トシテ立テラレタ稅制デアリマス、所
ガ近來ノ風潮ト申シマスカ、趨勢ト申シマ
スカ、其ノ根本ガ段々轉化シツツアル、私ハ
率直簡明ニ申シマスガ、政府ノ行政費モ段
段殖エテ行クト云フコトニ付キマシテハ、
臨時軍事費トカ云フ戰爭ノ場合ハ違ヒマス
ガ、例ヘバ此ノ度ノ政策ニ現ハレタ點カラ
申シマシテモ、米穀ノ増產トカ、或ハ其ノ
他ノ増產國策會社ヘノ出資、其ノ補助金、或
ハ此ノ度ハ產業設備營團、是ガ爲ニ政府ガ
出資スル、一方ニ於テ政府ハ中小工業ノ整
備統合ヲシテ居リマス、我が國ノ生産ノ大
部分ハ中小工業ニアルト云ツテ差支ヘナイ、
是ハ大體直接稅或ハ間接稅ノ財源デアリマ
ス、一方產業設備營團ト云フモノハ、大工
業モ中工業モ、或ハ小工業モ整理統合ヲス
ベキ一ツノ機關デアリマシテ、是亦未動設
備或ハ遊休設備ヲ生カサウトスル、或ハ活
用シヨウトスル手段方法トシテ生レタモノ
デハアリマスルケレドモ、一方ニ於テハ

其ノ目的ヲ完全ニ達シ得ナイ、茲ニ遊休設備或ハ未動設備ト云フモノハ其ノ儘殘ツテ行ク、斯ウ云フ形勢ハ確カニ茲ニ經濟上大キナ變化ヲ來シマス、大キナ變化ヲ來スダケ一方ニ於テハ財源ガ涸渇シヤシナイカ、或ハ此ノ財源ニ非常ナ變化ヲ來シハシナイカ、斯ウ云フコトハ認メラルノデアリマス

ソコデ御質問申上ゲタイノハ、今日ノヤウナ財政ノ執リ方、經濟政策ヲ進メテ行ツテ、果シテ直接稅方面ニ減收ヲ來ス惧ガアルカドウカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ、モウ一ツハ將來直接稅ノ方ガ主トナラナイデ、間接稅ガ主トナツテ行キハシナイカ、間接稅ハ今日ノ狀態カラ行キマス、段々多クナツテ行クノデアリマスカラ、寧ロ間接稅ノ稅率ヲ增加スルヤウナ傾向ニナツテ來ル、或ハ物品稅ノ如キハ其ノ範圍ヲ更ニ擴張スル、更ニ増率ヲスルト云フ餘地ガ殘サレテ居ル、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點間接稅ハ最モヤリ宜イ、簡單デアアル、時宜ニ適シテ居ル、即チ遊動資金デアリマス、遊動資金ト云フヤウナモノヲ吸收スル、購買力ヲ吸收スル、斯ウ云フ點ニ重點ヲ置カレテ居ルヤウデアリマスガ、間接稅ハ寧ロ主トナル傾向ハナイカ、更ニ之ヲ増收スルト云フコトハ當然ノ趨勢ノヤウニ見エマスガ、政府ニ其ノ腹案アリヤ否ヤ、先ツ斯樣ナ點ニ付テ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○松隈政府委員 今後ニ於ケル經濟統制ノ進行ニ連レマシテ、中小商工業者ノ整理ガ行ハレ、ソレカラ産業設備營團ノヤウナモノニ依ツテ遊休設備ガ引繼ガレテ行ク、其ノ結果ト致シマシテハ、租稅ノ重要財源トナツテ居ル所ノ中小商工業者ノ方面ニ相當

ノ變化ガ來ル、ソレカラ延イテハ直接稅方面ニ減收ヲ來ス惧ガナイカ、斯ウ云フ御質問デアリマスルガ、御話ノ如ク統制經濟ノ進展ニ連レマシテ中小商工業者ガ整理サレテ、其ノ數ガ或ル程度減リツツアリマス、又其ノ利益モ從來ノ自由主義時代ニ於ケルガ如ク、個人ノ活動ニ依ツテ十分ニ利益スルト云フヤウナコトガ、許サレナクナツテ居リマス、コトハ事實デアリマス、ソレ等ノコトガ自然課稅ノ方面ニ影響シテ參ルト思ヒマス、ソレガ爲ニ直接稅ガ著シク減少スルト云フ風ニハ認メラレナイノデアリマス、尙ホ營業狀態ノ變化ニ依リマシテ、今後課稅方面ニモ新事態ニ即應シテ方策ヲ立テル必要ガアルカト思ヒマス、例ヘバ今マデハ商業組合ハ業者ノ福利施設ヲ主トスル法人デアリマシタノデ、營利法人トハ見テ居リマセヌ、是ハ中間法人ト云フコトニナツテ居リマス、昨年ノ改正デ特別法人稅ダケハ課ケルコトニ致シマシタガ、中間法人タル性質ニ顧ミマシテ、其ノ稅率モ極メテ低率ニシテアリマスルガ、今後中間法人的ノモノニ營業ガ統一サレテ、商業組合ノヤウナモノガ實際ニ於テ營業スルト云フコトニナツテ參ルノデアレバ、商業組合法等ヲ改正致シマシテ、課稅ノ點ニ付テモ新シイ方法ヲ講ジテ、新事態ニ即應シテ、新シイ財源カラ十分ノ稅收入ヲ擧ゲルヤウニシテ參ル必要ガアルヤウニ考ヘテ居リマス

ソレカラ直接稅ニ付キマシテハ、昨年ノ改正ニ依リマシテ、分類所得稅ト綜合所得稅ニ所得稅ヲ分ケマシテ、分類所得稅ハ相當源泉徵收ノ制度ヲ加ヘマシテ、稅率ノ引上ニ依リマシテ、相當增收ヲ簡易ニ得ラレ

ルヤウナ稅制ヲ立テマシタ、今後必要ニ應ジテ分類所得稅ヲ中心ニ考ヘマスレバ、直接稅方面ノ增收ハ尙ホ相當ノ期待ガ出來ルト思ヒマス、各國ニ於キマス戰時財政ノ財源調達ノ方法ヲ見マスルニ、間接稅ニ付テモ相當ノ引上ノ行ツテ居リマスルケレドモ、ヤハリ直接稅ノ重課ト云フコトニ重點ガ置カレテ居ルノデアリマス、間接稅ハ極ク僅ノ金額デモ、之ヲ累積スル時ニハ相當多額ノ收入トナルト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、併シ今後ノ財源ノ穿鑿ニ當リマシテハ、今同提案シマシタ間接稅ノ增收以外ニ於テモ、尙ホ間接稅ニ於テ增收ヲ檢討スル餘地ガアリマスシ、ソレカラ流通稅等ニ付テモ檢討シテ參ル積リデハアリマス、併シ只今ノ趨勢ヲ以テスレバ直接稅ガ著シク減リ、間接稅ガ著シク伸ビテ、其ノ割合ガ逆轉スル所マデハ行カナイダラウト云フ積リデ居リマス

○小山(倉)委員 直接稅ハ只今ノ所デハ間接稅ヨリモ大部分ヲ占メテ居リマスシ、而モ昨年ノ改正ニ於キマシテハ、大體ニ於テ其ノ當時ノ經濟事情ヲ基礎トシテ立テラレタモノデアリマス、直チニ來年度ニ於テ、或ハ今年度ニ於テ減收ヲ見ルト云フコトハアリマス、ソレハ主稅局長ノ仰セラレル通りデアリマス、只今ノ御答辯ノ裏ヲ少シ考ヘマスルト、急激ニ變化ハナカラウガ、多少ノ變化ハアルヤウニ御認メノヤウデアリマス、ソレハ私ノ聽キ違ヒデアリマスレバ御訂正ヲ願ヒタイノデアリマス、實ハ諸々方々ヲ觀察シテ參リマス、中小商工業者ハ全面的脅威ヲ受ケテ居リマス、

七・七禁令以來、殊ニ消費規正或ハ物資ノ配給ノ圓滑デナイト云フコトカラ、非常ナル脅威ヲ受ケテ居リマス、ソレハ更生金庫ヲ以テ救済シヨウトシテモ、其ノ救済ノ目的ハ達セズ、殆ド自然消滅ヲ待ツテ居ルヤウナ狀態デアリマシテ、更生金庫ノ制度ノ如キハ、正ニ二階カラ目藥同様デアリマス、ソレカラ又産業設備營團モ二億萬圓ト大キク謳ツテ居リマスガ、其ノ未動遊休設備ハ既ニ百億萬ニ達シテ居ル、是ハ中小工業バカリデナク大工業ニモアリマス、或ハ大キナ會社デ之ヲ保有シテ、將來平時ニナレバ直チニ外國ノ競爭場裡ニ於テ活躍スベキ設備サヘモ、現在資材ノ不足ノ爲ニ遊休トナリ、或ハ之ヲ「スクラップ」ニ計算シヨウト云フ、恐レベキ計畫サヘモ茲ニ描カレテ居ルノデアリマス、軍需工業、特ニ股販產業ニ從事シテ居ル方面ニハ相當ノ餘裕ガアリ、相當ノ利益ガアツテ、其ノ方面カラハ戰時利得稅、臨時利得稅ヲ徵收スルコトガ出來マセウケレドモ、綜合課稅ノ方面カラ參リマス

ト、私ハ餘程ノ影響ガアルト思フノデアリマス、ソコデ只今主稅局長ノ仰セラレマシタ通り、直接稅ノ方デハ分類所得稅ノ方デ相當增收ヲ見込マレルト云フ、其ノ觀察ハ頗ル妥當デアルト思ヒマス、將來ハ分類所得稅ノ方デ增收ガ得ラレルデアリマセウ、併シナガラ中小商工業者ハ或ハ整理統合セラレ、普通ノ小ナモノハ組合ニ統合セラレ、或ハ稍、大キクナラウト云フモノハ國策會社ニ統合セラレ、サウシテ資金モ集中サレレバ資材モ集中サレル、戰爭目的ニ於テハ正ニ其ノ通りシナケレバナラスケレドモ、一般大衆、一般ノ稅源トナル最モ大キナ層ガ非常ナ打撃ヲ被ルト云フ狀態ハ、是

ハ見逃スベカラザル事實デアリマス、ソコ
デ分類所得稅ノ方ガ段々殖エ、ソレハ殖
エルデアリマセウガ、大體中小商工業ノ中、
整理サレタ者ハ軍需工場ヘ行クトカ、或ハ
大キナ工場ヘ行ク、日本ノ經濟組織ハ正ニ
大資本家、大工業家ニアラザレバ労働者ト
變化スル、労働者デナケレバ半労働者デア
リマス、是ハ戰時體制ニ於テハ已ムヲ得マ
スマイ、併シナガラ大體ノ形勢ハ大資本家
大工業家、然ラザレバ大體ハ産業労働者ト
申シマス、中産以下ノモノトナルノデア
リマス、其ノ中産以下ノモノトナリマスレ
バ、今日ノ標準カラ言ヘバ分類所得稅ハ出
シマス、是ハ皆分類所得稅ノ負擔者デア、
デア、ルカラ直接稅ハドチラカト云フナラバ、
消費者階級ノ如キモノガ多イ、間接稅ヲ納
メルト同様ニ、其ノ納メル層ガ非常ニ殖エ
テ參リマス、デアリマス、中産ノ多額ノ
稅ヲ納メル人ガ段々減ツテモ、或ハ上ノ方ノ
大キナ利益ヲ擧ゲテ居ル層ガ少クナツテモ、
其ノ分類所得稅ヲ納メル、而モ低率ノ分
類所得稅ヲ納メル數ハ相當多クナルガラ
ウト私ニハ想像セラレ、主稅局長ノ只
今ノ御答モ、大體サウ云フヤウナ形勢ヲオ
見透シノ上ノ御答辯ト私ハ拜承致シタノデ
アリマスガ、サウ云フヤウナ狀態デアリマ
スカラ、ドウモ此ノ稅制ト云フモノニ付テ
ノ根本ノ建テ方ヲ變ヘテ行ク趨勢デヤナカ
ラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、其
ノ趨勢ガアリト仰セラレ、デアリマス、カ
ラ、私ハ其ノ點ヲ承認致シマス、ソコデ私
ガ惧レマスノハ、先程申上ゲマシタ通り公
債ガ主デア、サウシテ稅收入ノ方ハ今日
ハ從デア、公債ノ消化ハ是ハ民間ノ資金
ニ求ナレバナラス、所ガ民間ニ於テハ大

多數ハ色々ナ整理統合ヤラ、其ノ外國策會
社ニ併合サレルトカ、組合ニ併合サレルト
カ云フヤウナコトデ、サウ云フヤウナ層ガ
段々富ノ點カラ云ヘバ弱シテ行ク、サウ
云フ層ガ殖エテ行ツタ場合ニ、私ハ果シテ
公債ガ順調ニ消化サレルモノデア、ルカドウ
カ、公債ガ順調ニ消化サレナイ場合ニハ、勢
ヒ政府ハ唯不換紙幣ヲ濫發スルニ終ル、公
債ノ額ガ多クナレバナル程濫發ノ程度ハ強
化サレル、斯ウ云フ憂ガ果シテナイガラウ
カドウカ、此ノ點ハ大臣カラ御伺ヒスルコト
デアリマス、ケレドモ、大臣ノ政策ヲ寧ロ御
作リナサル皆様方中堅ノ方カラ御伺ヒスル
方ガ妥當ト思ヒマス、政府委員カラ御
伺ヒ致シマス

○松隈政府委員 戰時財政ノ遂行ハ、私カ
ラ申上ゲルマデモナク、其ノ特色ハ歲出ノ
龐大デアリマス、隨ヒマシテ政府資金ノ撒
布ガ非常ニ巨額ニ達スル譯デアリマス、是
ガ産業ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト申シマ
スレバ、巨額ノ政府資金ノ撒布ガアルノデ
アリマス、ルカラ、ソレニ依ツテ利益スル階層ハ
相當アルト思フノデアリマス、只今御話ノ軍
需工業方面ニ於テハ利益ガ相當増大シテ
參リマシテ、是ガ或ル意味ニ於テ稅源ニナ
ツテ現ハレテ參ルト思フノデアリマス、唯
一面ニ於キマシテ戰争ノ遂行ハ、強力ナル
統制經濟ノ遂行ヲ必要ト致シマス、ソレデ、
其ノ結果ト致シマシテ中小商工業ノ再編成
ガ行ハレテ、此ノ階層ニ於テ所得ナリ利益
ナリガ減ルト云フコトハ、認メザルヲ得ナ
イノデアリマスガ、全體トシテ政府ノ歲出
ガ殖エ、政府資金ノ撒布ガ殖エルト云フ場
合ニ於テハ、私ハ稅源ガ減ルトハ思ハナイ
ノデアリマス、階層ニ依ツテハ移動ガアリ

マスケレドモ、大體稅トシテ徵收シ得ル額
ハ殖エテ參ル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、
隨テソレヲ直接稅、間接稅、流通稅ト分ケ
マシテ、適當ナ方法ニ依リマシテ吸收スル
ト云フコトヲ考ヘマスレバ、戰時財政ヲ運
行シテ參リマスル財源トシテハ、相當ノ收
入ヲ擧ゲ得ルト確信シテ居リマス、尙ホ政
府資金ノ撒布ガ相當巨額ニナリマス、ル際
ニ、ソレヲ吸收致シマス、ルノニ、増稅ノミ
ヲ以テ足リナイコトハ勿論デアリマシテ、
今日増稅モ致シマス、ケレドモ、從來ノ貯蓄
目標ヲ更ニ増加致シマシテ、貯蓄ノ増強ニ
努メテ戴クト云フコトハ當然ノコトデアリ
マシテ、貯蓄ノ増強ガアリマスレバ、ソレ
ニ依ツテ公債ノ消化モ賄ハレルト考ヘテ居
ルノデゴザイマス、尙稅ヲ引上ゲルニ當リ
マシテハ、貯蓄ノ増強、公債ノ消化等ニ支
障ノアリマス、ルヤウナ點ハ、極力之ヲ回避シ
ツツ増稅ノ案ヲ立テ、即チ戰時經濟ノ諸
政策ニ合致スルヤウナ稅制ヲ組ム必要ノア
ルコトハ申上ゲルマデモナイト思ヒマス

○小山(倉)委員 其ノ點ハ議論デアリマ
スカラ申上ゲマセ、サウ致シマス、ト將
來ハ此ノ整理統合サレタ親ノ、所謂國策會
社モ組合モ、總テ從來通り稅ヲ取ルト云
フ、詰リ強イ態度ニオ出ニナルカドウデア
リマス、此ノ點ヲ一寸御伺ヒ致シマス
○松隈政府委員 國策會社デアリマシテ
モ、或ハ中小商工業者ノ整理統合ニ依リマ
シテ出來マシタ會社デアリマシテモ、其ノ
上ゲマシタ利益ニ對シマシテハ、負擔力ニ
應ズル課稅ヲ考慮スル必要ガアルト思フノ
デアリマス、サウ云フ會社ガ段々出來テ、
之ニ對シテ悉ク免稅ヲスルト云フコトニナ
リマスレバ、相當國ノ財源ガ減ツテ參ル虞

ガアル、其處マデ經濟界ガ變化ヲ來シテ參
リマスレバ、其ノ變化ニ對應スル稅制ハ考
ヘナケレバナラスト思ヒマス、ケレドモ、
今直チニ國策會社ニ對シテドノ程度ノ負擔
ヲ負ハセルカ、免稅特權ヲ如何ニ整理スル
カト云フ明言ハ出來マセスケレドモ、少ク
トモ從來ノ經濟統制ノ進行ガ今日ノ程度ニ
至ラナカツタ時代、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ自
由主義時代ニ與ヘテアリマシタ免稅特權ノ
如キモノハ、此ノ際再檢討ヲスベキ時期デ
ハナイカ、斯様ニ思ツテ居リマス

○小山(倉)委員 外ニ質問ガ澤山ゴザイマ
セウカラ私ハ大體打チ切りマスガ、實ハ此
ノ地方財政デハ私共日常目撃シテ居ルノデ
アリマス、特ニ私ハ東北デアリマスガ、東
北地方ハ冷害デ大分影響ガ多イノデアリマ
シテ、分類所得稅ニ付テ相當ノ補給ヲシテ戴
カナケレバナラスノデアリマスガ、大藏省
ハ常ニ其ノ方面ニ多少滋ツテ居ルヤウニモ
見エ、ルノデアリマスガ、其ノ點ハ一ツ十分
御考慮ヲ願ヒタイ、内務省ノ方デモ其ノ點
ヲ大藏省ノ方ヘ十分御交渉ヲ願ヒタイト思
フノデアリマスガ、内務當局ハサウ云フ御
交渉ヲシテ居ラレルノデアリマス、ドウ
デアリマス、其ノ點ヲ伺ヒタイ、モウ一
ツ此ノ間接稅ハ、先程申上ゲマシタ通り、
モツト増徴シ、モツト範圍ヲ擴張スベキモ
ノデア、ル、モツト増率スベキモノデア、ルト
考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ次ノ議會
ニ於テ、更ニ御檢討ヲ加ヘラレマシタ後、
御發表ニナル御意思デアリマスカドウデア
リマス、其ノ點ヲ一寸御聽キシタイト思
ヒマス

○松隈政府委員 今回提案ニナツテ居リマ
スル酒稅等ノ増徴等ニ關スル法律案ノ中

ニ、地方分與税法ノ改正案が包攝サレテ居
リマスルケレドモ、是ハ入場税、遊興飲食
税ヲ増徴致シマシタ結果、其ノ儘ニ致シテ
置キマス、地方分與税トシテ分與スベキ
金額ガ増シマスカラ、現行ノ金額ヲ減ラサ
ナイ程度ニ率ヲ變更シタ譯デアリマス、隨
テ今回ノ改正ノ結果トシテハ、地方分與税
分與金特別會計ハ増減ガナイノデアリマ
ス、但シ只今ノ小山委員ノ御質問ハ、地方
團體ハ相當財源ニ困ツテ居ル、隨テ將來地
方團體ノ財源ヲ殖ヤス意味ニ於テ、配付税
ノ額ヲ増ス考ヘガアルカ、斯ウ云フ御話デ
アルト思フノデアリマスガ、地方團體ハ戰
時下ニ於テ各種ノ負擔ヲシテ居ル、ソレガ
爲ニ財政上相當困難ヲシテ居ル、殊ニ東北
地方ノ如ク財源ニ比較的恵マレナイ地方
團體ニ於テ、其ノ狀況ノ著シイコトハ政府
モ認メテ居ル次第デアリマス、併シ是ハ配
付税ノ額ヲ増スバカリガ解決策デハナイノ
デアリマシテ、全體トシテ配付税ノ額ヲ増
シタモノデアルカドウカ、或ハ其ノ他補助
金等ノ問題トシテ解決スベキデアルカ、又
一方地方團體ニ於テモ、經費ノ節約其ノ他
ノ方法ニ依ツテ捻出スル部分ガアルカドウ
カト云フ、全體トシテノ問題トシテ考究ス
ベキモノダト思ツテ居リマス、此ノ點ニ付
キマシテハ更ニ内務省トモ協議ヲシマシテ、
地方團體ノ財政ノ解決ノ爲ニ善處致シタイ
ト思ツテ居リマス

ツテ居リマスモノヲ、次ノ通常議會ニ於テ
更ニ税率ヲ引上ゲル、或ハ免稅點ヲ引下ゲ
ルト云フヤウナコトハ、中々困難ナコトダト
思ツテ居リマス、併シ今度提案サレタモノ
ダケガ間接税デハナク、他ニモ間接税ト認メ
ラレ、或ハ流通税ト認メラレルモノモゴザイ
マスシ、新シク税ヲ考ヘルト云フ餘地モ全
然ナイ譯デハナイト思ヒマス、ソレ等ノ點
ニ關シマシテハ事務當局トシテハ十分ノ研
究ヲ遂ゲタイト考ヘテ居リマス
○小山(倉)委員 内務當局カラ御答辯ノア
ル前ニ一言附加ヘテ申シタイノデアリマス
ガ、此ノ前ノ地租ノ改正デ千分ノ百カ二百
五十デスカ一寸記憶シマセヌガ、ソレヲ特
別ニ三百五十マデ殖ヤスト云フ附加税ノ規
定ガアツタノデアリマスガ、ドウモ分與税
ガ少イ爲カ其ノ他ノ色々ナ理由カラカ、何
シロ地方費ハ非常ニ殖エテ參リマシテ、其
ノ附加税モ或ル場所ニ於テハ千八百五十ト
カ、或ハ千二百カ千二百トカ云フヤウニ、却
テ非常ニ増徴ニナツテ、地方民ガ苦シンデ
居ルト云フ實情ガアルノデアリマスカラ、
ドウシテモ是ガ財源ヲ地方ニ補給スルト云
フコトヲ、十分ニ御考ヘ願ハナケレバナラ
ヌト云フ一ツノ例トシテ申上ゲルノデアリ
マスガ、其ノ點ヲ十分御考慮願ヒタイト思
フノデアリマス、ソレカラ私ハ此ノ間接税
ヲモツト範圍ヲ殖ヤス必要ガナイカト云フ
一ツノ例トシテ、思付キデアリマスガ、例
ヘバ廣告税ノ如キハ相當殖ヤシテ宜イノデ
ヤナイカ、間接税ト申シマスガ、何ト申シ
マスカサウ云フ税ナンカハ相當私ハ高率ニ
殖ヤシテモ宜イノデヤナイカト考ヘマシタ
ノデ、一寸思付キノ一點ノ例ダケヲ申上ゲ
ル次第デアリマス

○松隈政府委員 地租ノ附加税ニ付キマシ
テハ、昨年ノ改正ノ際ニ於キマシテハ、法
定ノ制限ハ市町村ハ百分ノ二百ト云フコト
ニナツテ居リマスガ、法定制限デハ無理デ
アツテ、制限超過スルコトノ豫想サレテ居
ツタモノモアルノデアリマス、其ノ場合ニ
於テモ百分ノ三百トカ四百位ノモノハ、相
當出ルノデハナイカト思ツタノデアリマス
ガ、施行シテ參ツタ結果カラ申上ゲマス
戸數割ヲ廢止シタ結果ニ依リマスル財源ノ
不足ガ餘リニ甚ダシイ爲ニ、御示シノヤウ百
分ノ千ヲ越シタト云フヤウナ町村モ、極
ク例外的デハアリマスケレドモアルヤウデ
ゴザイマス、是等ノモノニ付テ如何ナル措
置ヲ執ルカト申シマス、施行直後デアリ
マスノデ、モウ少シ資料等ニ依ツテ全體ヲ
眺メテ見ナケレバナリマセヌケレドモ、偶
若シ次ノ通常議會ニ所得税ナリ法人税ナリ
ノ改正案ヲ提案致シマスルト、又地方
分與税法中ニアル所得税ナリ法人税ナリノ
配分割合ガ當然問題ニナツテ參ルト思ヒマ
ス、ソレマデニハ資料モ整ヘマシテ、十分
研究致シタイト思ツテ居リマスガ、先程モ
申シタ通りニ、直チニ配付税ノ増額一本槍
デ片付ケルト云フコトモ無理ガアルト思ヒ
マスノデ、其ノ場合ニ地方團體ニ新稅ヲ認
メルカ、節約サセル餘地ガアルカ、補助金
ヲドウスルカ、凡ユル問題ト綜合的ニ考ヘ
タイト思ツテ居リマス

○小山(倉)委員 私ハ是デ打切りマス
○櫻井委員長 森田福市君
○森田(福)委員 大臣ニオ出マシニナツテ
戴キタイノデスガ、若シオ出マシニナルコ
トガ不可能デアレバ、次官デモ宜シイカラ
御出席ヲ願ヒタイ
○櫻井委員長 大臣ハモウ餘リ長クナクコ
ツチニ見エルコトト考ヘテ居リマス
○森田(福)委員 先程松村君カラ大分詳シ
ク御質問ニナツタノデ、私ハ其ノ時ニ政府
ノ御答ヘニナラナカツタ點ニ付テ御尋ネ
シテ見タイト思フノデアリマス、此ノ遊興
飲食税ノ問題デアリマスガ、他ノ税ハ昭和十
五年度ニハ約五割内外ノ増徴ガ出來テ居ル、
然ルニ此ノ遊興飲食税ダケハ僅カニ昭和十
五年度ノ豫算ニ比シテ、一割餘リノ増徴シ
カ出來テ居ナイト云フコトハ、此ノ税ヲ負
擔シタ人ノ金額ガ増サナカツタノデハナク
テ、徵税ノ方法ガ惡カツタカラ、他ノ税並
ノ增收ガ來シテ居ラスノデハナイカト思フ
ノデアリマス、ソレニ對シテ松村君ガ徵税
ノ方法ヲドウスルカト云フ質問ニ對シテモ、
政府委員ノ答辯デハ私ハ満足致シテ居ナイ、
是ハ要スルニ政府ガ直接徵税スルノデナ
ク、税ヲ徵收スルノハ當業者ガ徵收シテ居
ルノデアリマスカラ、ソレノ集金ヲ怠ツテ
居ル譯デアリマス、要スルニ其ノ集金ノ手
段方法ニ付テ、今尙ホ政府當局ニ研究ガ積
デ居ラスト云フコトハ、甚ダ遺憾デアアル、
今度ノヤウナ是等ノ税ハドウカト云フト、
少イモノデ倍、高イモノデハ三倍三分ニモ
増シテ居ル、私ハ或ハ是ハ新稅ヲ設置シテ
モ宜イト思フノデアリマスガ、サウ云フモ
ノヲ消費者カラ取ルコトハ宜シイガ、業者
ガ集メタ金ハソツクリ其ノ儘政府ニ入ルノ

デナケレバ増徴シタ效果ハナイ、購買力ノ
吸收ニモナラズ、消費ノ規制ニモナラナイ、
ソレガ先程ノ政府委員ノ答辯ノヤウナ方法
デハ、恐ラクハ又此ノ増稅シタ割合ノ收入
ヲ増スコトハ困難デハナイカト考ヘテ居リ
マスガ、此ノ點ハ政府ニモ良イ案ガナイト
云フノデアリマスカラ、良イ案ヲ十二月一
日マデニハ必ズ立テテ、サウシテハ一ツ
折角取立テタモノナラバ、ソツクリ其ノ儘
納マルヤウニシテ貰ヒタイ、松隈政府委員
ノ答辯デハ、ソレハ業者ノ道義ニ懸ヘテ納
メテ貰ヒタイト云フ、全ク其ノ通りデア
ケレドモ、私等ガ其ノ方面デ聞ク所ニ依
ルト、正直ナ者ハ全ク納メテ居ル、所ガサ
ウデナイ者ハ全然眼ヲ着ケズニ居ル、私等
方デハ三圓以上ノ遊興飲食ヲスルト見テ居
ラレスカラ、稅務署カラ交渉ガナイ、交渉
ガナイト云フコト口實ニシテ、一本ノ受
取ヲ出スカ出サスカト云フコトデヤツテ居
ル者ガ相當アル、斯ウ云フ風デアルカラ、
此ノ大キナ増稅ヲヤツテ行クノニ、其ノ準
備ヲ整ヘズニ此ノ増稅案ヲ御出シニナツタ
コトヲ甚ダ遺憾ニ思フ、是ハ前々カラ準備
ガ出来テ居ラナケレバナラス、今度ノ増稅
實施期ニハ、善處スルノデナク、或ハ道義
ニ懸ヘルノデハナク、何カ明確ナ方法ヲ立
テラレタイト思フノデアリマスガ、ソレニ
付テ責任ガ負ヘマセヌカ

〔委員長退席、中村委員長代理着席〕

○松隈政府委員 遊興飲食稅モ十五年度ノ
豫算ニ對シテ決算ヲ見マス、相當程度ノ
増徴ニナツテ居リマス、併シ是ハ遊興飲食
方面ニ於ケル消費ガ旺盛デアツタ結果デア
ツテ、ソレガ直チニ脫稅シテ居ラスト云フ
證據ニハナラナイト仰シヤレバ、或ハサウ

云フ懸念ガアルカト思ヒマス、續イテ十六
年度ニ入ツテ見マシテモ、遊興飲食稅ノ最
近マデノ實績ハ豫算ニ比シテ收入狀況ガ相
當宜シイノデアリマスガ、是ニ付テモヤハ
リ同ジヤウナコトガ言ヘルノデアリマシテ、
結局遊興飲食稅ガ遊興飲食ヲスル者カラ徵
收サレテドノ位納マツテ居ルカ、政府ト雖
モ完全ニ納マツテ居ルト云フコトヲ自信ヲ
持ツテハ申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、私ハ
サウ脫稅バカリシテ居ルト云フ風ニ見ルノ
モ如何カト考ヘテ居リマスガ、是ノ取締方
法ト致シマシテハ、先程モ申上ゲマシタヤ
ウニ、從來ハ——國稅ニ新タニ編入サレタモ
ノデアリ、隨テ此ノ國稅徵收ノ仕方ニ慣
レテ居ラナカツタ、地方稅時代ニ於テハ
請負制度デアリ、隨テ一定ノ金額サヘ出セ
バソレデ宜イト云フヤウナ觀念ガ多分ニア
ツタト思フノデアリマスガ、今度ハ國稅ニ
自分デ一定割合サヘ納メレバ宜イト云フヤ
ウナコトデナクテ、オ客カラハ忠實ニ徵收
シ、徵收シタ金額ハ忠實ニ國庫ニ拂込ムト
云フヤウナ觀念ヲ植付ケ、サウ云フ風ニ教
育シテ參ルコトガ必要ダト思ヒマスノデ、漸
次其ノ方向ニ向ケテ居リマス、併シナガラ嚴
罰主義ヲ以テ臨ムト云フコトハ摩擦ガ非常
ニ多イノデアリマス、最初ハ先程モ申上ゲ
マシタヤウニ、指導の方針ヲ以テ臨ミ、ソ
レデモ聽カヌ者ニ付テハ嚴重ナル處置ヲ講
ジテ、以テ反省ヲ促シテ居リマスガ、今後
ニ於キマシテモ、施行以來二年餘モ經ツテ
居ルノデアリマスカラ、段々ニ取締ヲ強化
シ、甘ヤカスコトノナイヤウニシテ行ク、
又一方取締主義ノミデハ、如何ニコチラガ
取締ツテモ稅務官吏ノ手ニハ限リガアリ、

向フガ脫稅ショウトスレバ、ヤハリ向フニ
ハ向フノ途ガアリマスカラ、ソレヨリハ此
ノ時局下ニ於テ、業者モ臨時軍事費ニ繰入
レルベキ重要ナ租稅ヲ、徵收シテ收メ
責任ガアルノデアルカラ、其ノ自覺ヲ十分
ニ徹底サセル、サウシテ又取締ノ方モ手ヲ
盡スコトニ依ツテ解決スル外、名案ハナイ
ト思ヒマス、先程モ申上ゲマシタヤウナ手
續上ノ改正ヲモ行ヒマスカレドモ、其ノ要
點ハヤハリ精神ニアルヤウニ思ハレルノデ
アリマス

○森田(福)委員 今ノヤウナ答辯ハ松村君
ノ質問ノ時ニモ拜聽致シテ居リマス、私ハサ
ウ云フ生緩イコトデナク、市町村役場ノ收
入役ハ、國稅ヤ府縣稅ナドヲ橫領シタ時ニ
ハ、御承知ノ通りノ處分ガ行ハレテ居ル、
モウ今日此ノ稅金ノ取立ハアナタノ仰セ
通り請負デハナイ、消費者ノ方カラハ、寧
ロ取ルベカラザル所カラデモ取ツテ、場末
ノ「カフェ」ニ於テ五人ノ女給ヲ有シナイ
三人程度ノ所デモ、勘定書ヲ取ツテ見レバ、
ハツキリト稅ヲ取ツテ居ル、現ニ私ハソレ
ヲ持ツテ居ル、ソレガ果シテ國ニ納マツテ
居ルカドウカ、納マツテ居ナイコトハ明カ
デアル、デアルカラ要スルニ其ノ點ハ、サ
ウ云フ教育ヲシテ行キ居ル間ニ日ガ暮レテ
シマヒマス、教育ナドニ依ツテ納稅觀念ヲ
植付ケテ行ツテ居ル間ニ、日ガ暮レル處レ
ガアリマスカラ、其ノ點ハ收入役ヲ處罰ス
ルヤウナ方法ヲ執ツテ行ツタ宜イデハナ
イカ、餘リ廻リ諄イコトデハイケナイサウ
スレバサウ云フ方面ノ取立人、所謂徵收シ
テ居ル者モ責任ノ重イコトヲ感ジテ來ルカ
ラ、脫稅スル者ガ少クナルノデハナイカト
思ヒマス、兎モ角生緩イコトデナク、少ク

トモ消費者カラ取立テタ金額ハ、斯ウ云フ
時代デアルカラソツクリ其ノ儘國庫ニ入ツ
テ來ルヤウナ手段ノ方法ヲ考ヘテ戴キタイト
云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス、次官ガ御見
エニナリマシタカラ、他ノ方面ノコトヲ御
伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ臨時増稅案ノ
要綱ニ依ツテ見マス、購買力ノ吸收消費
抑制ヲ圖ルト共ニ財源ノ一部ニ充當スルト
ナツテ居リマス、主眼ノ目的ハ購買力ノ吸
收ニアリ、消費ノ規制ニアルヤウニ考ヘラ
レルノデアリマスガ、果シテサウデアルナ
ラバ、多額ノ間接稅ヲ徵收スルコトニ依ツテ、
購買力ノ一端ヲ吸收スルコトヲヤラウト云
フ反面ニ、大藏省ハ色々補助政策ニソレ
以上ノ金額ヲ出シテ行キ、又行キツツアル
ノデアリマスガ、ソレデハ購買力ノ吸收ノ
效果ハ現ハレテ來ナイ、購買力ノ吸收ヲヤ
ル以上ハ、購買力トナル所ノモノヲ一旦集
メテ、又ソレヲバラ撒イテシマツタノデハ一
向何ノコトヤラ私ニハ分ラヌ、悉ク色々ナ部
面ニ於テ買上價格ヨリモ賣下價格ノ方ヲ安
クシテ、其ノ間ハ公債ナドニ依ツテ悉ク補助
政策ヲ執ツテ行ク、ソレガ購買力トナルト
云フコトヲ大藏當局ハ知ツテヤツテ居ルノ
カ、知ラズニヤツテ居ルノカ、若シ知ツテ
ヤツテ御ヤリニナルノナラバ、是ハ再考シ
ナケレバナラス、國家ガ稅ヲ取ルコトヲ止
メテ補助政策ヲ止メルカ、補助政策ヲ止メ
テ稅ヲ取ツテ行クナラバ購買力ノ吸收トナ
ラス、積ンダリ毀シタリシテ行クヤウナコ
トヲシテ忙ガシガラレル必要ハ少シモナイ、
イヤ是ハアリ得ナイ、是ハ私ノ考ヘガ違ツテ
居ルカモ知ラスガ、購買力ノ吸收ヲヤルト
云フコトハ、増稅ノ方法ヲ以テヤラナケレ
バ效果ガ現ハレナイト思フノカ、ソレトモ

效果が現ハレト云フ御考ヘデ御ヤリニナツテ居ルノカ、次官が御見エニナツタカラ、大臣ヨリハアナタノ方ガ詳シカラウト思フカラ……

○谷口政府委員 今回ノ増税ハ購買力ノ吸收ヲ目的ト致シテ居リマスルガ、今日購買力ノ問題ニ付キマシテハ、成ベク國費ノ出方ヲ少クシテ節約シテ行カナケレバナラヌト云フノガ、根本デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ趣旨ヲ以チマシテ國費ハ成ベク少クシテ節約ヲ旨トシテ行クト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマス、今御話ノ如ク一方ニ於テ購買力吸收ヲ旗印ニ致シマシテ、此ノ増税ヲ致シテ居リマスル一方ニ於キマシテ、補助金ト云フモノガ多額ニ出テ居ル、是ハ事實デアリマシテ、而モ其ノ補助金ノ中ニハ價格關係デ相當著シイ補助金ガ出テ居ルノデアリマス、此ノ補助金ガ出テ居ルノ歳出ト致シマシテ、過剩ノ購買力ヲ作ル原因ニナツテ、ソレガ一方又物價騰貴ノ原因ヲナスコト云フコトハ、是ハ氣付イテ居ラナイ譯デハナイノデアリマス、氣付イテ居リマスレバコソ其ノ補助金政策ニ付キマシテモ、如何デアラウカ考ヘテ貰ヒタイト云フヤウナ立場ハ、常ニ執ツテ居ルノデアリマシテ、寧ロ場合ニ依リマシテハ、補助金ヲ出スヨリモ價格ヲ幾ラカ考ヘテ貰ツタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナ意見モ出シテ居ル點ガアルノデアリマス、ソレデ御話ノヤウニ一方ニ於テハ吸收シテ、一方ニ於テ吐出ス、ソレハ簡單ニ處理シタ方ガ、二度忙ガシイ目ヲシナクデモ宜イト云フ點モアルコトハアルト思フノデアリマスガ、是ハ場合ニ依リマシテ、今日ノ場合ニ於キマシテハ一方ニ於

テ吸收シテ、サウシテ又一方ニ於テ補助金ヲ出スト云フコトハ、物價政策ノ關係上已ムヲ得ナイト云フデアリマシテ、今日ノ全體ヲ見マス、ドウセ一方ニ於テ吸收スルノナラバ出サス方ニヤレバ宜イデハナイカト云フ風ニ簡單ニモ行キ兼ネル點ガアルト思フノデアリマス、私ハ只今ノ御話ニ付キマシテハ、大體論ト致シマシテハ、購買力ヲ吸收シナケレバナラナイ今日ノ場合ニ於テ、國費ノ出シ方ニ付テハ餘程考慮ヲ要スルコト云フ點ニ付キマシテハ、御言葉ノ點ハ御尤モト思フノデアリマスルガ、此ノ物價ノ關係等ニ付キマシテハ、今日ノヤウナ複雑ナル、一方ニ於テ吸收シテ置キナガラ或ル點ニ於テハソレヲ出サナケレバナラヌ點ガアル、是亦已ムヲ得ナイ點ガアルト左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○森田(福)委員 ドウモ私ニハ要領ヲ掴メヌノデアリマスガ、斯ウ云フコトデスカ、政府ハ物品税ノ如キモノハ、現在賣ツテ居ル價格ヲ、税ヲ増スダケ高クスルコトヲヤルト云フ、是ハ所謂低物價政策デ、税ガ増スダケ物價ガ上ルト云フコトデアリマス、消費者ハ税ガ上ツテ物價ガ上ラウト、税ガ上ラズニ上ル物價デアラウト、負擔ノ點ニ於テハ同ジコトデアル、サウスルト補助政策ニ依ツテ物價ヲ上ゲルヤウニシテ置クコトト、一方ニ於テソレヲ補助シテヤツテ國民カラ他ノ税、若クハ公債デ賄フコトモ差ハアリ得ナイ、物品税ノ税額ヲ上ゲタダケノモノヲ物品ニ課ケテ行クコトハ、所謂低物價政策ノ訂正デアリマス、サウスルト私ノ頭ニ殘ツテ居ルノハ、石炭ノ如キデモ、今回ノ米穀ノ如キデモ、消費者ニソレダケノ負擔ヲ課ケルト云フコトデ補助ヲ與ヘテ

居ルノデアリマスガ、サウ云フコトヲヤラズニ、消費者ガソレヲ負擔セスト云フノデナク、消費者ニ負擔サシテ行ツテ、一方ニハ消費規正ノ爲ニ、一方ニハ購買力吸收ノ爲ニ、此ノ税ヲ取ツテ行クト云フ方法ヲ執レバ完全ダト思フ、アナタノ仰シヤルノハ或ハ斯ウカモ知レナイ、補助シテヤル方面ト、購買力ヲ吸收シナケレバナラヌ方面トハ違フカノヤウニ聞エタノデアリマスガ、私ハ今日此ノ購買力ノ盛シナ方面ハドノ方面デアルカト云フト、寧ロ平素ハ收入モ少ナカッタ方面デアル、今日ハサウ云フ方面ガ收入ガ多イ、先程煙草ノ問答ヲヤツタガ、煙草ノ如キモノデモ、專賣局ノ方々ハ數島ナド喫ツテ居ル者ニハ四割ヲカケル、コバツトノ方面ハ一割ト云フコトデ、購買力吸收ヲ數島ノ方面ニ課ケラレタノハ大キナ間違デアル、此ノ方面ノ人々ハ購買力ヲ吸收サレテ困ツテ居ル、此ノ方面ノ人々ハ購買力ハ持ツテ居ラス、役所ナドハ或ハサウカモ知レヌガ、民間デヤ寧ロ重役トカ、社員トカ云フモノヨリモ、直接從事シテ居ル勞務者デアルトカ、船舶ノ船員デアルトカ云フ方面ガ購買力ハ盛シデアル、狙ヒドコロガ違ツテ居ル、本當ニ言フナラバ、今度ノ改正ニ依ツテ購買力ヲ吸收シヨウト思フ所ノ「ポイント」ヲ外シテ居ル、今ノ次官ノ御話ハ私ノ聴キ違ヒデナカツタナラバ、補助セナケレバナラヌ方面ト、購買力ヲ吸收スル方面ト方角ガ違フト言ハレルノデアリマ

メサシテ行クナラバ、單純デアリ、其ノ方ガヨリ圓滑ニ購買力ノ吸收ガ出來ルト思フ、隨テ消費規正ノ目的モ達セラレルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ヲ此處デ問答シタ所ガ仕方ガナイガ、今後ノ議會ニ提出サレル十七年度豫算ノ編成ニ當ツテ、補助政策ガ問題化サレルデアラウト思フカラ、其ノ時ニ深甚ナル考慮ヲ拂ツテ、補助ヲヤル代リニ、消費者ガソレヲ受ケルコトヲ否マナイ補助デアツタナラバ、消費者ニ負擔サシテモ宜シイ、補助政策ヲヤラズニ其ノ方面ニ負擔サシテ行ツテ、一方ニ購買力吸收ヲ行ハズニ濟ムヤウナ、單純ナ方法ヲ執ツテ貰ヒタイ、十七年度ノ豫算編成ニ當ツテ此ノ方面ニ深甚ナル考慮ヲ拂ツテ戴キタイト考ヘルノデアリマス

ソレカラ今一ツハ政府ノ支拂問題ニ付テ問ウテ見タイコトガアルノデス、大藏省ノ豫算ガ陸海軍省方面ノ軍事費ニ廻ツテ行クモノニ付テ、斯ウ云フコトヲ聽クノデアリマス、此ノ軍部方面ノ支拂ガ非常ニ遅レテ居ルノデアリマス、各方面ヘノ支拂ガ、甚ダシキハ四五月頃ノモノガ今デモ殘ツテ居ル、斯ウ云フ方面ニナゼ拂ハナイカト云フト、大藏省カラ豫算ガ廻ツテ居ナイト云フト、ナゼ豫算ヲ廻サナイカト云フト、ソレハ通貨ガ膨脹シ、或ハ購買力ガ盛シナル爲ニ抑ヘテアルラシイト云フ話デアリマスガ、若シ果シテサウデアラナラバ、是ハトシデモナイコトデ、ヤハリ軍需工場デアラウト、船會社デアラウト、職工デアルトカ、船員デアルトカ云フモノニハ、他カラ借りテ來デモ拂ハナケレバイカヌカラ、其ノ方面ハ先拂ヒスル位デナケレバ、到底今日人ヲ得テ運用スルコトハ出來ナイノデアリマス、

若シ大藏省ガ通貨ノ膨脹ヲ防グ一端トシ、或ハ購買力ヲ減殺スル目的ヲ以テ今ノヤウナ方法ヲ執ツテ居ルナラバ、ソレハ中間ノ民間銀行ヲ徒ラニ利益サセルノミデアリマス、此ノ點ノ事情ハ大藏當局ハ能ク御承知ダラウト思ヒマスカラ、詳細ニ御答ヘヲ聽カシテ戴キタイノデアリマス

○谷口政府委員 月別ノ支拂ノ狀況ハ最近ニ於テ能ク調ベテ居ルノデアリマシテ、ソレハ御要求デアリマシタナラバ御話申上ゲテ差支ヘナイカト思ヒマスルガ、大體ノコトヲ申上ゲマス、ヤハリ事變ガ始マリマシテ間モナイ頃ニハ、御話ノヤウナ考ヘ方ヲ致シマシタコトモ率直ニ申シマス、アツタノデアリマス、成ベク出シ澁ツテ居ルガ金ノ出シ方ガ少クテ濟ムノデヤナイカト云フヤウナ、極メテ低級ナ考ヘ方カモ知レマセスガ、サウ云フ考ヘ方ノ時モナイコトハナカツタノデアリマス、併シナガラソレハ適當デナイノデアリマシテ、市中ノ資金ノ狀況等ヲ見マシタ上デ、若シ政府ノ支拂ヒニ或ル種ノ掣肘ヲ加ヘルト云フナラバ、市中ノ金融ノ狀況ヲ見タ上デ緩漫宜シキヲ得ルト云フコトハスル餘地ガアルト思フノデアリマスガ、徒ラニ出シ澁ルト云フヤリ方ハ、今日ニ於テハ政府トシテハ執ツテ居ラナイノデアリマス、唯昨日森田サンモ此ノ豫算總會デ御聽キニナツタカモ知レマセヌガ、一般ノ公開ノ席上デハ説明ガナカツタノデアリマスケレドモ、資金ノ現在高ノ狀況如何ニ依リマシテ、實際支拂ヒガ遅レタ時モアツタノデアリマス、恐ラクハサウ云フ時期ニ非常ニ不便ガアツタト云フコトノ御指摘カト思フノデアリマスガ、強ヒテ大藏省ガ金ノ出方ヲ澁ラセテ、政府カラ

註文ヲ受ケテ居ル人ヲ困ラセルヤウナコトニ仕向ケルコトハ、意識シテハヤツテ居ラナイノデアリマス、唯商品納入ノ検査デアリマス、或ハ書類ノ關係等、是ハヤハリ役所ノコトデアリマスルカラ、一般ノ會社ヨリハ幾ラカノロイ點モアリマシテ、思フ程デキバキ行カヌ點ハナキニシモアラズト思ヒマスガ、殊更ニ金ノ廻シ方ヲ少クシテ、支拂ヒヲ遅ラスヤウナコトハ、最近ニ於テハ致シテ居ラナイト私ハ考ヘテ居リマス、何カ特別ノ事例デモ御指摘デアリマシタラ更ニ御答ヘ致シマスルガ、大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、出シ口ヲ少クシテ流通ヲ惡クシテ居ルト云フヤウナ措置ハ、別ニ執ツテ居ラナイ積リデアリマス

○森田(福)委員 考ヘガ變ツタノナラバ私ハ具體的ノ事例ヲ持ツテ居ルガ、此ノ機會ニソシナコトハ申シマセヌ、アナタノ方デ今御答辯ニナツタ趣旨ヲ實際ニ實行シテ居ラレルナラバ、ソレデ結構デアリマス、サウデナカツタナラバ改メラレタイト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ソレカラ今日御承知ノヤウニ増産々々ト耳ニ聒ガ出來ル程聞イテ居リマスガ、果シテドノ程度ニ増産ガ出來テ居ルカト云フコトニ私ハ疑ヒヲ持ツテ居リマス、一番大藏省ノ關係デ今日産業界ノ困ツテ居ル點ハ、御承知ノ通り銀行ノ貸出シニ非常ナ制限ヲ御加ヘニナツテ居ルコトデアリマス、然ルニ近來有價證券ナドヘノ投資ニ付テモ非常ニ嚴重ニ、各普通銀行ハ大藏省ノ意ヲ體シテ行ウテ居ルノデアリマスガ、就中斯ウ云フコトガ大キナ妨害ニナツテ居ルコトヲ申上ゲマシテ、アナタノ方ニ何カ御考ヘガアルカ聽イテ見タイ、即チ近來有價證券

投資ト云フテモ統制會社ト云フモノガ洵ニ澤山出來タ、恐ラク一ツノモノヲ統制スル爲ニ全國ノ出來テ居ル會社ノ數ハ幾ラアルカ、大藏省ハ御承知デアリマセウガ、私共ハ知ルコトガ出來ナイ程澤山出來テ居ル、其ノ統制會社ノ株式ト云フモノハ大體何レカノ省若クハ府縣ガソレニ介在シテ會社ヲ作ルノデアリマスカラ、株券ヲ持切レナイヤウナ者ニモ相當ナ割當ヲシテ——寧ろ資格ノナイ者ニマデ其ノ株式ヲ引受ケシムル關係上、普通銀行ニ持ツテ行ツテ府縣ガロイ利イテ、其ノ株ニ金融ヲサセテ居ルノデアリマス、ソコデ普通銀行ハサウ云フ方面ニ大變ナ貸出シヲスル關係上、一般ノ増産方面、本當ニ必要ナ部面ニ持ツテ行ツテ貸付ケル資金ガ少クナツテ居ル、ソレヲ幾ラ要求シテモ預金ノ増歩ノ何「パーセント」ヲ新規ノ方ニ貸出ス、何「パーセント」ハ公債ニ振向ケテ行クト云フヤウナコトガアルノダサウデアリマシテ、是ハ又私ハ當然ダト思フ、所デ新規ノ方面ニ貸出ス資金ガ悉ク統制會社ノ運轉資金ト云フカ、統制資金ト云フカ、増産ニ關係ナイ方面ニ流レ込ムベキコトハ今日ノ場合私ハ喜バシイコトト思ハレナイ、此ノ統制ヲヤルノニハ必ズシモ會社ヲ作ツテ統制セヌデモ商業組合カ、工業組合即チ營利法人ニアラザル者ヲシテ、此ノ配給ナリ或ハ原材料ノ仕入ナリ、總テノ統制ハ行ヒ得ラレルノデアアルカラ、會社ヲ作ツテ株券ヲ製造シテ、其ノ株式ヲ普通銀行ニ官廳ガロイ利イテ資金ノ融通ヲサシテ行クト云フコトハ、一方ニ増産ヲ阻ンデ居ルト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ方面ニ對シテ大藏當局ハドウ云フ考ヘヲ持ツテ處シテ居ラレルノデアアルカ、率直ニ承リタイ

○谷口政府委員 統制關係デ色々會社ガ出來テ、御話ノヤウナ事情ノアルコトハ私モ多少承ツテ居リマスシ、又實際ノ事例モ承知致シテ居リマスガ、吾々ノ關シマスル限り、今日各金融機關ニ依リマスル所ノ國債ノ消化ニ付テハ相當重キヲ置イテ居リマスルガ、同時ニ又生産擴充ノ事業ニ對スル金融ガ國債ノ消化ト殆ド並ビ行ハレテ重要ナモノデアルト云フ考ヘ方ヲシテ居ルノデアリマシテ、是等ノ二ツノ點ノ金融ガ圓滑ニ行キマス上ニ、只今御話ノヤウナ問題ガ障礙ヲ生ズルト云フ事實ガ若シアリト致シマスレバ、是ハ適當ニ是正ヲシナケレバナラスト思ヒマス

(中村委員長代理退席、委員長着席)

私ノ考ヘテ居リマスル所ハ只今森田サンノ御話ニモアリマシタガ、統制會社ニ依ツテ資金ガ要ルト云フコトハ、直グニ生産力ノ擴充ニ貢獻スルカドウカ、ソレガ生産力ノ擴充ニ多少共妨害ヲナス時ニハ、サウ云フ所ニ資金ヲ廻サナイデ、他ノ方法デ統制ヲ行ツテ行ケバ宜シイノデハナイカ、是ハ私御同感デアリマス、吾々ノ行政方面ニ於キマシテモ只今御話ノヤウナ點ニ付キマシテハ不都合ノ生ジマセヌヤウニ國債ノ消化、利用資金ノ融通、サウ云フ最モ肝要ナ所ニ不便ノ生ジマセヌヤウニ、今後トモ能ク注意ヲシテ參リタイト左様ニ考ヘルノデアリマス

○森田(福)委員 ドウゾ其ノ點ニ關シテハ十分ニ調査ヲシテ、資金ヲ増産ノ方面ニ振向ケテ、増産ノ方面デナイ部門ノ統制ヲ執ルコトハ原料ノ仕入デアラウト販賣デアラウト、配給デアラウト、ソレハ必ズシモ營利法人デナクテモ出來ルノデアリマスカラ、

營利法人デ營マズニ、若シ運轉資金ノ必要
ガアルトスレバ、ソレコソ其ノ組合ニ對シ
テ金庫ガ取扱ツテ行ケバ、死シダ機關ヲ置
カズニ行カレルノデアリマスカラ、此ノ點
ヲ能ク御研究ヲ願ツテ、サウシテ現在ノア
ノ煩雜シテ居ル所ノ統制會社ニ對シテハ十
分ナル監督ヲ願ヒタイ、ト云フノハ、アナ
タノ方ガ此ノ統制會社ヲ許スコトニナツテ
居ル、商工省、農林省ガ獎勵シテモソレヲ
許可スルセヌノ考ヘハ大藏當局ニアルノデ
アリマス、ソコヲ研究ナサツテ善處シテ載
クコトヲ申添ヘテ置キマス

ソレカラ物品稅ノ問題、是ハ事務當局ノ御
答辯デ結構デアリマスガ、物品稅ガ増加スル
ダケハ直チニ物價ニ掛ケテ賣ツテ宜イト云
フガ、庫出稅ノ如キハ庫出ノ時ニ課稅ヲサ
レテ居ツテ、問屋ヤ小賣商人ノ手ニアル物
ニ對シテハヤハリ今日ノ高價増加シタ稅率
ハ掛ツテ居ナイ、掛ツテ居ナイカラ其ノモ
ノダケハヤハリ現在ノ價格ヲ以テ賣ルヤウ
ニ導イテ行クデアラウト思フガ、ソレハ
事實上困難デアルト云フカ知ラヌガ、其
ノ時コソ松村君ガ言ハレタヤウニ、印紙ナ
ンカラ貼ル方法ニ依ツテ取ツタラ出來ルノ
デヤナイカト思フ、サウ云フ方面カラ言ウ
テモ、從來煙草ハ勿論店ニ置ク物ガ比較的
少カツタカラ弊害ガ少イガ、今日ノ物品稅
ガ上ダダケノモノヲ直チニ上ダル點ハ庫
出稅デ濟ンデ居ルモノニ付テハ何カ準備ガ
出來テ居ルノデアアルカ、ソレトモヤハリソ
レダケハ商人ニ稅ト稱スル名前デ非常ナ臨時
利得ヲサシテ、利得稅ノ方デモソレヲ取
上ダル考ヘラ持ツテ居ルノデアアルカドウカ、
此ノ點ノ御用意ヲ聽キタイノデアリマス
○松隈政府委員 物品稅ニ付キマシテハ業

者ノ手許ニアリマスルモノニ付キマシテモ
一定額以上、例ヘバ商品別ニ二千圓以上ヲ
持ツテ居リマスレバ、其ノ分ニ付テハ見越
引取ニ對スル課稅ノ規定ヲ置イテ居リマス
ガ、ソレ以下ノ程度ノモノデアリマスレバ
理窟ハ正ニ物品稅ヲ掛ケテ取ツテモ宜イノ
デアリマスガ、非常ニ手數ガ煩雜デアリマ
スガ爲ニ、物品稅ヲ掛ケテ徵收スルト云フ
コトニハ致シテ居リマセヌ、此ノコトハ從
來物品稅ヲ増徴致シマスル場合ニ於テモ同
様ニ、或ル程度以上「ストロク」ヲ持ツテ居テ、
サウシテ稅ノ掛ツタモノノ如ク賣ル、是ハ
不當利得デアルカラ防ガナケレバナラナイ
ノデアリマスガ、勢ヒソコニハ限度ト云フ
モノガアリマスルノデ、今回モ大體前回ノ
例ニ慣ヒマシテ、第二種物品ハ各品名毎ニ
二千圓、餘其ノ他ハ一万斤、「サッカリン」
ハ三十「キロ」程度ヲ適當ナ標準ト認メテ、
ソレ以上ヲ持ツテ居レバ課稅スルケレド
モ、ソレ以下ノモノデアリマスレバ課稅シ
ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス

○森田(福)委員 ソレハ分ツテ居リマス
ガ、ソレハ一人ニ對スル問題デス、アナタ
ノ今答辯ナサツタノハ一ツノ店、一ツノ問
屋、一ツノ小賣ニ對スル限度デアツテ、ソ
レハ私ハ知ツテ居リマス、ソレガ私ハイカ
スト思フ、其ノモノガ全國的ニハ澤山ニナ
ツテ來ル、「トータル」スル時ニハ大變ナ數
ニナツテ來ル、其ノ點ハ小賣、問屋ヲ合シ
タ時ニハ大キナモノニナルノデアリマスガ
ラ、今ノヤウナ方法デヤラズニ安イモノハ
安ク賣ルト云フ用意ガナクナラヌスト云
フ意味デ質問シタノデアリマス
今一點酒ノ問題ガアルカラ大藏省ノ方ニ
尋ネテ置キタイ、増產ヲヤルト云フコトニ

ナツテ居ツテ増產ガ出來ナイ、殊ニ鑛物、或
ハ石炭デアルトカ、鐵鑛石デアルトカ、銅鑛
石ノ生産デアルトカ云フヤウナ方面ニ對シテ
酒ガ流レテ行カナイ爲ニ増產ガ出來テ居ラス
コトハ大藏省當局モ能ク御承知デラウト思
フ、吾々ハ實際經營ノ任ニ當ツテ増產ヲ獎
勵シテ歩クト、賃銀デアルナラバ闇ニナツ
テハイカヌ、何トカ合理合法的ニ増產ノ出
來ル方法ヲ圖レ、坑夫ノ入ル率ガ減ツテ居
ル、事變前ニハ二十四、五人ノモノガ今日ハ
十五、六人ニ落チテ來タコトハ監督ノシヨウ
ガ惡イカラダト叱言フ言フト、ソレハ賃銀
ヲ上ダテヤルコトモ要ラス、唯米ト酒ヲ十
分ニ廻ハシテヤツテ吳レレバ出來ルト言
フ、所ガ米ノ方ハ農林省ダガ、酒ノ方ハア
ナタノ方デ年々減シテ居ルカラ、此ノ方
面デ相當増產ヲ阻ンデ居ル、此ノコトニ付
テモ適當ニ考慮セラレタイト私ハ思フ
ソレカラ稅ノコトニ付テ缺陷ナドヲ拾ウ
テ行ケバ片ツ端カラアルシ、明日ノ日ニモ
此ノ上又大キナ戰爭ヲ始メヨウト云フ場合
デアルカラ、一々合理合法的デアルコトハ
ムヅカシイト思フ、ダカラ拙速デ宜シイ、
ソレハ缺陷ハ澤山アリマス、合理合法的ニ
出來ナイ所ハ澤山アルガ、ソレハ時間モア
リマセヌシ、斯ウ云フ場合ダカラ申上ダマ
セス、唯國民カラ取ツタモノヲ政府ノ方ヘ
其ノ儘納マルヤウニナルコトニ付テハ政府ニ
責任ガアリマス、今ノ主稅局長ノ御話ノヤ
ウニ、是カラボツ「教育」シテ取立テテヤ
ラウト云フコトデハ間ニ合ハナイ、是ハ即
刻取上ダル手段方法ヲ考ヘテ、少クトモ納
メタ人間ガアルノニソレガ手ニ入ラヌト云
フヤウナコトガ一人デモナイヤウニ嚴重ナ
處置ト監督ヲサレタイ、尙ホ稅ニ對シテハ

私ハ從來國民ガ稅ヲ負ヒ過ギルコトヲ主張
シテ居ツタ一人デアルガ、斯ウ云フ時局ニ
ナツテ來タ以上ハ、恐ラク私ハ此ノ増稅ニ
對シテモ一人モ反對スルモノハアルマイト
思フケレドモ、折角取ツタモノガ有效適切
ニ使ヘナイヤウニナツテハ大變ダカラ、其
ノ點ハ政府デ十分ニ注意ト考慮ヲ加ヘテ、
此ノ稅制ヲ實行スレバ宜イト思フノデアリ
マス、是デ私ハ質問ヲ打切ト致シマス
○松隈政府委員 只今森田委員ノ御述ベニ

ナリマシタ生産力擴充ノ必要ノアル炭坑、
鑛山其ノ他ノ工場勞務者ノ方面ニ、酒ノ廻
リ方ガ不十分デアルト云フ御話ハ確カニ、サ
ウ云フ傾向ハアルヤウデゴザイマス、ソレデ
是ガ對策ト致シマシテハ大藏省ニ於キマシ
テ酒類ノ特別ナ配給計畫ヲ立デマシテ、只今
申上ダタ方面ニ付テハ特配ヲ行ツテ居ルノ
デアリマスガ、御承知ノ通りニ米穀政策ノ關
係カラ米ヲ酒ニ使フコトガ制限サレマシタ
ノデ、清酒ノ増產ガ思フヤウニ出來ナイ、
ソレカラ合成清酒ニ付テハ原料ニ使用スル
諸ハ餘分ニ參リマシテモ、中々急激ナ増產
ヲ困難トシマスル事情ガアリマスルノデ、酒
類ノ供給ニ付テハ中々思フニ任セナイノデ
アリマスガ、其ノ中カラモ御示シノヤウナ方
面ニハ、出來ルダケ配給ヲスル必要ガアル
ト認メテ、今回十一月ノ一日カラ政府ハ新機
構ニ依リマシテ酒類ノ配給ヲ計畫實施致シ
テ居ルノデアリマスガ、ソレニ依リマスレ
バ、從來系統ノ比較的紊レテ居リマシタ點
ヲ整理致シマシテ、家庭用酒トソレカラ業
務用酒トノ徑路ヲ分ケテ流スコトニ致シマシ
タノデ、從來料理店其ノ他ノ方面ニ多分ニ
流レテ居ツタモノガ是正サレテ、家庭用ニ
廻ルト云フ點カラ、職工或ハ農山漁村民ニ

廻リマスル分が相當増エルト思ヒマス、ソレカラ此ノ配給計畫ノ中ニ於キマシテ、從來カラ考ヘテ居リマシタ炭坑、鑛山、軍需工場其ノ他ノ方面ニ於キマスル分ハ特ニ之ヲ別ニ留保致シテ置イテ、其ノ配給ヲ出來ルダケ圓滑ニスルト云フ風ニ心掛ケテ居リマスルノデ、從來ヨリハ相當改善サレル積リデ居リマス、最後ニ御注意ノアリマシタ國稅トシテ徵收サレタモノガ途中で消エテシマフト云フヤウナコトノナクナルヤウニ、政府ハ最善ノ努力ヲ盡スベシト云フコトニ付キマシテハ、御尤モナ次第デアリマスルカラ、當局トシテ出來ルダケノ方策ヲ講ジテ、御趣旨ニ副フヤウニ努メテ参リタイト思ヒマス

○櫻井委員長 渡邊玉三郎君

○渡邊(玉)委員 同僚各位カラ詳細御質問ガアリマシタノデ、重複シナイヤウニ御尋ネスル積リデアリマスガ、若シ重複シマシタラ御注意ヲ願ヒマス、先ヅ臨時増稅案各項ニ依ツテ一應承ツテ見タイト思ヒマス、第一ニ「購買力ノ吸收、消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ此ノ際増加セントスル歳出ノ財源ノ一部ニ充ツル爲差當リ間接稅ヲ中心トスル臨時増稅ヲ行フコト」此ノ點ニ付キマシテ、果シテ消費ノ抑制ヲ圖リ、購買力ノ吸收ヲシ得ルデアラウカ、私ハ今回ノ間接稅ノ増稅ガ數箇月前カラ全國津々浦々ニ知レ互ツテ居ツタヤウニ思ヒマス、是ガ爲メ凡ユル物資物品ノ購買力ガ相當増加シテ非常ニ旺盛デアツタ、斯ウ云フ事實ヲ御認メニナルカドウカ、又今後ノ増稅ニ付キマシテ、斯ウ云フヤウナ問題ニ付テハドンナ心構ヘガアルカ、先ヅ此ノ點ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○松隈政府委員 政府ニ於テ間接稅ヲ中心トスル増稅案ヲ考慮中デアル、而モ或ル時期ニ實行スルガ如キ記事ノ出マシタコトハ事實デアリマス、ソレガ幾分購買力ヲ啖リマシテ、買溜メト云フヤウナコトガアツタカトモ存ズルノデアリマスルガ、御承知ノ通り現在ハ物資ガ總テノ方面ニ於テ比較的窮屈デアリマスルノデ、以前ノヤウニ自由ニ買ヒ漁ルト云フ自由ハ餘程制限サレテ居ルヤウニ思ハレマス、隨テ其ノ影響ハ比較的少カツタカト思フノデアリマス、尙ホ從來ノ例デアリマスルト、間接稅ノ増徴等ハ議會ノ再開劈頭ニ提案サレマスルノデ、要綱ハ其ノ前ニモ或ル程度分リ、ソレカラ提案サレマシテ實施サレマスルマデノ間ニ二月餘掛ルノデアリマスルガ、今回ハ臨時議會ニ提案シ、而モ會期ノ關係モ短カク、幸ヒニ議會ヲ通過致シマスレバ、至急實施致シタイト思ツテ居リマスルノデ、其ノ間期間ガ短イ關係上、從來ニ比スレバ其ノ點ノ弊害ハ餘程少クナツテ居ルヤウニ見受ケラレマス、隨テ此ノ案ノ實施ニ依ツテ購買力ノ吸收、消費ノ抑制ノ目的ハ相當達セラレルヤウニ考ヘテ居リマス

○渡邊(玉)委員 私ハ斯ウ云フ問題ニ付テ爭ハウトハ思ツテ居リマセスガ、事實ノ間題ハ、例ヘバ吳服物デアルトカ、或ハ商品ハ指摘致シマセスガ、前内閣時代カラ臨時議會ヲ開イテ増稅スルノダト云フヤウナ新聞記事等ガアリマシテ、私ハ是ガ爲ニ購買力ヲ寧ロ助長シタ、斯ウ云フヤウナ點ヲ増稅發表ヨリ來タモノトシテ遺憾ト思フノデアリマス、總テ國民精神ノ緊張ニ依ルト言ヒマシテモ、全般ニ互ツテ配給統制トカ指定生産トカガ行ハレテ居ナイ今日ニ於テ

ハ、其ノ點ニ付テハ十分御留意ヲ願フ必要ガアラウト思ヒマス、次ニ「國民精神ノ緊張、生活態樣ノ刷新ヲ圖ルノ必要及負擔力ノ關係等ヲ考慮シ奢侈的消費ニ對シテ可及的高率ノ課稅ヲ爲ス」此ノ點ニ付キマシテモ何等異議ヲ挿ム者デアリマセス、併シナガラ今日實際ノ狀況ハ、私ハ今朝九時頃東劇ノ前ヲ通りマス、午前九時ト云フノニ蜿蜒數町ノ列ヲナシテ切符ヲ買ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態カラ見テ、果シテ増稅ダケデ其ノ緊張ヲ圖ルコトガ出來ルカ、私ハ何カ他ノ考ヘ方ガナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテノ御答辯ヲ願ヒマス

○松隈政府委員 購買力ガ各方面ニ相當横溢シテ居リマスル事實ハ御示シノ通りノヤウデアリマス、演劇、興業等モ相當賑賑ヲ極メテ居リマス、今回ノ案ト致シマシテハ、入場稅ニ付キマシテハ相當引上率ヲ高ク致シタノデアリマスルガ、入場稅ノ引上ノミヲ以テ購買力ノ抑制ヲ圖リマスコトハ困難デアリマス、其ノ他遊興飲食稅、物品稅等ニ付テモ同様デアツテ、稅ニハ自ラ稅ノ分野ト云フモノガアリマスルノデ、稅ニ依ツテ購買力ノ吸收ヲ圖リマスル一方、ヤハリ國民ノ自覺ニ懇ヘル必要ガアリ、一方貯蓄目標ハ増大シ、増稅ヲ負擔スルケレドモ、貯蓄モ更ニ一層ヤツテ戴クヤウニシテ、兩々相俟ツテ購買力ヲ吸收スル、サウシテ物價政策ヲ維持ヲ圖リ、國家財政ヲ遂行ヲ圓滑ナラシムルト云フヤウナ工夫ノ要ルコトハ申スマデモナイト存ジマス

○松隈政府委員 購買力ガ各方面ニ相當横溢シテ居リマスル事實ハ御示シノ通りノヤウデアリマス、演劇、興業等モ相當賑賑ヲ極メテ居リマス、今回ノ案ト致シマシテハ、入場稅ニ付キマシテハ相當引上率ヲ高ク致シタノデアリマスルガ、入場稅ノ引上ノミヲ以テ購買力ノ抑制ヲ圖リマスコトハ困難デアリマス、其ノ他遊興飲食稅、物品稅等ニ付テモ同様デアツテ、稅ニハ自ラ稅ノ分野ト云フモノガアリマスルノデ、稅ニ依ツテ購買力ノ吸收ヲ圖リマスル一方、ヤハリ國民ノ自覺ニ懇ヘル必要ガアリ、一方貯蓄目標ハ増大シ、増稅ヲ負擔スルケレドモ、貯蓄モ更ニ一層ヤツテ戴クヤウニシテ、兩々相俟ツテ購買力ヲ吸收スル、サウシテ物價政策ヲ維持ヲ圖リ、國家財政ヲ遂行ヲ圓滑ナラシムルト云フヤウナ工夫ノ要ルコトハ申スマデモナイト存ジマス

○松隈政府委員 今回増稅ノ對象トナリマスル間接稅ノ課稅物件ニ付キマシテハ、間接稅ノ性質竝ニ今回増徴ノ趣旨カラ致シマシテ、増稅額ニ相當スル價格ノ引上ゲヲ認メルコトニ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ價格ノ改訂サレマスル品目ノ數ハ相當多數ニ上リマス、從來増稅ヲ實行致シマシタ場合ニ、其ノ増稅額ダケノ價格ノ引上ゲヲ認メルカドウカト云フ基本問題、及ビ認メルトシテ其ノ實行時期等ニ付テ協議ガ十分速カニ行ハレナカツタ爲ニ、多少ノ混亂ヲ來シタ事實ハアルヤウデゴザイマス、其ノ點ニ顧ミマシテ、今回ハ物品稅ノ品目ヲ選定致シマスルト共ニ、早速物價當局ニハソレノ連絡ヲ取リマシテ、當局ニ於テモ公定價格ヲ改訂スルト云フ準備ヲ晝夜急イデ實行ヲシテ居リマスルノデ、従前ノヤウナ不手際ハ餘程改正サレ、今回ハ御心配ノ

○渡邊(玉)委員 此ノ問題ハ何カ方法手段ガ種々アラウト思ヒマスガ、此ノ程度ニシマシテ次ニ移リマス、今次増稅ノ對象ト爲

過去ニ於テ税金ガ多クナリ、或ハ其ノ他正當ノ理由ニ於テ公定價格ヲ改訂スベキヲ怠リ、價格ヲ超ユル時ニ物價違反デアルト云フヤウナコトガアツタヤウデアリマス、即チ先刻御話ノアリマシタ増稅以前ノ手持チ二千圓マデハ手持者商人ノ利益トシテ宜イノダ、斯ウ云フ御答辯デアリマシテモ、事實ニ於テ物價ノ御取締ノ上ニ於テハ左様ナコトガアリハシナイカト云フコトヲ慮リマシテ、尙ホ十分御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

ヤウナコトガナクテ済ムデアラウト考ヘテ居リマス

○松隈政府委員 尙ホ御尋ネシマスガ、二千圓ト云フ手持ハ、商品別デアルト云フヤウナ御答辯ノヤウニ聽キマシタガ、サウスレバ幾ツカ重ネマスト數万圓ノ手持ガアツテモソレハ差支ヘナイト云フコトニナルノデアリマスガ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 第二種物品ハ、各品名毎ニ二千圓ニ達シナイ手持ハ強ヒテ此ノ際追ツ掛ケテ課税スルト云フコトハ致シマセヌガ、其ノ品名毎ト申シマスノハ、法律ニ列舉シテアリマスル物品税ノ各號ニ付テ言ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ號ノ違ツタ種類ヲ澤山抱ヘ込シテ居ルモノハ、特別ノ物以外ニハ先ヅ考ヘラレナイ、殆ドナイト言ツテモ宜イノデハナイカト思ヒマスノデ、其ノ點ノ御心配ハ左程憂慮シナクテモ宜イノデハナイカト思ツテ居リマス

○渡邊(玉)委員 一寸質問ガ別ニナツテ來マスガ、織物消費税ノ徵收事務補助ガ、組合ノ改廢等ニ於キマシテ形ガ變ツテ來ルノデアリマス、即チ從來ニ於テハ同業組合トカ、或ハ工業組合トカ、サウシタ團體ガ徵收事務補助團體トナツテ居ツタヤウデアリマスガ、ソレノ解體等ニ依リマシテ或ル申合團體等ガ出來マシテ、之ニ依ツテ徵收事務ヲ取扱ヒタイト云フヤウナ場合、ナゼサウナルカト申シマス、何處ノ府縣デモ工業組合ガ改組セラレ、府縣單位ニナルノデアリマスガ、地方々々ノ稅務署關係ノ取扱リシテ居ル部面ガ所謂申合團體トナルノデアリマス、サウ云フモノノ取扱事務、徵收事務ノ補助ヲ取扱ヒ得ルカドウカ、サウ

シテソレニ國庫交付金ヲドウ云フ形式デ御渡シニナルカ、之ヲ承リタイト思ヒマス

○松隈政府委員 只今マデデハ工業組合或ハ同業組合等ニ於キマシテ、共同ノ査定場ヲ設ケマシテ、織物消費税ノ査定ノ補助事務ヲ扱ツテ居ルト云フ場合ニ於キマシテ、其ノ工業組合、同業組合ガ、場合ニ依ルト全縣下一圓ノ組合ニ統合サレルト云フヤウナコトガアリマシテ、其ノ場合ニ於テ共同査定場ヲ全縣下一圓ノ組合等ニ含ムコトガ無理デアルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、只今御話ノヤウニ申合團體、其ノ申合團體ノ作り方ニモ色々アルト思ヒマス、場合ニ依ツテハ財團法人ノヤウナモノモ考ヘラレカトモ思フノデアリマスガ、サウ云フ申合團體ガ從來ノ共同査定場ヲ引繼イデ、國庫ニ於テ徵收事務ノ補助ヲシヨウト云フコトデアリマスルナラバ、弊害ノナイ限リハソレヲ認メマシテ、ソレニ對シテ織物消費税ノ徵收、交付金ヲ與ヘルト云フコトモ考ヘラレルトコトデアルト存ジテ居リマス

○渡邊(玉)委員 只今ノ御答辯デハ最後ノ言葉ニ考ヘラレルト云フコトデアリマスガ、明瞭ニ、宜イ惡イト云フコトヲ一ツ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 申合組合ニ對シテハヤリ得ルト云フ解釋ニナツテ居リマスルカラ、先程申上ダク答辯デ御諒承願ヒマス

○渡邊(玉)委員 御答辯デ満足シマシタ、ソレカラ今増税ハ議會通過後成ベク速カニ之ヲ實施スルコト、此ノ速カト云フコトハ十二月一日デアリマスガ、或ハ物ニ依ツテ違フノデアルカ、更ニ參考資料トシテ戴キマシタ中ニハ、酒トカ「ビール」等ハ地方ニ依ツテ小賣値段ガ二重價格ニナツテ居リ

マスガ、是ハ是正スル意思ガアルカ、又ドウ云フ必要ガアツテ二重價格ニスルカ、相當是ニハ必要ト弊害トガ相伴フト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス

○松隈政府委員 今次増税案ハ議會ヲ通過致シマスルナラバ、附則ニモ明記シテアリマスル通り、通行税ヲ除イテハ十二月一日カラ施行スル筈デゴザイマス、通行税ニ付キマシテハ準備ノ關係モアリマスルノデ、少シク遅レマスケレドモ、出來ルダケ早イ機會ニ實施致シタイト存ジマシテ、關係方面ト協議中デアリマス

次ニ酒ニ付キマシテハ現在地方ニ依リマシテ二重價格制ガアルコトハ御指摘ノ通りデアリマス、酒ノ販賣價格ノ改訂ノ問題ハ、今回増税セラレマシタ金額ヲ價格ニ加ヘマスル問題ト、配給機構ノ整備ノ結果價格ヲ改訂致シタイト存ジマスル問題ト二ツガ絡ンデ居リマシテ、何レ近ク改正ヲ致シタイト思ヒマシテ、關係當局間ニ協議中デアリマスルガ、若シ十二月一日マデニ合ハナイト致シマスレバ、差當リ増加セラレタ増税額ダケ從來ノ價格ニ加算シ得ルコトニ致シマス、全般ノ問題トシテ二重價格制ヲドウスルカ、モウ一層合理的ナ變更ヲ加ヘルカト云フ問題ハ、十分ニ研究シテカラ實施致シタイト思ツテ居リマス

○渡邊(玉)委員 御研究ト云フコトデアリマスカラ餘リ多ク追求致シマセヌガ、二重價格制ニ依リ、寧ろ都市ニ物ガ集マリ過ギル、或ハ大都市ノ附近ノ小都市デハ少シモ物ガ集ツテ來ナイト云フノデ、非常ニ困ツテ居ル小都市ガアルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、十分御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、第六項ニ直接税ノ増

徴ニ付テハ次ノ通常議會ニ提出スルコト、是ハ同僚議員カラモ御質問ガアリマシタガ、此ノ御方針カラ言ヒマス、間接税ハ次ノ議會ニハ提出シナイト云フヤウニ取レマスルガ、松隈主税局長ノ御答辯デソコハハツキリシテ居ナイ、指摘シテ申上ダマスガ、織物消費税ノ如キモノハ増徴スル意思アルヤ否ヤ御答辯願ヒマス

○松隈政府委員 酒ニ付キマシテ二重價格制ヲ採用スル結果、都市及ビ小都市ニ酒ガ集マルケレドモ、其ノ以外ノ地域ニ集マリ方ガ惡イト云フ御注意デアリマスガ、今回酒類配給機構ガ整備サレマシテ、地方ニ府縣知事ヲ會長トシマスル酒類配給協議會ガ設ケラレマシテ、地方ノ實情ニ適スル配給計畫ヲ立デルヤウニナリマシタノデ、其ノ點ニ付テハ、從來ヨリモ相當改善サレルトト思ツテ居リマス、ソレカラ直接税ノ増徴等ニ付テハ次ノ通常議會ニ提案スルコトトシテ、方針ニ謳ツテアルノデアリマスルガ、直接税以外ハ全然ヤラスカト云フト、ソコマデ肯定シテ居ル譯デハゴザイマセヌデ、間接税、流通税等ニ付キマシテモ、適當ナ稅目ガアリマスレバ増徴ヲ考ヘテモ差支ヘナイ、ソレダケノユトリハ尙ホ茲ニアルモノト思ツテ居ルノデアリマス、御指摘ノ織物消費税ヲ上ゲルカドウカト云フコトハ、今回ハ物品税ヲ引上ゲマシタノデ、織物消費税マデ引上ゲルト云フコトハ、織物ニ對スル課税ガ重過ギルヤウニ感ジタノデ、差控ヘタノデアリマスルガ、將來ハツキリ引上ゲナイト明言ハ出來兼ネマス、ソレ等ノコトハ直接税増徴案ノ出來方、客觀情勢ノ如何等ニ依ツテ決マツテ參ルノデハナイカト思ツテ居リマス

○渡邊(玉)委員 尙ホ御答辯モアツタヤウデアリマスルガ、財産稅トカ賣上稅ト云フモノハ、別ニ設ケル、御考ヘハナイト見テ宜イノデアリマス、其ノ次ニ、昨年ハ企業合同ニ依リマシテ、其ノ合同體ニハ昭和十六年度ノ租稅ガ自然免除セラレ結果ニナツテ居ル、然ルニ今ヤ國家ノ要請ハ益、企業合同、合理化ガ急務デアリマシテ、茲ニ企業合同トカ、國家ノ要請ニ依ツテ合同ヲシテモ、本年カラ其ノ特典ガナインダ、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、何トカ考慮スベキモノデナイカ、例ヘバ昨年十二月末日マデニ企業合同ガ成ツタモノハ、本年ハ全ク「ボナナス」的ニ國稅ハ負擔セヌデモ宜イ、然ルニ今廢業スル人ハ當然昭和十七年度モ稅ヲ負擔シテ行カナレバナラス、或ハ來年一月ニ成ツタ人ハ更ニ十八年度マデ稅ヲ負擔セネバナラスト云フコトニ付キマシテハ、餘リニ其ノ跋行ガ多過ギルト思ヒマス、カ、國家ノ爲ニ忍ビデ合同シタ、此ノ點ニ付キマシテ、政府ノ御同情アル御考ヘヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○松隈政府委員 財産稅並ニ賣上稅ヲ創設スルカドウカト云フコトハ、相當大問題デアリマス、我ガ國ニ未ダ採用サレナイ稅目トシテ將來考慮サレル稅目ノ中ニ、賣上稅、財産稅ガ其ノ有力ナモノデアルトハ事實デアリマスガ、何時之ヲ實施スルカト云フヤウナコトハ、財政事情ノ變化各種經濟事情ノ變化等ニ依ツテ定ムベキ問題デアリマシテ、事務當局トシテハ、是等ノ案ニ付テハ絶エズ研究ヲ續ケテ居ルト云フ程度シカ申上ゲラレナイ譯デアリマス

マスガ、昭和十五年中ニ企業合同ニ依ツテ廢業致シマシタ者ハ、成程御示シノ通り所得稅ヲ課稅シテ居リマセヌ、是ハ渡邊委員ノ既ニ御承知ノ通り特別ノ規定デアリマシテ、從來ノ所得稅ノ課稅方法ヲ實績主義ニ改メタ爲ノ特別規定ガ、偶、其ノ年ニ合同ノ結果廢業シタ者ニ取ツテハ、合同ノ恩典或ハ特典デアツタカノ如キ作用ヲシタノデアリマスガ、元々實績課稅ニ改メタガ爲ノ經過的ノ特別規定デアリマスル爲ニ、其ノ後ノモノニ對シテハ同様ノ規定ノ適用ハナイコトニナツテ居ルノデアリマス、隨テ昭和十六年、十七年ニ企業合同ノ廢業シタ者ニ付テハ、實績ノアリマスル限り稅ハ取ル、斯ウ云フ建前ニ變リハナイノデアリマス、唯將來ノ問題トシマシテ、段々企業合同ガ進シデ參リマシテ、企業合同ニ依ツテ廢業致シマシテモ、前年ノ實績ガアレバ課稅スルト云フ、其ノ方針ヲ何處マデモ貫イテ行クト云フコトニナリマス、時ニ酷ナ場合ガアリ、殊ニ今後ニ於テ直接稅ノ増徴ト云フヤウナ問題ガ起ツテ來レバ、是等ノ點ニ付テハ十分ニ研究ハ致シテ見タイト思ヒマスルケレドモ、今直チニ合同ニ依ル廢業ニ對シテハ、免稅ノ取扱ヲスルト云フ所マデハ斷言致シ兼ネル次第デアリマス

○松隈政府委員 産業組合トカ商業組合ヲ俗ニ中間法人ト云ツテ居リマス、是ハ俗稱デアリマス、其ノ意味スル所ハ、普通ノ營利法人ハ營利ヲ目的トシテ活動スルモノデアル、之ニ反シテ公益法人ハ公益目的ヲ營

利目的ハナイ、所ガ産業組合、商業組合ハ其ノ所屬團體員ノ共同ノ福利施設ヲスル、隨テ利益スル者ハソコニ入ツテ居ル團體員ダケデアリマス、併シ特定ノ人デハアルケレドモ、多數ノ人ノ利益ヲ圖ルト云フ所カラ公益性ヲ帶ビサシテ居ル、併シ不特定ノ多數ノ人ニ對シテ與ヘル所ノ公益トハ違ヒマス、中間法人ト云フヤウナ風ニ呼ビ慣シテ居ル次第デアリマス

○松隈政府委員 工業組合、商業組合ハ先程申シタヤウニ、所謂中間法人トモ稱スベ

キモノデアリマス、ノデ、營利法人ニハ法人稅、臨時利得稅等ガ課カルノデアリマスガ、之ニハ特別法人稅ヲ課シテ居ル譯デアリマス、商業小組合、工業小組合ニ付キマシテハ、共同經營ヲスルト云フ點デ幾分ノ性質ノ差ヲ認メテ居ルノデアリマシテ、之ニ付テハ普通ノ法人稅ト臨時利得稅ヲ課ケテ居ル次第デアリマス、ソレカラ産業設備營團ニ付テハ、御質問ノ點ヲ一寸了解致シ兼ネタノデアリマスガ、モウ一度御願ヒテ致シマス

○松隈政府委員 組合自ラノ設備デアリマシテモ、産業設備營團ニ吸收サレテ、産業設備營團ノ運營ニ依ツテ入ツテ參リマスル收入デアツテモ、組合ニ取ツテハ大體同ジニ見テ差支ナイヤウニ存ジテ居リマス

○谷口政府委員 只今ノ御尋ネハ、公債ノ發行高モ年々多キヲ加ヘテ參リマシテ、又事變前ニ比ベマシテ、最近ニ於ケル所ノ日本銀行兌換券ノ發行高ハ、三十億ヲ超エテ増加シテ居ルヤウナ狀況デアリノデアリマスルガ、ソレ等ノ狀況ヲ御覽ニナリマシテ、今後何カ別ノ考ヘ方ガアルカト云フヤウナ御趣旨ノ御質問カト拜承致スノデアリマスガ、國債消化等ニ付キマシテハ、事變當初ノコトト思ヒ比ベテ見マス、段々其ノ消化ノ方法ニ付キマシテ、之ヲ統制化ト申シマスカ、計畫化ト申シマスカ、各種金融機關ノ受持高ニ付キマシテハ、大分計畫化ト云フコトガ進ンデ來テ參ツテ居ルノデアリマス、大體ノヤリ方ト致シマシテハ、事變以來何等變ツタ所ハナイノデアリマスガ、金融機關ニ對スル割當ノ計畫化ト云フコトガ、大體從來ヨリハ形ヲ成シテ參ツタノデアリマス、尙ホ其ノ他資金ノ蓄積ニ關シマシテハ、事變開始當初ニ比ベマシテ、大分色々ノ方面ニ強化サレタノデアリマス、最近ニ於キマシテハ御記憶ノ通りニ國民貯蓄組合、斯ウ云フモノニ依リマシテ資金ノ蓄積ヲ致スト云フコトニ運ンデ參ツタノデアリマス、此ノ資金ノ蓄積又ハ國債ノ消化ト申シマスヤウナ事柄ハ、是ハドウシテモヤハリ大體ガ粒々辛苦ヲ趣旨トスベキ事柄デアルト思フノデアリマシテ、是等ノ方面ニ於キマシテ、從來ト斷然變リマシタヤウナ新シイ趣向ヲ以チマシテ、場面ガスツカリ變ルト云フヤウナコトハ、今日ニ於テハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、從來ノ方法ニ更ニ力ヲ一層加ヘマシテ努力ヲスル、新シイ方向デナシニ、大體從來ノ方向ニ依リマシテ、ソコニ努力ヲ加ヘテ行カウ、斯ウ云

フ考ヘ方ヲ致シテ居ルノデアリマス、大體左様ニ御承知ヲ願ヒマス

ドウカ、斯ウ云フ點ニ付キマシテ大臣ノ御答辯ヲ承リタイト思ヒマス、國ノ興亡ヲ賭シテ戰フニ際シマシテ、唯産業方面ニハ勞務動員ヲシテ、之ヲ平和産業視シテ窮屈ニスル、片方ハ税金デ縛ツテ自然ト少クナルヤウニ、税ニ依ツテソレヲ整理サセヨウト云フコトハ、私ハ殆ド目的ヲ達シ得ナイノデヤナイカ、稅收入ハ豫算ヨリ必ズ大増收ニナルト思フノデアリマスガ、御方針ガ不徹底デアル、此ノ點ニ付キマシテ明快ナル御答辯ヲ要求シマス

モ、遠慮シマシテ、大臣ノ御都合モアルヤウデスカラ、他ノ方ニ大臣ニ對スル質疑ノアル方ガアリマスレバ先ニ……

○渡邊(玉)委員 ドウモハツキリシマセヌガ、此ノ問題ハ次ノ機會ニ讓ルコトニシテ、大臣ガ見エラレマシタノデ、更ニモウ一點ダケ大臣ニ承ツテ置キマス、購買力ノ吸收到消費ノ抑制ヲ圖ルト云フ方面ニ付キマシテハ、此ノ増稅ダケハ足りナイコトハ勿論デアリマシテ、精神ノ緊張、生活ノ刷新ヲ圖ルコトハ、御當局ノ御答辯ヲ聽クマデモアリマセヌ、其ノ方法實行ヲ承リタイ、而シテ今日マデノ遊興飲食稅、或ハ物品稅、織物消費稅等ヲ資料ニ依ツテ計算致シマス

○賀屋國務大臣 御質問ニアリマス如ク、此ノ稅ダケデ總テノ吸收スベキ購買力ヲ吸收スルト云フコトハ不可能デアリマシテ、國民貯蓄ノ増強、大イニ此ノ方面ニモ意ヲ用ヒナケレバナラヌコトハ申スマデモナイノデアリマス、又只今ハ遊興ノ場合ニ於ケル「サービス」ヲ致シマス者ニ付テノ勞務動員ノ御話デアリマスガ、是ハ今回稅ノ方面デ非常ナ高率ノ稅ヲ取りマスガ、一方國民ノ勞力ヲ戰時下ノ要求ニ應ズベク最も合理的ニ配分スルト云フコトヲ、是デ止メテモ宜シイ、稅ダケデヤルト云フ考ヘデハナイノデアリマス、ソレハ又其ノ方ノ見地カラ致ス次第デアリマス、唯私ハ今所管ガ違ヒマスノデ、サウ云フ婦女女子ニ對シテ、ドウ云フ勞務ノ強制ヲ致スカ、此ノ點ニ付キマシテハ、只今私トシテハ御答ヘ申上ガ兼ネル譯デアリマス

○小山(倉)委員 チョツト私ハ簡單ニ大臣ニ……

○櫻井委員長 松村君、ドウゾ大臣ニ留保セラレマシタ質疑ヲ……

○櫻井委員長 松村君、ドウゾ大臣ニ留保セラレマシタ質疑ヲ……

○小山(倉)委員 先程政府委員ニ質問申上ダタノデスカ、或ハ關聯ガナイコトヲ申上ダルカモ分リマセヌガ、一寸此ノ點ヲ御聽取ヲ願ヒタイノデス、先程政府委員ノ御答辯ニ依リマス、此ノ點大ナル資金ヲ撒布スルノデアルカラ、其ノ税金ガ結局相當入ツテ來ルデアラウ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、私ノ御質問申上ガマシタ趣旨ハ、段段産業ガ國策會社、組合ト云フモノニ統合サレテ行ク、ソレカラ遊休設備或ハ未動設備百億圓ト云フモノヲ活用スルカドウカ分ラヌ、中小商工業者ハ整理統合サレ、地方デハ極ク小サナ商賣モ或ハ組合、殊ニ近來ハ組合カラ變ツテ會社トナツテ居ル、サウ云フヤウナ工合ニ國民ノ資源ガ殆ド國家ニ統合サレテシマフ、稅ノ目的ハ或ル程度マデ個人ノ企業、個人ノ資本ノ運用ト云フモノガ認めラレテ居リマスガ、ソレガ段々統合サレテ來ルト、税金ヲ何處カラ取ルカ非常ナ大キナ方面ニ厖大ナル資金ガ撒布サレマスルガ、ソレハ大體大キナ富ノ偏在ガ出來ル、其ノ方面カラ取上グルヨリハ、一般大衆ノ大體分類稅カラ取レルモノガ私ハ多イト思フノデアリマスルガ、サウ云フモノガ破壊サレルト云フコトニナツタラバ、結局國家ハ大資本ト、多クハ月給取カ、然ラザレバ勞働者、サウ云フ者カラ集メルト云フコトニナルト、結局間接稅ガ主トナツテ、直接稅ノ方ガ從トナリハシナイカ、

○松村(光)委員 私ハマダアリマスケレド

○櫻井委員長 松村君、ドウゾ大臣ニ留保セラレマシタ質疑ヲ……

○小山(倉)委員 先程政府委員ニ質問申上ダタノデスカ、或ハ關聯ガナイコトヲ申上ダルカモ分リマセヌガ、一寸此ノ點ヲ御聽取ヲ願ヒタイノデス、先程政府委員ノ御答辯ニ依リマス、此ノ點大ナル資金ヲ撒布スルノデアルカラ、其ノ税金ガ結局相當入ツテ來ルデアラウ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、私ノ御質問申上ガマシタ趣旨ハ、段段産業ガ國策會社、組合ト云フモノニ統合サレテ行ク、ソレカラ遊休設備或ハ未動設備百億圓ト云フモノヲ活用スルカドウカ分ラヌ、中小商工業者ハ整理統合サレ、地方デハ極ク小サナ商賣モ或ハ組合、殊ニ近來ハ組合カラ變ツテ會社トナツテ居ル、サウ云フヤウナ工合ニ國民ノ資源ガ殆ド國家ニ統合サレテシマフ、稅ノ目的ハ或ル程度マデ個人ノ企業、個人ノ資本ノ運用ト云フモノガ認めラレテ居リマスガ、ソレガ段々統合サレテ來ルト、税金ヲ何處カラ取ルカ非常ナ大キナ方面ニ厖大ナル資金ガ撒布サレマスルガ、ソレハ大體大キナ富ノ偏在ガ出來ル、其ノ方面カラ取上グルヨリハ、一般大衆ノ大體分類稅カラ取レルモノガ私ハ多イト思フノデアリマスルガ、サウ云フモノガ破壊サレルト云フコトニナツタラバ、結局國家ハ大資本ト、多クハ月給取カ、然ラザレバ勞働者、サウ云フ者カラ集メルト云フコトニナルト、結局間接稅ガ主トナツテ、直接稅ノ方ガ從トナリハシナイカ、

若シ直接稅ニ重點ガアツタトシテモ、ソレハ分類所得稅ヲ取ルニ過ギナイ、後ハ極ク偏在シタ大キナ富ヲ集メルニ過ギナイ、大キナ富カラ取り得ルモノハ少イ、斯ウ云フヤウナコトヲ質問申上ゲタノデアリマスガ、大臣ハ如何ニ御考ヘデアリマスカ、ヤハリソコハ稅制ヲ根本的ニ建直スベキ時期ニ達シテ居ハシナイカ、或ハサウ云フ時期ヲ招來シハシナイカト云フ考ヘヲ持ツテ申上ゲテ居ルノデアリマスガ、大臣ハ如何ナル御意見ヲ御持チニナリマスカ

○賀屋國務大臣 只今ノ御質問ハ將來ノ經濟ノ傾向、竝ニ財政ノ將來ノ體系ニ付キマシテ、洵ニ深い御省察ノアル御質問ダト存ジマス、唯サウ云フ場合ニ、尙ホ大資本家ト云フモノガアリマシタ場合ノ大資本ト云フモノガ非常ニ殖エマス爲ニ、中位ノモノガ或ハナクナツテ、大キナ資本ト云フモノガソコニアリ、其ノ額ハ殖エ、今ヨリ遙カニ大キクナルカモ分ラヌ、併シドウ云フ企業形態ニナリマシテ、負擔ガドウナリマスカ、現在ノ如ク統制經濟ノ端緒ニ就イタダケデ、而モ是ハ國內ノ體制ノ整備ト言ヒナガラ、今ノ時局ノ要求ニ應ズルコトヲ急務ト致シタ體系ノ整備カラ言ヒマス、ドウナルカ中々分ラヌ、目前ハ只今御話ガアリマシタヤウニ、色々遊興飲食稅デモ豫想ヨリモウント取レル、其ノ他物品稅モ取レテ、相當分類所得稅ダケヲ納メルニ致シマシテモ、其ノ上ノ方ダケ綜合所得稅ヲ納メルダケニシマシテモ、中々其ノ他ノ收入ガアル譯デアリマス、唯ソレガ非常ナ經濟計畫及ビ其ノ統制デ、配給ガ全ク合理化サレテ參リマス、或ハ御說ノヤウニナルカモ知レマセヌガ、只今ノ所ノ見透シデ何時サウナ

ルカ、果シテナツタ場合ニドウ云フ形態ニナルカ、是ハマダ私共見透シガ付キマセヌ

○櫻井委員長 水谷君

○水谷委員 極ク簡單ニ大臣ニ直接御聽キシタイノデスガ、來年ノ直接稅ノ増徴ニ關シマシテ、先ニ大臣ハ今度ノ間接稅ノ平年度増徴六億三千万圓ニ多少動キガアルト云フコトト、主トシテ分類所得稅ガ中心ニナルト云フヤウナ御說ガアリマシタガ、ソレ以上ニモウ少し來年ノ直接稅ノ増收ニ關シテノ輪廓ヲ具體的ニ御示シテ願ヒタイノデスガ……

○賀屋國務大臣 綜合所得稅、法人稅、臨時利得稅ト云フモノハ、ヤハリ分類所得稅ニ次ギマシテ主ナル問題ニナツタヤウニ思ツテ居リマス、尙ホ研究中デゴザイマスカラ、只今トシテハ洵ニ不十分ナ御答ヘヲ申上ゲル外ナイノデアリマス

○水谷委員 モウ一點、大藏大臣ハ最近京都ニオイデニナツタ時ノ新聞紙上デ承ツタ所ニ依ルト、直接稅ハ來年增收ヲスル、併シナガラ生産力ノ擴充其ノ他ニ關シテハ、聯合シテ技術的ニ考慮スルト云フヤウナ御談話ヲ見タト思フノデス、之ニ關聯シテ、或ハ其ノ生産方面經濟團體或ハ金融資本家ノ方カラ生産力擴充ニ名ヲ藉リテ、寧ロ逆ニ稅ノ輕減ヲ要求シテ居ル點ガアリ、又其ノ金融資本家ノ方デモ預金ノ増勢ガ鈍ツタコトヲ理由ニシテ逆ニ稅ヲ減額シテ貰ヒタイト云フヤウナ要求ヲ聞イテ居ルノデアリマス、ソレト大臣ノサウ云フ生産力擴充方面其ノ他ニ關シテハ増稅ニ於テモ多少ノ技術的考慮ヲ拂フト云フコトカラ合セ考ヘマスト、サウ云フヤウナ特殊ノ直接稅ニ關シテハ逆ニ減稅ガ行ハレルノデハナイカト云

フヤウナ疑ヒガ起ツテ居ルノデアリマス、マサカサウ云フコトハナイト思ヒマスガ、來年ノ直接稅ノ増稅ニ當ツテハ逆ニ減稅サレルヤウナモノガアルカナイカ、其ノ點ヲハツキリ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 只今考究中デアリマスカラ申上ゲ兼ネマスガ、逆ニ減稅サレルヤウナモノハ先ヅ餘リナイト思ヒマス、併シ生産力ノ擴充、殊ニ長期ニ安定シタ資金ノ蓄積ト云フコトハ、何シロ戰時中ニ於キマシテ絕對ノ急務デアリマス、或ハ業者ノ利己的ノ要求トカ、サウ云フヤウナ見地カラハ私ハ決シテ同意スル考ヘハゴザイマセヌケレドモ、政策トシテ必要ナルモノハ、是ハ致シテ參リタイト思ツテ居リマス

○櫻井委員長 一點ダケ少シ氣ニナル所ガアリマスカラ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、政府ハ奢侈的消費ニ對スル課稅ニ依ツテ國民精神ノ緊張ト生活態度ノ刷新ヲ圖ルト云フコトヲ表現シテ居ラレマスガ、物ヲ取ルコトニ依ツテ國民ノ精神狀態ヲ改メサセルト云フ此ノ考ヘ方ハドウ云フモノデアリマセウカ、私ハ結果ニ於テハ政府ノ此ノ表現ノ如キコトハアリ得ルト思ヒマスケレドモ、國民精神ノ緊張トカ生活ヲ改メサセルトカ云フコトハ、國家ハ別ノ指導力ニ依ツテナサレテ、税金ヲ取り、物ヲ取ツテオ前ノ精神ヲ改メロト云フヤウナ表現ハドウ云フモノカト考ヘマスガ、之ニ對スル大藏大臣ノ御見解ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス

ノヤウナ稅種ノ選擇及ビ稅率ノ盛り方カラ考ヘ、サウシテ此ノ時局ヲ考ヘ合セマスナラバ、斯ウ云フヤウナ消費ハ少クトモ奢侈的ノモノデアアル、普通ナラバ汽車ノ一等ノ通行稅ガ三等ノ十倍デアルト云フコトハドウ致シマシテモ相當ニ高イノデアリマス、又遊興稅ニ致シマシテモ、藝妓ノ花代ノ如キモノモ十割デアルト云フヤウナコトハ、之ヲ時局ト思ヒ合セマス、國民ノ精神ニモ相當感ズル所ガアリマシテ、精神ノ緊張、生活態度ノ刷新ノ一助ニモナラウト考ヘテ居ル次第デアリマス

○櫻井委員長 私モ結果ニ於テハ政府ノ狙フ所ト同様ノ結果ニナリ得ルト思ヒマスケレドモ、國民精神ヲ昂揚サセルノニ税金ヲ取ツテ昂揚サセルト云フヤウナ此ノ露骨ナ表現ハ如何ナモノデアラウカ、政府ハ他ノ方法ニ於テ立派ニ指導出來ルノデハナイカ、唯斯ウ云フコトヲ御聽キシタダケデアリマス、ソレデ大體分リマシタ——田川大吉郎君

○田川委員 私ハ先刻大臣ニ對シテ本法案ノ實施ノ方法ハ政府ノ執ラレル低價物政策ニ矛盾スルノデハナイカト云フコトヲ第一點ト致シテ伺ヒ、第二點トシテ豫テ世上ニ憂慮セラレテ居リマシタ「インフレ」ノ傾向ニ付テドウ御考ヘニナルカト云フコトヲ御尋ネ致シマシタ、兩點トモ御答ヘヲ得マシタガ、未ダ満足致シマセヌ、サリナガラ此ノ上質問ヲ進メマスコトハ却テ議論ニ互ル虞ガアリマスカラ之ヲ見合セマス、所ガ尙ホ伺ツテ置キタイコトハ、大臣ニ對シテハ性質ガ小サクナルト思ヒマスケレドモ、現在ノ物價ハ公定價格ト云フモノガアリマスト同時ニ協定價格ナルモノガアリ、同時ニ

停止價格ナルモノガアル、形式的ニハ現在ノ物價ハ凡ソ此ノ三様ニ分レテ居ルモノト思フノデアリマス、サウシテ今回ノ御方針ノ如ク直チニ増稅額ヲ其ノ物價ニ適用スルト申シマスカ、加算スルト云フコトハ、公定價格ニ對シテハサウナサルコトガ明カニナシ得ラレルト思ヒマスケレドモ、協定價格ヤ停止價格ニ對シテハドウナサルノデアルカ、實際ニ於テ餘程不便ヲ感ゼラレルノデハアリマセスカ、其ノ將來ニ對シテドウ云フ手續ヲ執ラレルノデアルカト云フコトヲ疑ヒ、懸念致スノデアリマス、サウシテ其ノコトニ關シテハ大藏當局ト商工當局トハ自然ニ意見ヲ異ニナサルヤウナ結果ガ招來セラレハシナイカト云フコトモ氣遣フノデアリマス、ソコデ結論ヲ急ギマスガ、此ノ増稅額ノ加算ト云フコトヲ公定價格ニ對シテモ、協定價格ニ對シテモ、停止價格ニ對シテモ一樣ニ實行シ得ラレルヤウ特別ナ手續ヲ御執リニナツテ、一本ノ勅令ノ如キモノヲ以テソレヲ一樣ニ漏レナク實行シ得ルコトニナサル必要ガアリハシナイカト考ヘルノデアリマスガ、御考ヘハ如何デアリマセウカ

○賀屋國務大臣 只今ノ御質問ハ物價局長官ヨリ御答ヘ申上ゲル方ガ適當ト思ヒマスカラ、左様致シマス

○石黑政府委員 今回ノ物品稅ノ新設或ハ増徴ニ依リマス價格ニ對スル影響ニ付キマシテハ、大藏省ト私共物價局トノ間ニモ十分打合セヲ致シテ居リマス、其ノ結果ト致シマシテ一般のニ稅ノ新設或ハ増徴ノ分ハ、現在ノ價格ニ加算シテ取扱フコトニ致シテ居リマス、隨テ公定價格ニ付キマシテハ、其ノ中小賣ノ段階ニ於テ課稅サレルモ

ク、サウシテ經過的ナ問題トシテ旨ク轉嫁ガ行ヘナイトスレバ、或ハ公債ヲ持タセルト云フ點モ一時ハ遠慮シテ、經過時代ヲ過ゴシ、負擔關係ガ大體買主ニ落着キヤウニナツタ上、更ニ又公債ノ問題ヲ持出スト云フヤウナ方法モアラウカト思ヒマシテ、此ノ課稅ノ實際ニ當リマシテハ、能ク實情ニ即應スルヤウニ、吾々ノ方デモ十分研究シテ参リタイト思ヒマス

○田川委員 只今ノ御説明デ凡ソ満足致シマシタ、サリナガラ書畫骨董ノ取引ニ於ケル從來ノ賣立ノ依頼者ハ始終課稅其ノ他種ノ負擔ヲ賣主ノ方ニ於テ負擔サシテ居ル關係デアル、其ノコトハドウゾ慎重ニ御注意ヲ加ヘテ戴キタイ、只今其ノ御趣意ノヤウニ承リマシタガ、ソレニ略、満足スルノデアリマスケレドモ、餘程御注意下サイマセスケレドモ、家ノ種々ナル變遷ノ場合ニ、先祖傳來ノ遺寶ヲ賣却シテ整理スルナドト云フ時ノ其ノ家ニ對シ、其ノ人ニ對シテハ非常ナ苦痛ヲ及ボスコトニナル、ドウゾソレニハ慎重ノ注意ヲ加ヘラレントヲ希望致シテ私ノ質問ヲ終リマス

○櫻井委員長 服部君

○服部(岩)委員 私ハ今回ノ増稅ノ取扱ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス、從來ノ總テノ増稅ノ取扱ニ付キマシテハ、事總デガ生活ニ重大ナ關係ガアリマスノデ、非常ニ慎重ノ上ニモ更ニ慎重ナ態度ヲ以テオヤリニナツテ來タコトト信ジテ居リマス、然ルニ最近此ノ増稅或ハ増徴等ノ問題ニ付キマシテ、大藏當局ノ御考ヘハ、無論當局デハ慎重ナル態度ヲ以テ臨ンデ居ラレト申サレルカモ分リマセスケレドモ、外部カラ之ヲ見マス、ドウモ其ノ取扱ガ從來ノヤウナ慎重

味ヲ缺イテ居ハシナイカト云フコトヲ悵レルノデアリマス、殊ニ僅カ五日間程度ノ臨時議會ニ、國民ノ生活ニ重大ナル影響ヲ來シマス所ノ増稅案ヲ御提出ニナル、ト云フコトハ、私ハ議會ニ於キマシテモ十分ナル審議ノ餘地モアリマセシ、ヤハリ其ノ審議ノ上ニ於キマシテ或ハ十分デナイ、ソレガ國民ニ與ヘル影響ト云フモノハ頗ル重大デアルト思ヒマス、殊ニ今回ノ増徴並ニ專賣其ノ他ノ益金ヲ見マシテモ平年度ニ於テ七億圓、殊ニ十六年度中ニハ二億圓足ラズノ問題デアリマスカラ、無論臨戰體制ノ爲ニ財政上其ノ費用ガ極メテ重要デアルト致シマシテモ、僅カ一箇月後ニ於テハ通常議會ガ出デ参リマスノデ、其ノ間公債其ノ他ノ方法デ以テ是等ノ費用ハ支辨シ得ラレルモノト思ヒマス、隨テ斯ウ云フ重要ナ問題ガ僅カ五日間ノ臨時議會ニ提案サレルト云フコトソレ自體ニ、私ハ大藏當局ニ是等増稅並ニ徵稅上ノ取扱ガ比較的ニ大難把ナ考ヘデ居ラレハシナイカ、或ハ又出來ルダケ當局ニ於テ今後増稅ノ場合ニハ最モ簡易無難作ニ増稅ガ出來ルヤウナ端緒ヲ開イテ置カウト云フヤウナ思想ガアリハシナイカト云フコトヲ私ハ考ヘサセラレルノデアリマス、無論當局ハサウ云フヤウナ思想ハナイト仰シヤルカモ分リマセスガ、私共カラ見マス、サウ云フヤウナ感ジガ強クサレルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ今後ノ増稅或ハ新規稅ノ設定等ニ付キマシテハ、十分ニ慎重ナル態度ヲ以テ臨ンデ戴キタイト云フコトヲ御願ヒ申上ゲルト同時ニ、當局ノ御所信ヲ伺ヒマス

○賀屋國務大臣 増稅ノ取扱ニ付キマシテ、慎重ヲ要スルト云フコトハ、御説ノ通り御同感デアリマス、今回ノ増稅ハ一面多額ノ戰費其ノ他國費ノ撤布ガアリマシテ、而モ時局ノ緊迫ニ應ジテ非常ニ多額ノ撤布ガ起ラントシテ居ル時期デアリマスカラ、出來ルダケノ手段ヲ盡シマシテ、其ノ購買力ノ吸收ヲ致スト云フコトガ極メテ大事ナ際デアリマス、隨ヒマシテ其ノ急ヲ要スル點カラ考ヘマスナラバ、直接稅ノ増徴モ成ベク早イ機會ニ致シタイ位ニモ思フノデアリマス、併シナガラ是ハ御説ノ如ク尙ホ慎重ニ案ヲ練ル必要モアリマシ、審議ノ期日ノ關係モアリマスノデ、先ヅ此ノ際ハ直接稅等ハ差控ヘマシテ、此ノ程度ノモノハ國家トシテ決定ヲシタガ宜シイ、時局總テノ點カラ判斷ヲ致シタ次第デアリマシテ、決シテ増稅ノ取扱ヲ簡略ニスルトカ云フヤウナ考ヘハ毛頭アリマセス時局ノ緊迫、ソレニ基キ各種ノ經濟財政上ノ要求等ヲ兼ネ合セテ考ヘテ見マシテ提案ヲ致シタ次第デアリマス、何卒左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○服部(岩)委員 主稅局長ニ伺ヒマス、是ハ直接此ノ法案ニハ關係ハナイノデアリマスガ、最近食糧關係カラ清酒ノ原料デアリマス米ガ清酒原料トシテ制限サレテ参リマシタガ、更ニ昭和十六酒造年度ニ於キマシテハ、原料米ニ於テ五十万石ノ制限ガ加ヘラレタコトヲ聞イテ居リマス、隨テ昭和十六酒造年度ニ於キマス所ノ清酒ノ釀造高ト云フモノハ更ニ二割程度ノ減量ノ已ムナキニ至ルト思ヒマス、是ハ食糧對策ノ關係上已ムヲ得ナイト思ヒマス、隨テ酒類ノ減産ニ因リマス所ノ需給關係ハ愈、逼迫シテ参リマシテ、其ノ需給關係ガ昨年來一層不圓滑ニナツテ一般ノ國民カラ非常ナ不平ガ唱ヘラレテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、今回此ノ配給機構ヲ整備サレルコトニナツテ、中央ニハ配給統制會社、更ニ道府縣ニハ配給會社ト、ソレノ機構ヲ組立テラレ、十一月一日カラ、實施サレテ居リマスガ、準備ノ關係上マダ十分デアリマセス、ソコデ此ノ配給機構ガ整備サレ、或ル程度業務用ノモノト一般家庭ノ方面ト旨ク流レテ参リマスレバ相當ノ效果ガアルト思ヒマス、唯問題ハ此ノ原料ノ制限ニ依リマシテ從來製造家ニ於キマシテハソレガ爲ニ百石ノ制限石數、最終ノ石數ヲ割ルヤウナ立場マデ行ツテ居リマス、從來ノ三百石ヲ制限石數ニスルナラバ無論デアリマスガ、從來ノ制限石數ノ百石ノ程度ヲ割リマスト、是ハモウ製造家ノ方ニ於キマシテハ生産費ガ多ク掛リマシテ、非常ナ窮地ニ陥ルト思ヒマス、サウ云フヤウナ最低ノ制限石數ヲ割ツタモノガ出デ参リマス、經營上非常ニ困難ナコトニナツテ参リマスガ、是等ニ對シマシテハ、大藏省トシテハ、第一租稅ノ中大キナ財源デアリマスノデ、保護ヲサレテ行カケレバナラスト思ヒマスガ、斯ウ云フモノヲ統合サセルト云フヤウナ御考ヘヲ御持チニナラナイカト云フコトヲ此ノ機會ニ伺ツテ置キタイ、サウシテモウ一ツハ、今度ノ原料米ノ制限ニ依リマシテ、最低限度ノ制限石數ヲ割ルヤウナ製造家ガ地方ニ相當出テ参リマスガ、是等ハ原料ノ制限ニ依ツテ製造家ノ石數ヲ其ノ原料米ノ節約サレタモノニ按分比例シテ減石セラレテ居リマスカラ、自然サウ云フヤウナ百石未満ノ製造家ガ出來ルト云フコトニナリマス、千石或ハ五千石ト云フヤウナ酒造家ガ相當アリマスガ、是等ノモノハ相當製造ノ制限ヲサレ、サウシテ其ノ小サナ百石ノ口ヲ割ラナケレバナラスト云フヤウナモノハ或ル程

度マデ其ノ制限ヲ緩和シテヤルト云フヤウ
ナコトガ大藏當局トシテモ親切ナリ方
デハナイカ、現在ニ於キマシデハ、中央酒
造組合ガ大藏省ノ指令ヲ得テ其ノ制限ヲ割
當テテ居ル、而モ中央ノ酒造組合ハ大キ
ナモノガ寄ツテ居リマス、從來地方的ニ僅
カニヤツテ居ツタ者ハ眼中ニ置カナイト云
フヤウナ傾向ガアルト私ハ思フ、デアリマ
スカラ、此ノ制限ニ付キマシテモ、五千石
以上從來造ツテ居ツタモノハ七割、或ハ六
割、或ハ從來一千石以上ノモノハ五割、サ
ウシテ三百石以下ノモノハ、六割或ハ六割
五分ノモノト反對ニ、三割カ三割五分ト云
フヤウナ程度ニ制限ヲ認メルト云フコトニ
シテヤルコトガ本當ニ親切ナリ方デハナ
イカ、今マデハ大キナ人ガ助カツテ居ル、
小サナ百石ノ制限ヲ割ラナケレバナラヌト
云フ立場ノ人ハ洵ニ私ハ氣ノ毒デアルト考
ヘル、斯ウ云フ點ニ付テ大藏當局ハ相當中
央酒造組合ヲ指導シテヤツテ行カレタ方ガ
宜イノデハナイカ、斯ウ考ヘル、之ニ付テ
サウ云フコトヲヤツテ戴キタイコトト、之
ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ、尙ホ二十七條
ノ二項デアリマスガ、此ノ清酒ニ關スル問
題ニ付キマシテハ或ル十數種ノ銘柄ノ清酒
ニ對シテ從價稅ヲ取ル、斯様ナ内容ダト私ハ
考ヘマス、是ガ小賣價格ニ於テ百分ノ二ヲ取
ル、其ノ小賣價格ノ百分ノ二ト云フモノヲ製
造家ノ庫出ノ場合ニ取ル、斯ウ云フコトニナ
ツテ居ル、製造家カラ庫出シサレル場合ハ、是
ハ價格ガ公定サレテ居リマスカラ、能ク分ツテ
居リマスガ、ソレノ徵收方法ハヤハリ製造家
ノ方ニ當テラレルノカ、或ハ製造家ガ今度
ノ販賣會社ニ渡サレル場合ニ於キマシテハ
小賣價格ヨリ安イ價格、統制會社ガ配給組

合ヲ通ジテ實際ノ消費者ニ行ク場合ノ價格
ガ小賣價格、斯ウ云フコトニナツテ居ルト、
其ノ徵收上ニ於キマシテドウ云フ風ナ方法
デ取ラレテ居リマスカ、サウシテ此ノ從價
價格ト云フノハ相當強イ價格ニナル、假ニ
二圓五十錢トスルト、五十錢ノ庫出稅、ソ
レニ今度三十錢増徴サレル、斯ウ云フコト
ニナルト結局、一圓五十錢ト云フ稅額ニナ
ツテ、實際ノ小賣價格ノ六割ノ増稅ト云フ
コトニナルト考ヘラレマスガ、是ハサウ云フ
ヤウナ稅額ニナルノデアリマスカ、此ノ點
ヲ伺ヒタイ

今日ノ如ク酒ガ從來ノ半分以下ニナツタノ
ニ、製造場數ガ七千軒デアルト云フコトハ、
企業のニ言ツテ無理デアリマシテ、是ハ出
來ルダケ無理ノ行カナイ程度ニ、漸次企業
ノ整理統合ヲ圖ル要ガアルト思ヒマス、其
ノ場合ニ於テ石數ヲ幾ラニ見ルカトカ、或ハ
其ノ他各種合同ノ斡旋ニ付テハ、稅務當局
ト致シマシテモ保護致シタイト云フ腹案ヲ
持ツテ居リマスノデ、今後合同ノ進展ガ或
ル程度行ハレルト斯様ニ考ヘテ居リマス、
ソレカラ原料米ノ制限ヲスルニ當ツテ、小釀
造家ノ減石ヲ少クシ、大釀造家ノ減石割合
ヲ多クスベキデナカツタカ、少クトモ大藏
當局トシテハサウ云フ指導方針ヲ執ルベキ
デハナイカト云フコトデアリマスガ、只
今ヤツテ居リマスル原料米ノ割當、是ハ別
ノ方面カラ見レバ釀造ノ生産制限ノ申合セ
ニナルノデアリマスガ、是ハ酒造組合中央會
自主的ニヤツテ居リマシテ、大藏省ノ命令ニ
依ツテ居ル譯デアリマセス、勿論大藏省ト
監督ヲ致シテ居リマスルノデ、大釀造家ノ專
横、小釀造家ノ壓迫ト云フコトニ付テハ、
常ニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、原料米
ノ制限ノ仕方ニシマシテモ、或ル程度ノ石數
ハ小釀造家ニ平均的ニ與ヘルト云フヤウナ
規定モ置イテデアリマスガ、幾分御話ノヤウ
ナ小釀造家ノ保護ノ點モ現ハレテ居ルヤウ
ニモ見エマスシ、大體自主的ニ決議セラレ
タ原料米ノ割當方法デアリマスカラ、之ヲ
是認シテ參ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、
今後ニ於キマシテモ大釀造家ガ小釀造家ヲ
壓迫スルト云フヤウナコトガアツテハナラ
ナイノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ御趣
旨ヲ體シマシテ、大藏省トシテモ能ク監督

シテ參リタイト思ヒマス
ソレカラ今回酒稅法第二十七條ノ二ノ規
定ニ依リマシテ、特ニ小賣價格ノ高イ清酒ニ對
シテ、從價二割ノ課稅ヲスルコトニナツタ
ノデアリマスガ、其ノ課稅ノ方法ハ製造家
ノ庫ヲ出シマス際ニ課稅ヲスルコトハ、庫
出稅ノ建前カラ言ツテ當然デアリマス、其
ノ場合ニ唯課稅標準ハ告示ニアリマスル高
イ清酒ノ小賣價格ヲ標準トスルノデアルカラ、
標準ハ告示ニアル所ノ小賣業者販賣價格デ
アリマスケレドモ、課稅ハ製造者ノ庫カラ
引取ラレル際ニ徵收スル、斯ウ云フ譯デア
リマス

○服部(岩)委員 清酒ノ配給ニ付キマシテ

大藏省ハ酒造中央指導組合ヲ通ジテ、ソレ
ゾレ援助サレ指導サレテ居リマスガ、是ハ
昭和十三酒造年度ノ實績ヲ大體基本トサレ
テ居ルヤウニ思ヒマス、昭和十三酒造年度
ト云ヒマス、丁度支那事變ガ勃發致シマ
シテ一年間餘リ經過シテ居リマス、此ノ時
ノ酒ノ動キハ昭和十二酒造年度、或ハ昭和
十一酒造年度ノ平時ニ於ケル酒ノ動キ
ト、多少違ツテ居ルヤウニ考ヘルノデアリ
マス、故ニ其ノ配給機構ヲ建テラレル場合
ニ於テ、大體此ノ十三酒造年度——十三年ト
思ヒマスガ間違ツテ居ツタラ或ハ十二酒造
年度カモ知レマセスケレドモ、兎ニ角事變
ニ入ツタ後ノ酒造年度デアリマスカラ、其
ノ一年度ノ酒ノ動キカラ今回ノ配給ノ統制
ヲヤツテ行カウト云フコトニハ、多少ノ無
理ガ出來ルノデハナイカ、或ハ其ノ多數ノ
業者ノ間ニ於テハ、相當有利ニナル方ト不
利益ニナル方トガアルノデハナイカ、寧ロ
是ハ三年間位ノ實績ヲ基礎トシテ、其ノ平
均ニ依ツテ今回ノ配給ノ數量ト云フモノヲ

○松隈政府委員 服部委員ノ御述ベニナリ
マシタ通り米穀政策カラ致シマシテ酒造米ガ
十六酒造年度ニ於キマシテハ從來ヨリモ更
ニ五十萬石減石サレマシタ爲ニ、從來清酒
ハ基本石數ニ對シテ四割八分程度ノ減石ト
ナツテ居ツタノデアリマスガ、ソレガ更ニ
又減石ヲスルト云フコトニナリマシタノデ、
釀造高ガ一般ニ減ツタノデアリマスガ、小
サイモノノデ中ニハ百石ヲ割ルト云フヤウナ
モノノ出テ參ツタコトハ、已ムヲ得ナイ所デ
ゴザイマス、此ノ場合ニ於テ小釀造業者ハ、
造リ高ガ減ツタト云フコトノ爲ニ生産費ガ
高ク付ク、隨テ非常ニ不利ニナツテ參ルト
云フ傾向ハ、否ミ難イモノガアルト思ヒマ
ス、之ニ對シテ大藏省ハ企業ヲ合同セシメ
テ、小釀造家ヲ保護スル意思アリヤト云フ
御尋ネデアリマスガ、大藏省ト致シマシテ
ハ酒造家ハ酒稅ヲ納メテ戴ク大事ナオ得意
先デアリマスノデ、從來モ是ノ保護ニ努メ
テ參ツテ居ルノデアリマスガ、今後ト雖モ
釀造家ガ適當ナ方法ニ依リマシテ企業ヲ合
同シテ、其ノ製造ヲ合理化シテ行クト云フ
方向ニ指導シテ參リタイト思ヒマス、確カニ

今日ノ如ク酒ガ從來ノ半分以下ニナツタノ
ニ、製造場數ガ七千軒デアルト云フコトハ、
企業のニ言ツテ無理デアリマシテ、是ハ出
來ルダケ無理ノ行カナイ程度ニ、漸次企業
ノ整理統合ヲ圖ル要ガアルト思ヒマス、其
ノ場合ニ於テ石數ヲ幾ラニ見ルカトカ、或ハ
其ノ他各種合同ノ斡旋ニ付テハ、稅務當局
ト致シマシテモ保護致シタイト云フ腹案ヲ
持ツテ居リマスノデ、今後合同ノ進展ガ或
ル程度行ハレルト斯様ニ考ヘテ居リマス、
ソレカラ原料米ノ制限ヲスルニ當ツテ、小釀
造家ノ減石ヲ少クシ、大釀造家ノ減石割合
ヲ多クスベキデナカツタカ、少クトモ大藏
當局トシテハサウ云フ指導方針ヲ執ルベキ
デハナイカト云フコトデアリマスガ、只
今ヤツテ居リマスル原料米ノ割當、是ハ別
ノ方面カラ見レバ釀造ノ生産制限ノ申合セ
ニナルノデアリマスガ、是ハ酒造組合中央會
自主的ニヤツテ居リマシテ、大藏省ノ命令ニ
依ツテ居ル譯デアリマセス、勿論大藏省ト
監督ヲ致シテ居リマスルノデ、大釀造家ノ專
横、小釀造家ノ壓迫ト云フコトニ付テハ、
常ニ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、原料米
ノ制限ノ仕方ニシマシテモ、或ル程度ノ石數
ハ小釀造家ニ平均的ニ與ヘルト云フヤウナ
規定モ置イテデアリマスガ、幾分御話ノヤウ
ナ小釀造家ノ保護ノ點モ現ハレテ居ルヤウ
ニモ見エマスシ、大體自主的ニ決議セラレ
タ原料米ノ割當方法デアリマスカラ、之ヲ
是認シテ參ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、
今後ニ於キマシテモ大釀造家ガ小釀造家ヲ
壓迫スルト云フヤウナコトガアツテハナラ
ナイノデアリマスカラ、其ノ點ニ付テハ御趣
旨ヲ體シマシテ、大藏省トシテモ能ク監督

シテ參リタイト思ヒマス
ソレカラ今回酒稅法第二十七條ノ二ノ規
定ニ依リマシテ、特ニ小賣價格ノ高イ清酒ニ對
シテ、從價二割ノ課稅ヲスルコトニナツタ
ノデアリマスガ、其ノ課稅ノ方法ハ製造家
ノ庫ヲ出シマス際ニ課稅ヲスルコトハ、庫
出稅ノ建前カラ言ツテ當然デアリマス、其
ノ場合ニ唯課稅標準ハ告示ニアリマスル高
イ清酒ノ小賣價格ヲ標準トスルノデアルカラ、
標準ハ告示ニアル所ノ小賣業者販賣價格デ
アリマスケレドモ、課稅ハ製造者ノ庫カラ
引取ラレル際ニ徵收スル、斯ウ云フ譯デア
リマス

○服部(岩)委員 清酒ノ配給ニ付キマシテ

御決メニナツタ方ガ適當デハナイカ、斯様ニ考ヘルガ、此ノ點當局ノ御考ヘハ如何デアリマスカ

○松隈政府委員 先般酒類配給機構ヲ整備致シマシテ、大日本酒類販賣會社ヲ中央ニ設ケ、各道府縣ニ道府縣酒類販賣會社ヲ設ケマシテ、酒類ノ計畫性ニ富ム合理的ナ配給ヲ計畫致シマシテ實施ニ移シタノデアリマスガ、其ノ際ニ於テハ御話ノ如ク、昭和十三酒造年度ノ實績ヲ基礎ト致シタノデアリマス、御說ノヤウニ十三酒造年度一年度ヲ取ルコトナク、平均三箇年間位ト云フコトモ考ヘラレル譯デアリマスルガ、邇及致シテ實績ヲ調査致シマスコトハ中々困難デアリマシテ、十三酒造年度ノ實績ノ調査ニモ非常ナ手數ヲ要シタ次第デアリマスノデ、已ムヲ得ザル方法ト致シマシテ、一應十三酒造年度ヲ取ツタノデアリマス、尙ホ十四酒造年度以降ニ於キマシテハ、減石割合ガ相當強カツタモノデアリマスカラ、需給ノ權衡ヲ失ヒマシテ標準ト致シ難イ所ガアリマスノデ、減石ノ甚ダシクナカツタ平常年度ノ最後ノ年度デアル所ノ昭和十三酒造年度ヲ、一應ノ標準ト致シマシテ、其ノ後實績ノミニ依ルコトナク、實績ニ出來得ル限リノ補正ヲ加ヘテ、之ヲ是正シツツ實施ニ移シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ之ヲ實行スルニ當リマシテハ、會社ノ諮問機關トシテ中央ニハ中央酒類配給協議會ヲ設ケ、地方ニハ先程御話申上ゲマシタ地方ノ酒類配給協議會ヲ設ケマシテ、中央ニハ全國ノ事情ガ反映スルヤウニ、地方ハ地方デ各地方ノ實情ガ反映サレテ、實績ヲ基礎トシタ弊害ノ是正ガ或ル程度出來マスルヤウナ仕組ヲ同時ニ考ヘツツ實行シテ居ルヤウ

ナ次第デアリマス

○櫻井委員長 ソレデハ明日ハ午前十時ヨリ開會致スコトト致シマシテ、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時一分散會